

宮津市人権に関する市民意識調査
報告書

令和8年3月

宮 津 市

目 次

第1章 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	1

第2章 調査結果

1	回答者属性	3
2	人権課題への関心	4
3	人権に関する法律や行政の取組、相談窓口について	7
4	人権や社会のあり方などに関する意見や考え方	11
5	人権侵害を受けた経験	16
6	慣習や文化などに関する意見や考え方	21
7	同和問題に関する発言を直接聞いた経験	25
8	同和地区出身者との結婚に関する考え方	33
9	家族や性別役割などに関する意見や考え方	38
10	子どもに受けさせたい教育の程度	45
11	外国人住民の人権に関する意見や考え方	47
12	子どもの人権に関する意見や考え方	51
13	性的マイノリティに関する意見や考え方	55
14	高齢者や障害者の人権に関する意見や考え方	58
15	さまざまな人権に関する意見や考え方	62
16	住宅を選ぶ際に、同和地区内の物件を避けるか	70
17	インターネットによる人権侵害	74
18	憲法で決められた国民の権利	76
19	差別や人権に関する教育を受けたことがあるか	79

資料編（調査票様式）

調査票見本『令和7年度宮津市人権に関する市民意識調査』	81
-----------------------------	----

第1章 調査の概要

1 調査目的

本調査は、市民の人権問題に対する考えを把握するとともに、今後の人権教育及び啓発活動に生かしていくための検討資料とすることを目的とする。

2 調査設計

(1) 調査対象

宮津市に在住の15歳以上の市民から2,200人を無作為抽出

(2) 抽出方法

住民基本台帳から、市内の性別・年齢別構成を考慮し、1,800人を層化抽出した（これを標準サンプルという）。回収率が低いとみられる15～19歳、20～29歳については、別に400人を抽出し、これを追加した（これを追加サンプルという）。

(3) 調査方法

郵送配付・郵送回答又はオンライン回答

(4) 調査期間

令和7年9月1日～9月30日

3 回収結果

有効回収数：733件（有効回収率：33.3%）

（このうち 標準サンプル：644件、追加サンプル：89件）

4 報告書の見方

(1) 調査結果を総数、男女別で表す場合は、市内の性別・年齢別構成を反映した1,800人（標準サンプル）についてのデータ（有効回答数644件）で示し、年齢別に調査結果を表す場合は、15～19歳と20～29歳に追加分400人（追加サンプル）についてのデータ（有効回答数89人）を加えたもので示している。

また、前回調査等との比較と設問間クロス集計は、標準サンプルのデータで示している。

(2) 図中のn（number of case）は、設問に対する回答者数のことである。

(3) 回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。そのため、四捨五入の結果、内訳の合計が100.0に一致しないことがある。また、複数の回答を求める設問では、回答比率（%）の計は100.0%を超える。

(4) 図表中にMAという表示がある場合は、複数回答であることを示している。

・ MA%（Multiple Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

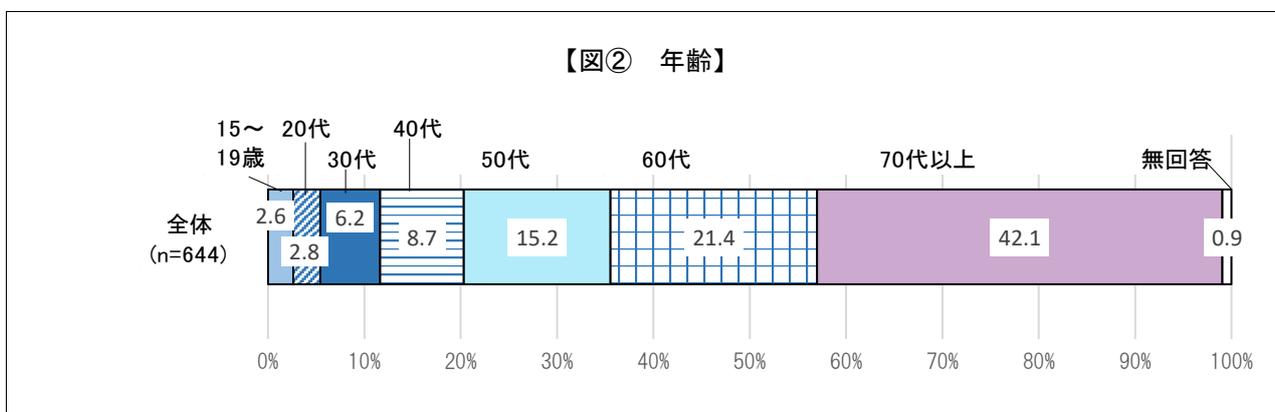
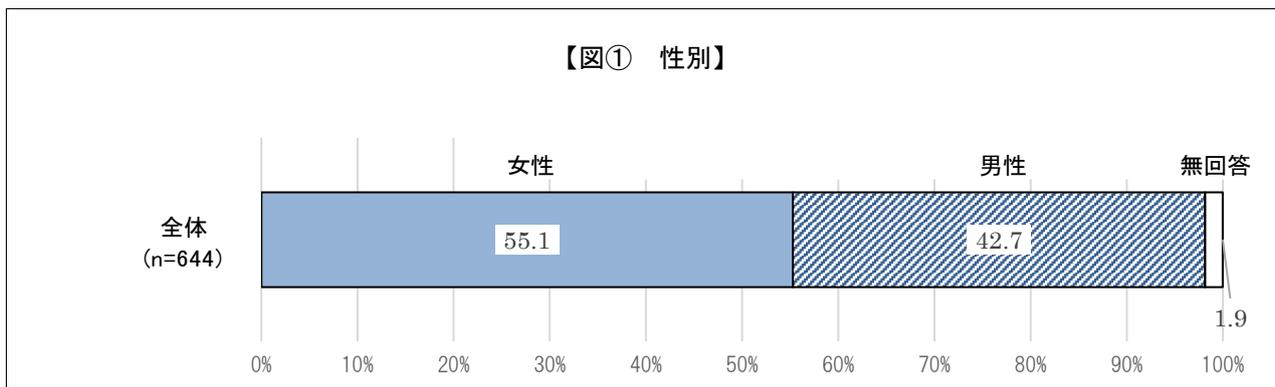
(5) 性別について「いずれでもない」という回答は2件あったが、回答割合を算出するには実数が非常に少ないため、性別による調査結果の表示は「女性」「男性」とし、「どちらでもない」は示していない。

(6) 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」という2つの回答を合わせたものを示す場合、『そう思う』とした。また、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせたものを示す場合は、『そう思わない』とした。問15の「避けると思う」と「どちらかといえば避けると思う」についても、『避けると思う』と表示している。

第 2 章 調査結果

1 回答者属性

(1) 性別



今回の調査で回答があったのは、標準サンプルで 644 件であったが、性別の内訳をみると、女性 55.1%、男性 42.7%と、女性のほうが 12.4 ポイント高くなっている。

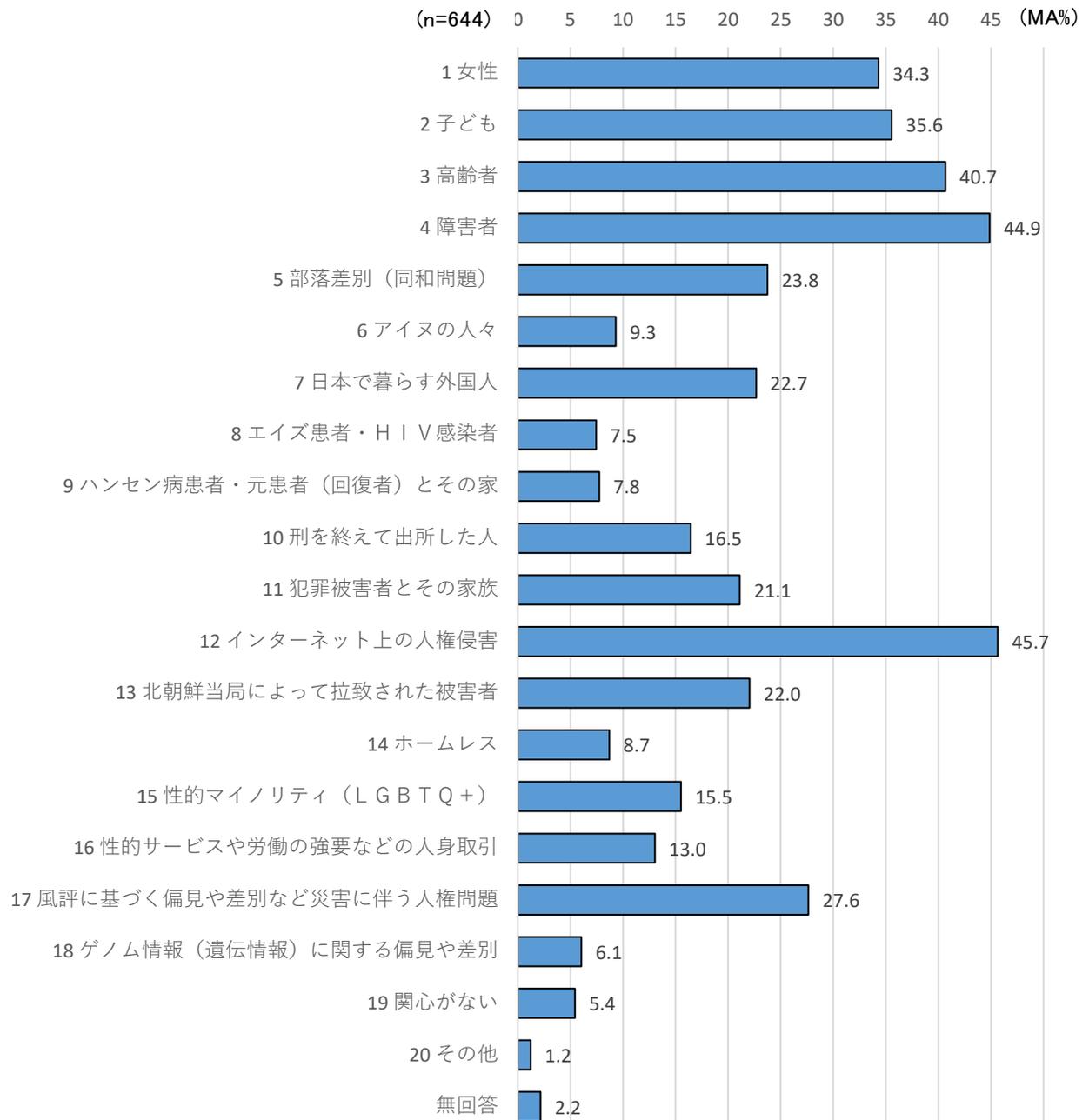
644 件の年齢別内訳は、70 代以上が 42.1%で最も多く、次いで 60 代 21.4%、50 代 15.2%となっている。

このように、今回の調査結果は、女性と高齢者の回答が強く反映されたものとなっている。

2 人権課題への関心

問1 日本における人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。
該当するものをいくつでもあげてください。

【図 1-1 関心のある人権問題】



関心のある人権問題を問うと、「12 インターネット上の人権侵害」と「4 障害者」が45%前後で高くなっている。そして、「3 高齢者」(40.7%)、「2 子ども」(35.6%)、「1 女性」(34.3%)が続く。これら以外の人権問題は、いずれも30%を下回っている。

【問1 性別・年齢別】

		(上段:人、下段%)																					
		回答者数	1 女性	2 子ども	3 高齢者	4 障害者	5 部落差別 (同和問題)	6 アイヌの人々	7 日本で暮らす外国人	8 エイズ患者・HIV感染者	9 元ハンセン病患者・ 元患者(回復者)とその家族	10 刑を終えて出所した人	11 犯罪被害者とその家族	12 インターネット上の人権侵害	13 北朝鮮当局によって 拉致された被害者	14 ホームレス	15 性的マイノリティ (LGBTQ+)	16 性的サービスや労働の 強要などの人身取引	17 性的サービスや労働の 災害に伴う人権問題	18 風評に基づく偏見や差別 に関する情報(遺伝情報)に 関する偏見や差別	19 関心がない	20 その他(具体的に)	無回答
性別	女性	355	153	137	164	167	72	33	77	23	29	61	71	161	73	31	59	53	96	23	19	5	10
	男性	275	64	89	94	112	76	25	62	23	20	44	64	131	66	24	40	28	79	15	16	2	3
		100.0	23.3	32.4	34.2	40.7	27.6	9.1	22.5	8.4	7.3	16.0	23.3	47.6	24.0	8.7	14.5	10.2	28.7	5.5	5.8	0.7	1.1
年齢	15~19歳	81	18	25	13	33	14	6	23	7	9	19	19	31	5	11	21	6	18	6	10	1	14
	20代	40	13	17	6	14	7	4	16	2	2	11	13	21	5	3	11	4	5	3	1	0	14
	30代	41	21	25	8	15	5	3	10	2	2	6	11	14	1	2	9	7	9	4	3	1	14
	40代	56	28	31	13	27	13	7	13	6	4	9	17	32	6	6	16	6	13	3	3	0	14
	50代	99	35	37	29	38	16	6	23	6	6	7	16	47	10	7	17	5	23	3	8	2	14
	60代	139	48	48	55	58	39	15	34	9	15	18	27	67	35	14	25	18	44	7	8	1	14
	70代	271	82	78	149	135	70	23	53	22	22	58	59	122	85	25	25	46	83	18	9	3	14
	以上	100.0	30.3	28.8	55.0	49.8	25.8	8.5	19.6	8.1	8.1	21.4	21.8	45.0	31.4	9.2	9.2	17.0	30.6	6.6	3.3	1.1	5.2

性別では、「1 女性」と「3 高齢者」の割合は女性のほうが高く、「5 部落差別(同和問題)」の割合は男性のほうが高くなっている。

年齢別では、「1 女性」と「2 子ども」の割合は30代で最も高くなっており、「3 高齢者」と「4 障害者」の割合は70代以上で最も高くなっている。そして、「7 日本で暮らす外国人」の割合は20代が最も高く、「12 インターネット上の人権侵害」の割合は40代が最も高い。また、「19 関心がない」は15~19歳で12.3%となっており、15~19歳だけが10%を超えている。

【問 1 前回調査との比較】

(%)

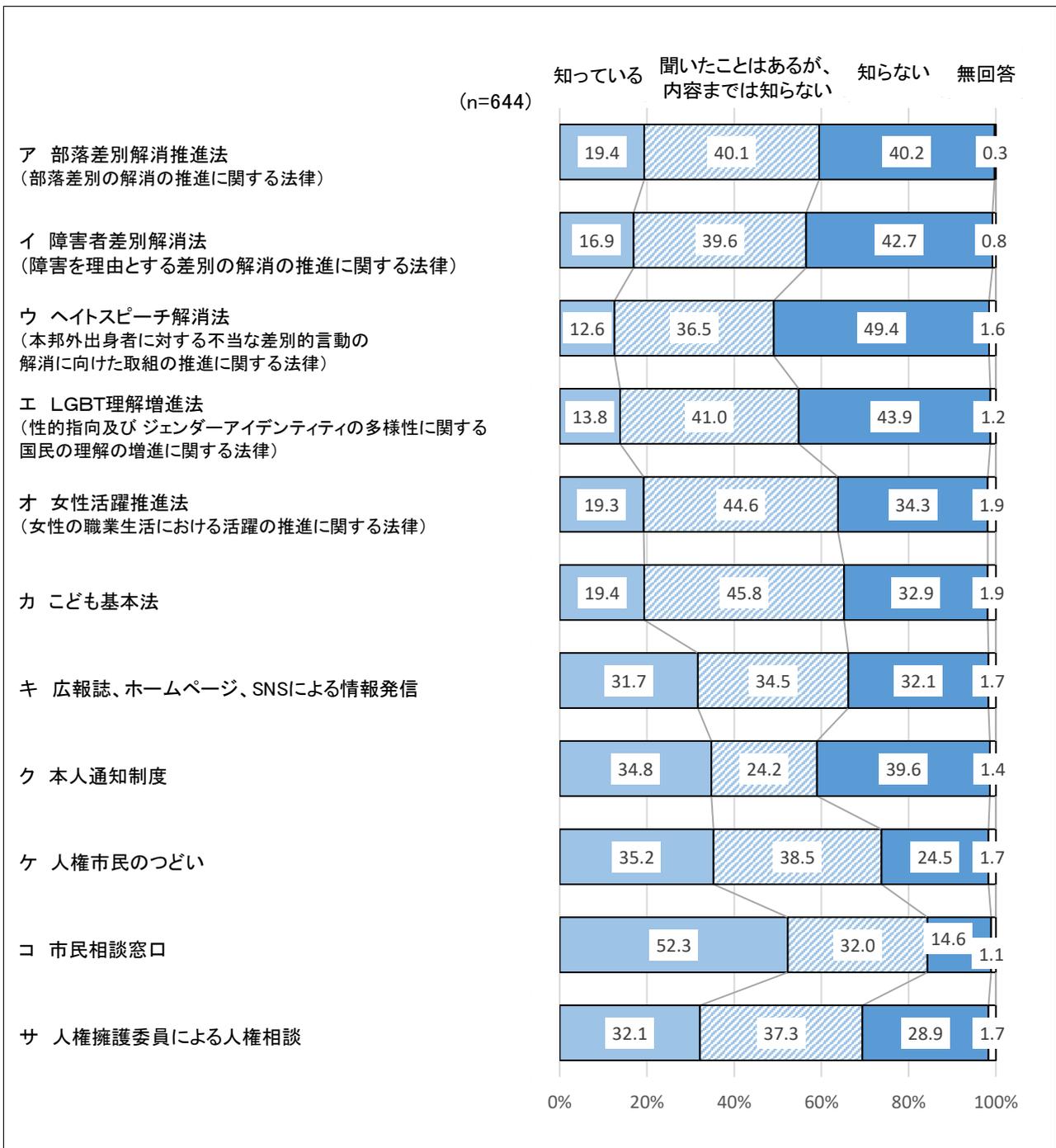
	令和7年度	令和2年度
回答者数	644	977
1 女性	34.3	30.9
2 子ども	35.6	26.0
3 高齢者	40.7	33.8
4 障害者	44.9	42.9
5 部落差別(同和問題)	23.8	24.7
6 アイヌの人々	9.3	6.6
7 日本で暮らす外国人	22.7	13.1
8 エイズ患者・HIV感染者	7.5	6.1
9 ハンセン病患者・元患者(回復者)とその家族	7.8	8.7
10 刑を終えて出所した人	16.5	11.3
11 犯罪被害者とその家族	21.1	15.1
12 インターネット上の人権侵害	45.7	39.4
13 北朝鮮当局によって拉致された被害者	22.0	25.3
14 ホームレス	8.7	7.9
15 性的マイノリティ(LGBTQ+)	15.5	13.0
16 性的サービスや労働の強要などの人身取引	13.0	11.3
17 風評に基づく偏見や差別など災害に伴う人権問題	27.6	9.6
19 関心がない	5.4	9.2
20 その他	1.2	2.6
無回答	2.2	6.9

前回調査と比較すると、「17 風評に基づく偏見や差別など災害に伴う人権侵害」が前回の9.6%から27.6%へと大幅に上昇している。これは前回調査での選択肢が「東日本大震災に伴う人権問題」というように表記が異なっていたためであり、厳密な比較はできない。これ以外では、回答割合で10ポイント以上の増減はみられない。前回調査よりも5ポイント以上、回答割合が上昇しているものをあげると、「2 子ども」「3 高齢者」「7 日本で暮らす外国人」「10 刑を終えて出所した人」「11 犯罪被害者とその家族」「12 インターネット上の人権侵害」である。なお、前回調査よりも5ポイント以上、割合が低下したものはみられなかった。

前回調査では選択肢になかった「18 ゲノム情報(遺伝情報)に関する偏見や差別」、前回調査と選択肢の表記が異なっていた「17 風評に基づく偏見や差別など災害に伴う人権侵害」、そして「19 関心がない」「無回答」、これらを除いて、それぞれの選択肢の回答割合を合計すると、前回調査318.7%に対して今回調査は370.3%と大幅に増えている。これは前回調査よりも選択肢をより多く選んだという調査対象者がいたためで、人権問題への関心の高まりを示すものといえる。

3 人権に関する法律や行政の取組、相談窓口について

問2 あなたは、次のような人権に関する法律や行政の取組、相談窓口を知っていますか。



人権に関する法律や行政の取組、相談窓口の認知度をみると、「知っている」が最も多かったのは「コ 市民相談窓口」で、次いで「ケ 人権市民の集い」「ク 本人通知制度」「サ 人権擁護委員による人権相談」「キ 広報誌、ホームページ、SNSによる情報発信」となっており、これらはいずれも「知っている」の割合が30%を超えている。逆に「知っている」が少ないのは、ア～カの法律で、いずれも20%を下回っており、「ウ ヘイトスピーチ解消法」が12.6%と、最も低くなっている。

【問2 性別・年齢別】

ア 部落差別解消推進法

		回答者数	知っている	聞いたことは知らないが、	知らない	不明・無回答
性別	女性	355	54	145	154	2
	男性	275	67	107	101	0
年齢	15～19歳	81	21	25	35	0
	20代	40	5	13	22	0
	30代	41	4	13	24	0
	40代	56	5	18	33	0
	50代	99	15	36	48	0
	60代	139	29	65	44	1
	70代	271	64	118	88	1
	以上	100.0	23.6	43.5	32.5	0.4

イ 障害者差別解消法

		回答者数	知っている	聞いたことは知らないが、	知らない	不明・無回答
性別	女性	355	50	146	156	3
	男性	275	55	103	116	1
年齢	15～19歳	81	25	29	27	0
	20代	40	6	13	21	0
	30代	41	5	13	23	0
	40代	56	10	20	26	0
	50代	99	13	41	45	0
	60代	139	26	54	58	1
	70代	271	45	122	101	3
	以上	100.0	16.6	45.0	37.3	1.1

ウ ヘイトスピーチ解消法

(上段:人、下段%)

		回答者数	知っている	聞いたことは知らないが、	知らない	不明・無回答
性別	女性	355	37	119	197	2
	男性	275	43	112	113	7
年齢	15～19歳	81	25	24	32	0
	20代	40	4	10	26	0
	30代	41	6	11	24	0
	40代	56	3	18	35	0
	50代	99	15	37	47	0
	60代	139	16	57	64	2
	70代	271	32	104	127	8
	以上	100.0	11.8	38.4	46.9	3.0

エ LGBT理解増進法

		回答者数	知っている	聞いたことは知らないが、	知らない	不明・無回答
性別	女性	355	46	144	162	3
	男性	275	41	117	115	2
年齢	15～19歳	81	25	29	27	0
	20代	40	8	18	14	0
	30代	41	7	15	19	0
	40代	56	7	26	23	0
	50代	99	16	42	41	0
	60代	139	19	61	57	2
	70代	271	25	112	130	4
	以上	100.0	9.2	41.3	48.0	1.5

オ 女性活躍推進法

		回答者数	知っている	聞いたことは知らないが、	知らない	不明・無回答
性別	女性	355	64	154	134	3
	男性	275	59	128	82	6
年齢	15～19歳	81	28	21	32	0
	20代	40	9	17	14	0
	30代	41	7	24	10	0
	40代	56	12	24	20	0
	50代	99	20	40	38	1
	60代	139	33	66	38	2
	70代	271	44	123	96	8
	以上	100.0	16.2	45.4	35.4	3.0

カ こども基本法

(上段:人、下段%)

		回答者数	知っている	聞いたことは知らないが、	知らない	不明・無回答
性別	女性	355	69	163	119	4
	男性	275	53	130	87	5
年齢	15～19歳	81	30	30	21	0
	20代	40	8	14	18	0
	30代	41	9	20	12	0
	40代	56	10	23	23	0
	50代	99	19	43	36	1
	60代	139	31	65	40	3
	70代	271	47	132	85	7
	以上	100.0	17.3	48.7	31.4	2.6

キ 広報誌、ホームページ、SNSによる情報発信

		回答者数	知っている	聞いたことはあるが、内容は知らないが、	知らない	不明・無回答
性別	女性	355	114	118	119	4
	男性	275	85	102	84	4
年齢	15～19歳	81	28	27	26	0
	20代	40	7	12	21	0
	30代	41	10	14	17	0
	40代	56	15	23	17	1
	50代	99	36	31	31	1
	60代	139	50	47	41	1
	70代	271	83	99	82	7
	以上	100.0	30.6	36.5	30.3	2.6

ク 本人通知制度

		回答者数	知っている	聞いたことはあるが、内容は知らないが、	知らない	不明・無回答
性別	女性	355	126	81	144	4
	男性	275	95	74	103	3
年齢	15～19歳	81	3	19	59	0
	20代	40	9	6	25	0
	30代	41	16	8	17	0
	40代	56	16	13	27	0
	50代	99	29	29	40	1
	60代	139	62	31	43	3
	70代	271	95	68	103	5
	以上	100.0	35.1	25.1	38.0	1.8

ケ 人権市民のつどい

(上段:人、下段%)

		回答者数	知っている	聞いたことはあるが、内容は知らないが、	知らない	不明・無回答
性別	女性	355	142	133	76	4
	男性	275	79	111	79	6
年齢	15～19歳	81	22	24	35	0
	20代	40	9	6	25	0
	30代	41	8	19	14	0
	40代	56	17	22	17	0
	50代	99	33	36	28	2
	60代	139	59	54	25	1
	70代	271	103	105	55	8
	以上	100.0	38.0	38.7	20.3	3.0

コ 市民相談窓口

		回答者数	知っている	聞いたことはあるが、内容は知らないが、	知らない	不明・無回答
性別	女性	355	202	111	38	4
	男性	275	126	90	56	3
年齢	15～19歳	81	27	33	21	0
	20代	40	17	9	14	0
	30代	41	16	16	9	0
	40代	56	24	18	14	0
	50代	99	46	37	14	2
	60代	139	76	47	16	0
	70代	271	160	76	30	5
	以上	100.0	59.0	28.0	11.1	1.8

サ 人権擁護委員による人権相談

(上段:人、下段%)

		回答者数	知っている	聞いたことはあるが、内容は知らないが、	知らない	不明・無回答
性別	女性	355	126	128	96	5
	男性	275	78	107	85	5
年齢	15～19歳	81	9	25	47	0
	20代	40	6	8	26	0
	30代	41	5	20	16	0
	40代	56	15	17	24	0
	50代	99	21	34	42	2
	60代	139	46	58	34	1
	70代	271	115	100	48	8
	以上	100.0	42.4	36.9	17.7	3.0

人権に関する法律や行政の取組、相談窓口の認知度を性別で見ると、「知っている」の割合は、「ア 部落差別解消推進法」「イ 障害者差別解消法」「ウ ヘイトスピーチ解消法」の3つについて男性が女性を5ポイント以上、上回っている。「ケ 人権市民の集い」と「コ 市民相談窓口」については、女性が男性を10ポイント以上、上回っている。

年齢別にみると、ア～カの6つの法律については「知っている」の割合がいずれも15～19歳で最も高くなっている。そして、キ～サの「知っている」の割合は、「ク 本人通知制度」と「ケ 人権市民の集い」については60代、「コ 市民相談窓口」と「サ 人権擁護委員による人権相談」については70代以上が最も多くなっている。

【問2 前回調査との比較】

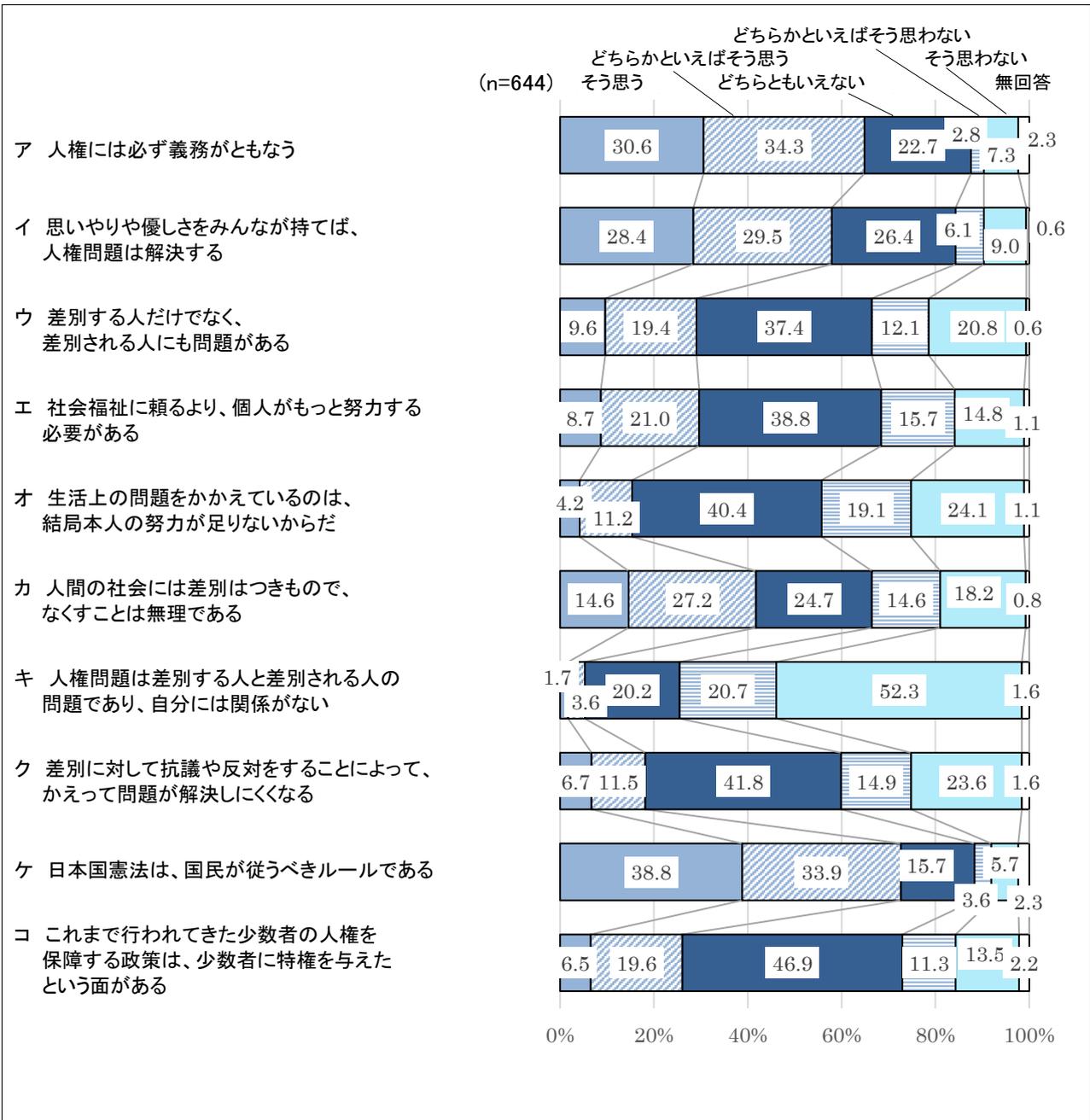
(%)

		回答者数	知っている	聞いたことでは知らないが、	知らない	無回答
ア 部落差別解消推進法 (部落差別の解消の推進に関する法律)	令和7年度	644	19.4	40.1	40.2	0.3
	令和2年度	977	15.6	36.6	46.6	1.2
イ 障害者差別解消法 (障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)	令和7年度	644	16.9	39.6	42.7	0.8
	令和2年度	977	11.9	34.3	52.1	1.7
ウ ヘイトスピーチ解消法(本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)	令和7年度	644	12.6	36.5	49.4	1.6
	令和2年度	977	15.0	37.6	45.1	2.3

前回調査と比較すると、「知っている」の割合は、「ア 部落差別解消推進法」と「イ 障害者差別解消法」については、4～5ポイントほど増えているが、「ウ ヘイトスピーチ解消法」では2.4ポイント減と、わずかではあるが減少している。「知らない」の割合は、「ア 部落差別解消推進法」で6.4ポイント、「イ 障害者差別解消法」で9.4ポイント、それぞれ減少しているが、「ウ ヘイトスピーチ解消法」では4.3ポイント増加している。

4 人権や社会のあり方などに関する意見や考え方

問3 人権や社会のあり方などに関して、次のような意見や考え方があります。
それぞれについて、あなたはどのように思いますか。



人権や社会のあり方などに関する意見や考え方について、どう思うのか問うと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が50%を超えているのは、「ア 人権には必ず義務がともなう」「イ 思いやりや優しさをみんなが持てば、人権問題は解決する」「ケ 日本国憲法は、国民が従うべきルールである」で、なかでも「ケ 日本国憲法は、国民が従うべきルールである」は『そう思う』が72.7%となっている。「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が高いのは「キ 人権問題は差別する人と差別される人の問題であり、自分には関係がない」で73.0%となっており、この回答のみ50%を超えている。『そう思う』『そう思わない』の判断を保留する回答といえる「どちらともいえない」の割合

が 30%を上回ってるのは、「ウ 差別する人だけではなく、差別される人にも問題がある」「エ 社会福祉に頼るより、個人がもっと努力する必要がある」「オ 生活上の問題をかかえているのは、結局本人の努力が足りないからだ」「ク 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる」「コ これまで行われてきた少数者の人権を保障する政策は、少数者に特権を与えたという面がある」で、これらの 5 項目については、肯定回答（『そう思う』）、否定回答（『そう思わない』）の割合が 50%を下回っている。

【問3 性別・年齢別】

ア 人権には必ず義務がともなう

イ 思いやりや優しさをみんなが持てば、
人権問題は解決する

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえ ば	どちらとも いえない	どちらかといえ ば	そう 思わない	不明・無 回答
性別	女性	355	95	120	94	11	23	12
		100.0	26.8	33.8	26.5	3.1	6.5	3.4
	男性	275	96	97	49	7	23	3
		100.0	34.9	35.3	17.8	2.5	8.4	1.1
年齢	15～ 19歳	81	33	24	16	2	6	0
		100.0	40.7	29.6	19.8	2.5	7.4	0.0
	20代	40	13	14	9	0	4	0
		100.0	32.5	35.0	22.5	0.0	10.0	0.0
	30代	41	10	18	7	1	5	0
		100.0	24.4	43.9	17.1	2.4	12.2	0.0
	40代	56	13	26	13	0	3	1
		100.0	23.2	46.4	23.2	0.0	5.4	1.8
50代	99	22	41	25	3	7	1	
	100.0	22.2	41.4	25.3	3.0	7.1	1.0	
60代	139	45	44	36	6	6	2	
	100.0	32.4	31.7	25.9	4.3	4.3	1.4	
70代 以上	271	93	82	58	8	19	11	
	100.0	34.3	30.3	21.4	3.0	7.0	4.1	

		回答者数	そう思う	どちらかといえ ば	どちらとも いえない	どちらかといえ ば	そう 思わない	不明・無 回答
		355	101	108	94	21	29	2
		100.0	28.5	30.4	26.5	5.9	8.2	0.6
		275	75	80	72	18	28	2
		100.0	27.3	29.1	26.2	6.5	10.2	0.7
		81	16	29	16	10	10	0
		100.0	19.8	35.8	19.8	12.3	12.3	0.0
		40	6	13	9	6	6	0
		100.0	15.0	32.5	22.5	15.0	15.0	0.0
		41	6	14	11	3	7	0
		100.0	14.6	34.1	26.8	7.3	17.1	0.0
		56	17	18	13	4	4	0
		100.0	30.4	32.1	23.2	7.1	7.1	0.0
		99	21	33	28	4	13	0
		100.0	21.2	33.3	28.3	4.0	13.1	0.0
		139	37	38	41	6	17	0
		100.0	26.6	27.3	29.5	4.3	12.2	0.0
		271	93	80	63	18	13	4
		100.0	34.3	29.5	23.2	6.6	4.8	1.5

ウ 差別するだけでなく、
差別される人にも問題がある

エ 社会福祉に頼るより、
個人がもっと努力する必要がある

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえ ば	どちらとも いえない	どちらかといえ ば	そう 思わない	不明・無 回答
性別	女性	355	30	62	136	47	78	2
		100.0	8.5	17.5	38.3	13.2	22.0	0.6
	男性	275	29	59	102	30	54	1
		100.0	10.5	21.5	37.1	10.9	19.6	0.4
年齢	15～ 19歳	81	3	5	35	20	18	0
		100.0	3.7	6.2	43.2	24.7	22.2	0.0
	20代	40	2	4	17	12	5	0
		100.0	5.0	10.0	42.5	30.0	12.5	0.0
	30代	41	5	7	14	6	9	0
		100.0	12.2	17.1	34.1	14.6	22.0	0.0
	40代	56	4	5	24	12	11	0
		100.0	7.1	8.9	42.9	21.4	19.6	0.0
50代	99	9	16	46	12	16	0	
	100.0	9.1	16.2	46.5	12.1	16.2	0.0	
60代	139	9	26	54	16	33	1	
	100.0	6.5	18.7	38.8	11.5	23.7	0.7	
70代 以上	271	32	69	87	24	57	2	
	100.0	11.8	25.5	32.1	8.9	21.0	0.7	

		回答者数	そう思う	どちらかといえ ば	どちらとも いえない	どちらかといえ ば	そう 思わない	不明・無 回答
		355	20	69	144	57	63	2
		100.0	5.6	19.4	40.6	16.1	17.7	0.6
		275	34	64	99	43	30	5
		100.0	12.4	23.3	36.0	15.6	10.9	1.8
		81	7	18	24	23	9	0
		100.0	8.6	22.2	29.6	28.4	11.1	0.0
		40	3	8	15	7	7	0
		100.0	7.5	20.0	37.5	17.5	17.5	0.0
		41	3	6	18	9	4	1
		100.0	7.3	14.6	43.9	22.0	9.8	2.4
		56	3	8	26	11	7	1
		100.0	5.4	14.3	46.4	19.6	12.5	1.8
		99	10	13	48	18	10	0
		100.0	10.1	13.1	48.5	18.2	10.1	0.0
		139	8	23	58	22	28	0
		100.0	5.8	16.5	41.7	15.8	20.1	0.0
		271	27	76	87	35	41	5
		100.0	10.0	28.0	32.1	12.9	15.1	1.8

オ 生活上の問題をかかえているのは、
結局本人の努力が足りないからだ

		回答者数	そう思う	そう思うかといえ ば	どちらとも いえない	どちらかといえ ば	そう 思わ ない	不明・無 回答
性別	女性	355 100.0	11 3.1	27 7.6	147 41.4	72 20.3	95 26.8	3 0.8
	男性	275 100.0	15 5.5	45 16.4	108 39.3	47 17.1	56 20.4	4 1.5
年齢	15～ 19歳	81 100.0	1 1.2	5 6.2	35 43.2	18 22.2	22 27.2	0 0.0
	20代	40 100.0	1 2.5	7 17.5	14 35.0	9 22.5	9 22.5	0 0.0
	30代	41 100.0	1 2.4	7 17.1	19 46.3	7 17.1	7 17.1	0 0.0
	40代	56 100.0	3 5.4	2 3.6	23 41.1	12 21.4	16 28.6	0 0.0
	50代	99 100.0	3 3.0	12 12.1	44 44.4	25 25.3	14 14.1	1 1.0
	60代	139 100.0	4 2.9	10 7.2	56 40.3	23 16.5	45 32.4	1 0.7
	70代 以上	271 100.0	15 5.5	38 14.0	100 36.9	49 18.1	64 23.6	5 1.8

カ 人間の社会には差別はつきもので、
なくすことは無理である

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	そう思うかといえ ば	どちらとも いえない	どちらかといえ ば	そう 思わ ない	不明・無 回答
性別	女性	355 100.0	47 13.2	94 26.5	85 23.9	62 17.5	65 18.3	2 0.6
	男性	275 100.0	46 16.7	79 28.7	72 26.2	30 10.9	46 16.7	2 0.7
年齢	15～ 19歳	81 100.0	14 17.3	30 37.0	16 19.8	10 12.3	11 13.6	0 0.0
	20代	40 100.0	8 20.0	16 40.0	12 30.0	2 5.0	2 5.0	0 0.0
	30代	41 100.0	11 26.8	24 58.5	5 12.2	0 0.0	1 2.4	0 0.0
	40代	56 100.0	10 17.9	16 28.6	19 33.9	7 12.5	4 7.1	0 0.0
	50代	99 100.0	17 17.2	28 28.3	25 25.3	12 12.1	17 17.2	0 0.0
	60代	139 100.0	15 10.8	40 28.8	31 22.3	18 12.9	34 24.5	1 0.7
	70代 以上	271 100.0	35 12.9	59 21.8	66 24.4	53 19.6	54 19.9	4 1.5

キ 人権問題は差別する人と差別される人の
問題であり、自分には関係がない

		回答者数	そう思う	そう思うかといえ ば	どちらとも いえない	どちらかといえ ば	そう 思わ ない	不明・無 回答
性別	女性	355 100.0	5 1.4	11 3.1	69 19.4	70 19.7	196 55.2	4 1.1
	男性	275 100.0	5 1.8	10 3.6	61 22.2	62 22.5	133 48.4	4 1.5
年齢	15～ 19歳	81 100.0	4 4.9	1 1.2	15 18.5	22 27.2	39 48.1	0 0.0
	20代	40 100.0	1 2.5	5 12.5	8 20.0	10 25.0	16 40.0	0 0.0
	30代	41 100.0	1 2.4	3 7.3	12 29.3	9 22.0	15 36.6	1 2.4
	40代	56 100.0	1 1.8	1 1.8	9 16.1	11 19.6	34 60.7	0 0.0
	50代	99 100.0	1 1.0	2 2.0	22 22.2	28 28.3	46 46.5	0 0.0
	60代	139 100.0	3 2.2	2 1.4	23 16.5	29 20.9	79 56.8	3 2.2
	70代 以上	271 100.0	2 0.7	13 4.8	57 21.0	45 16.6	149 55.0	5 1.8

ク 差別に対して抗議や反対をすることによって、
かえって問題が解決しにくくなる

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	そう思うかといえ ば	どちらとも いえない	どちらかといえ ば	そう 思わ ない	不明・無 回答
性別	女性	355 100.0	19 5.4	39 11.0	144 40.6	63 17.7	87 24.5	3 0.8
	男性	275 100.0	23 8.4	35 12.7	119 43.3	32 11.6	61 22.2	5 1.8
年齢	15～ 19歳	81 100.0	5 6.2	14 17.3	42 51.9	13 16.0	7 8.6	0 0.0
	20代	40 100.0	4 10.0	4 10.0	15 37.5	12 30.0	5 12.5	0 0.0
	30代	41 100.0	6 14.6	3 7.3	19 46.3	6 14.6	7 17.1	0 0.0
	40代	56 100.0	4 7.1	3 5.4	30 53.6	10 17.9	9 16.1	0 0.0
	50代	99 100.0	9 9.1	18 18.2	43 43.4	13 13.1	16 16.2	0 0.0
	60代	139 100.0	7 5.0	12 8.6	56 40.3	25 18.0	37 26.6	2 1.4
	70代 以上	271 100.0	13 4.8	36 13.3	100 36.9	36 13.3	78 28.8	8 3.0

ケ 日本国憲法は、国民が従うべきルールである

コ これまで行われてきた少数者の人権を保障する政策は、少数者に特権を与えたという面がある
(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	116 32.7	137 38.6	62 17.5	9 2.5	20 5.6	11 3.1
	男性	275 100.0	128 46.5	76 27.6	37 13.5	14 5.1	16 5.8	4 1.5
年齢	15～19歳	81 100.0	45 55.6	21 25.9	9 11.1	3 3.7	3 3.7	0 0.0
	20代	40 100.0	14 35.0	17 42.5	6 15.0	2 5.0	1 2.5	0 0.0
	30代	41 100.0	14 34.1	19 46.3	5 12.2	0 0.0	3 7.3	0 0.0
	40代	56 100.0	20 35.7	22 39.3	9 16.1	3 5.4	2 3.6	0 0.0
	50代	99 100.0	30 30.3	35 35.4	23 23.2	3 3.0	4 4.0	4 4.0
	60代	139 100.0	54 38.8	49 35.3	23 16.5	5 3.6	5 3.6	3 2.2
	70代以上	271 100.0	114 42.1	84 31.0	34 12.5	9 3.3	22 8.1	8 3.0

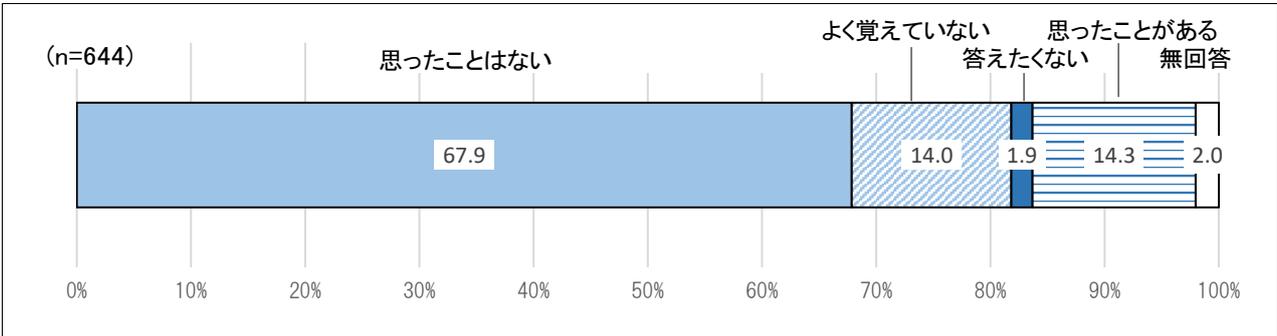
		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	15 4.2	59 16.6	176 49.6	48 13.5	49 13.8	8 2.3
	男性	275 100.0	26 9.5	65 23.6	121 44.0	24 8.7	35 12.7	4 1.5
年齢	15～19歳	81 100.0	9 11.1	19 23.5	41 50.6	7 8.6	5 6.2	0 0.0
	20代	40 100.0	3 7.5	11 27.5	20 50.0	5 12.5	1 2.5	0 0.0
	30代	41 100.0	4 9.8	13 31.7	17 41.5	3 7.3	4 9.8	0 0.0
	40代	56 100.0	7 12.5	11 19.6	26 46.4	8 14.3	4 7.1	0 0.0
	50代	99 100.0	9 9.1	20 20.2	50 50.5	9 9.1	9 9.1	2 2.0
	60代	139 100.0	3 2.2	24 17.3	78 56.1	17 12.2	14 10.1	3 2.2
	70代以上	271 100.0	16 5.9	48 17.7	114 42.1	33 12.2	53 19.6	7 2.6

性別による差が大きくみられるのは、「エ 社会福祉に頼るより、個人がもっと努力する必要がある」「オ 生活上の問題をかかえているのは、結局本人の努力が足りないからだ」「コ これまで行われてきた少数者の人権を保障する政策は、少数者に特権を与えたという面がある」で、男性の『そう思う』の割合が女性の『そう思う』の割合よりも10ポイント以上上回っている。また、「ケ 日本国憲法は、国民が従うべきルールである」についても、男性の「そう思う」の割合が女性よりも13.8ポイント高くなっている。

年齢別では、「イ 思いやりや優しさをみんなが持てば、人権問題は解決する」「ウ 差別する人だけではなく、差別される人にも問題がある」「エ 社会福祉に頼るより、個人がもっと努力する必要がある」について、『そう思う』の割合が70歳以上で最も高くなっている。そして、「カ 人間の社会には差別はつきもので、なくすことは無理である」については、『そう思う』の割合が30代で最も高くなっている。また、「ア 人権には必ず義務がともなう」という意見に「そう思う」と回答した割合は、15～19歳で最も高くなっている。

5 人権侵害を受けた経験

問4 人権侵害についてお尋ねします。
 (1) あなたは、過去5年間に、ご自分の人権が侵害されたと「思ったことがありますか。」



過去5年間に自分の人権が侵害されたと「思ったことがある」と回答したのは14.3%で、人権を侵害されたと「思ったことはない」と回答したのは67.9%であった。

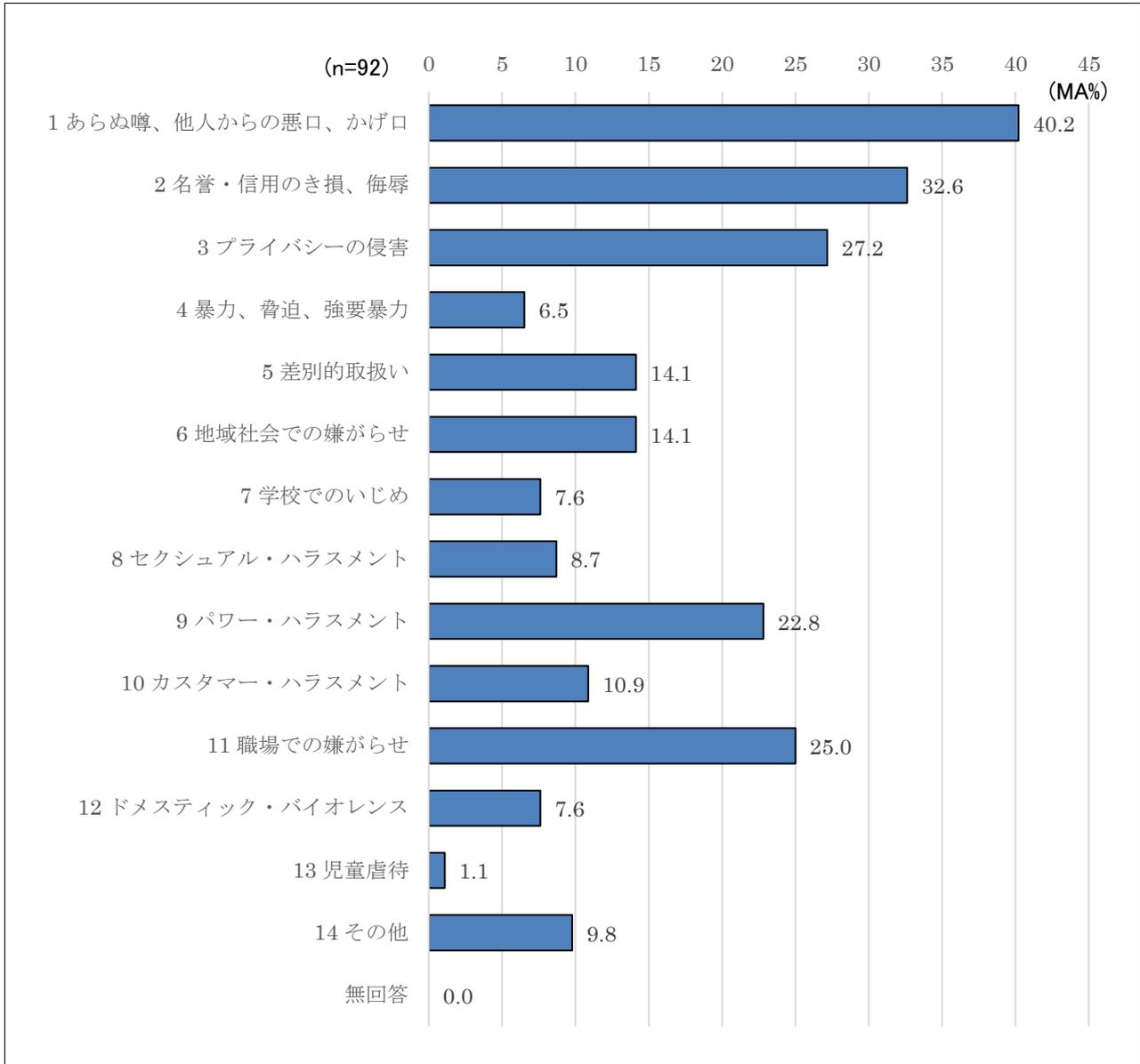
【問4 (1) 性別・年齢別】

(上段:人、下段%)

		回答者数	思ったことはない	よく覚えていない	答えたくない	思ったことがある	不明・無回答
性別	女性	355	233	52	5	56	9
		100.0	65.6	14.6	1.4	15.8	2.5
性別	男性	275	197	37	6	31	4
		100.0	71.6	13.5	2.2	11.3	1.5
年齢	15～19歳	81	48	18	4	11	0
		100.0	59.3	22.2	4.9	13.6	0.0
	20代	40	27	6	0	7	0
		100.0	67.5	15.0	0.0	17.5	0.0
	30代	41	22	9	0	9	1
		100.0	53.7	22.0	0.0	22.0	2.4
	40代	56	29	13	2	12	0
		100.0	51.8	23.2	3.6	21.4	0.0
50代	99	61	17	3	16	2	
	100.0	61.6	17.2	3.0	16.2	2.0	
60代	139	91	18	3	26	1	
	100.0	65.5	12.9	2.2	18.7	0.7	
70代	271	209	25	3	25	9	
	100.0	77.1	9.2	1.1	9.2	3.3	

性別で見ると、「思ったことがある」の割合は女性でやや高くなっており、年齢別では、30代が最も高く (22.0%)、70代以上が最も低い (9.2%)。

(2) 問4(1)で「4 思ったことがある」を選択された方にお尋ねします。
それはどのような場合ですか。(〇はいくつでも)



過去5年間に人権侵害を受けたと「思ったことがある」と回答した人に、その内容を問うと、「1 誹謗、他人からの悪口、かげ口」が40.2%と、最も多く、次いで「2 名誉・信用のき損、侮辱」(32.6%)、「3 プライバシーの侵害」(27.2%)、「11 職場での嫌がらせ」(25.0%)、「9 パワーハラスメント」(22.8%)となっている。

【問4(2) 性別・年齢別】

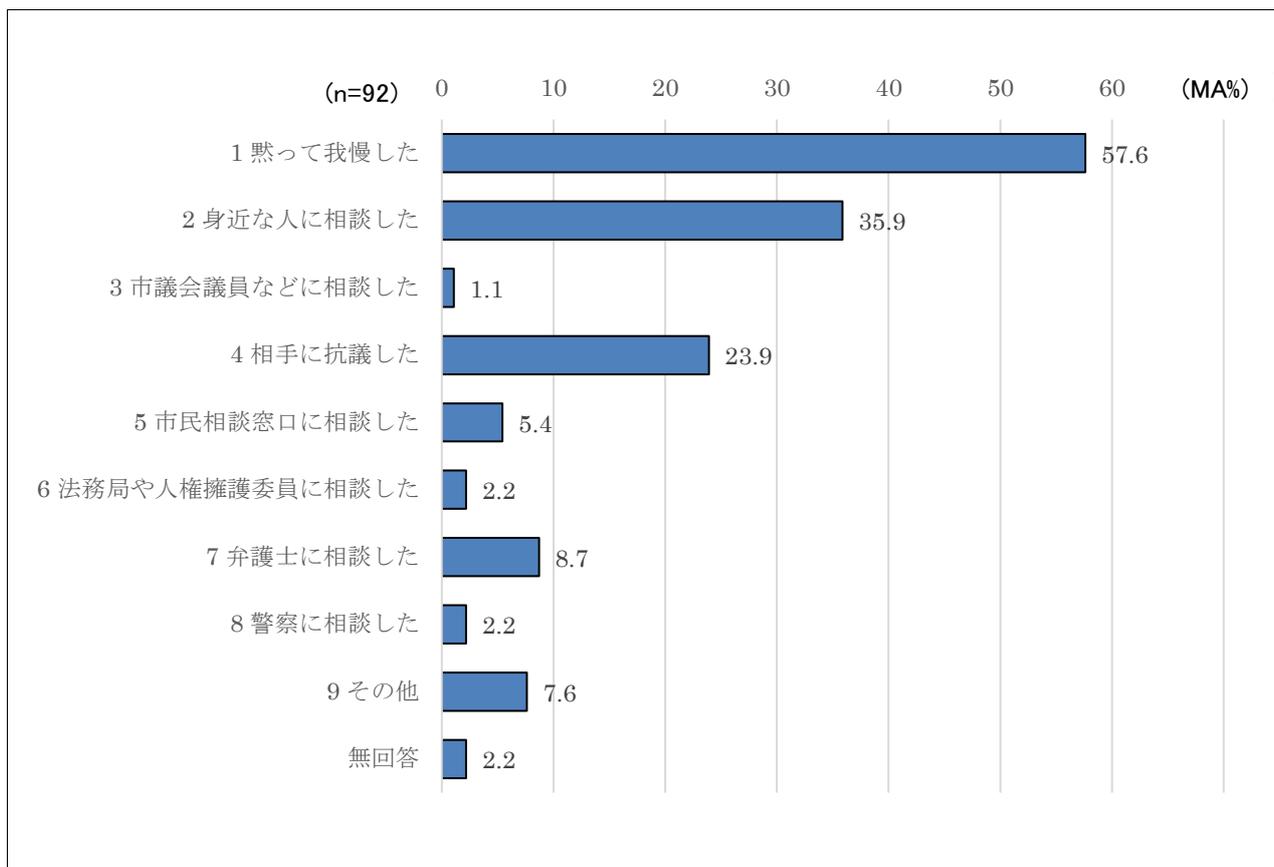
(上段:人、下段%)

		回答者数	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	プライバシーの侵害	暴力、脅迫、強要暴力	差別的取扱い	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	セクシュアル・ハラスメント	パワー・ハラスメント	カスタマー・ハラスメント	職場での嫌がらせ	ドメスティック・バイオレンス	児童虐待	その他	不明・無回答
性別	女性	56	25	14	18	5	8	8	4	8	13	6	12	6	1	4	0
		100.0	44.6	25.0	32.1	8.9	14.3	14.3	7.1	14.3	23.2	10.7	21.4	10.7	1.8	7.1	0.0
	男性	31	11	16	7	1	4	5	1	0	6	3	8	0	0	4	0
		100.0	35.5	51.6	22.6	3.2	12.9	16.1	3.2	0.0	19.4	9.7	25.8	0.0	0.0	12.9	0.0
年齢	15～19歳	11	6	4	4	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	2	0
		100.0	54.5	36.4	36.4	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0
	20代	7	2	2	2	1	1	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0
		100.0	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	9	3	2	3	1	0	0	0	2	3	2	4	2	0	1	0
		100.0	33.3	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	33.3	22.2	44.4	22.2	0.0	11.1	0.0
	40代	12	3	2	5	0	3	1	0	1	5	0	2	0	0	1	0
		100.0	25.0	16.7	41.7	0.0	25.0	8.3	0.0	8.3	41.7	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0
50代	16	6	5	2	1	2	1	1	0	6	3	3	2	0	4	0	
	100.0	37.5	31.3	12.5	6.3	12.5	6.3	6.3	0.0	37.5	18.8	18.8	12.5	0.0	25.0	0.0	
60代	26	10	10	5	1	2	8	2	1	6	1	12	0	0	2	0	
	100.0	38.5	38.5	19.2	3.8	7.7	30.8	7.7	3.8	23.1	3.8	46.2	0.0	0.0	7.7	0.0	
70代以上	25	12	9	9	2	4	3	4	3	1	3	2	3	1	0	0	
	100.0	48.0	36.0	36.0	8.0	16.0	12.0	16.0	12.0	4.0	12.0	8.0	12.0	4.0	0.0	0.0	

性別では、「名誉・信用のき損、侮辱」「地域社会での嫌がらせ」「職場での嫌がらせ」「その他」の4つに関して、男性の回答割合のほうが高くなっているが、なかでも「名誉・信用のき損、侮辱」については、男性の回答割合が51.6%と、女性の回答割合(25.0%)の約2倍となっている。これらの4つ以外の選択肢については、女性のほうが回答割合が高くなっており、その割合が男性よりも8ポイント以上、高いのは、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」「プライバシーの侵害」「セクシュアル・ハラスメント」「ドメスティック・バイオレンス」である。

この表にあがっているのは、人権侵害を受けたと思ったという回答者の数字であり、これを年齢別で示すと、いずれの年齢層も30に達していない。そのため、構成比の比較は統計的信頼度が低くなるので行えない。

(3) 問4(1)で「4 思ったことがある」を選択された方にお尋ねします。
そのとき、どのようにされましたか。(〇はいくつでも)



「思ったことがある」と回答した人に、そのとき、どうしたかを問うと、「1 黙って我慢した」が最も多く、「2 身近な人に相談した」「4 相手に抗議した」が続く。

【問 4 (3) 性別・年齢別】

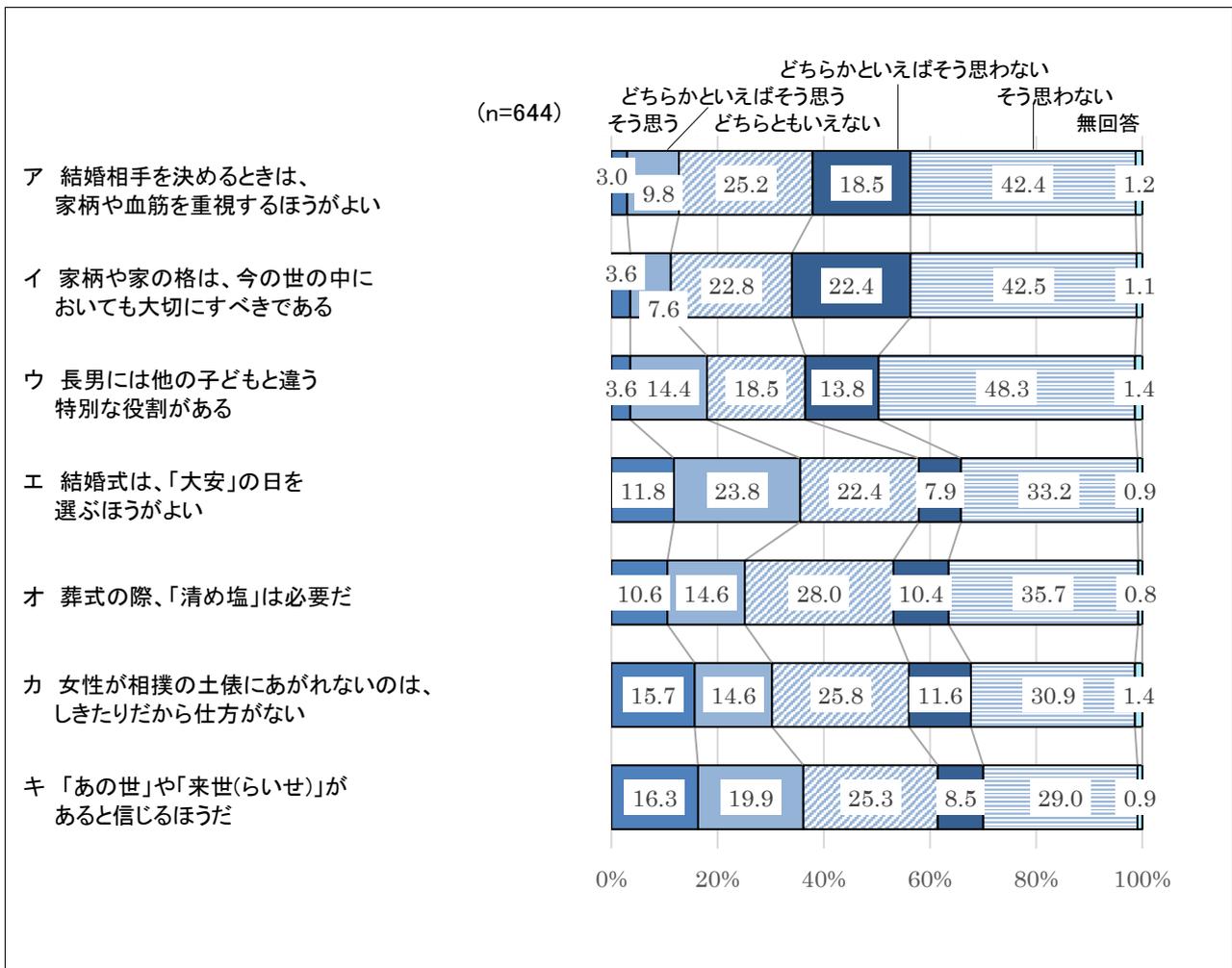
(上段:人、下段%)

		回答者数	黙って我慢した	身近な人に相談した	市議会議員などに相談した	相手に抗議した	市民相談窓口 に相談した	法務局や人権擁護委員に 相談した	弁護士に相談した	警察に相談した	その他	不明・無回答	
性別	女性	56	31	26	0	13	4	2	6	2	3	2	
		100.0	55.4	46.4	0.0	23.2	7.1	3.6	10.7	3.6	5.4	3.6	
	男性	31	19	4	1	7	1	0	2	0	4	0	
		100.0	61.3	12.9	3.2	22.6	3.2	0.0	6.5	0.0	12.9	0.0	
年齢	15～19歳	11	8	5	0	4	0	0	0	0	1	0	
		100.0	72.7	45.5	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	
	20代	7	6	3	0	3	0	0	1	1	0	0	
		100.0	85.7	42.9	0.0	42.9	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	
	30代	9	5	4	0	2	0	0	1	0	1	0	
		100.0	55.6	44.4	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	
	40代	12	8	4	0	3	2	0	0	0	0	1	0
		100.0	66.7	33.3	0.0	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
50代	16	11	8	0	4	1	1	1	1	0	1	0	
	100.0	68.8	50.0	0.0	25.0	6.3	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0	
60代	26	12	8	1	8	1	1	1	1	1	5	0	
	100.0	46.2	30.8	3.8	30.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	19.2	0.0	
70代以上	25	12	8	0	3	1	0	4	0	0	1	2	
	100.0	48.0	32.0	0.0	12.0	4.0	0.0	16.0	0.0	0.0	4.0	8.0	

性別で比較すると、「黙って我慢した」は、男性のほうがやや多く、「身近な人に相談した」は、女性 46.4%、男性 12.9%と、女性のほうが非常に多くなっている。このほかにも「市民相談窓口
に相談した」や「法務局や人権擁護委員に相談した」などの回答は、女性で多くなっている。

6 慣習や文化などに関する意見や考え方

問5 次のような慣習や文化などに関する意見や考え方について、あなたはどのように思いますか。



『そう思う』の割合は、いずれも4割を下回っており、『そう思う』の割合が最も高いのが「キ 『あの世』や『来世』があると信じるほうだ」で、36.2%となっている。『そう思う』の割合が最も低いのは「イ 家柄や家の格は、今の世の中においても大切にすべきである」で、11.2%となっており、「ア 結婚相手を決めるときは、家柄や血筋を重視するほうがよい」も12.8%と、低くなっている。

判断を保留する回答である「どちらともいえない」は、いずれも3割を下回っている。また、「ア 結婚相手を決めるときは、家柄や血筋を重視するほうがよい」「イ 家柄や家の格は、今の世の中においても大切にすべきである」「ウ 長男には他の子どもと違う特別な役割がある」については、『そう思わない』の割合が6割を超えている。

【問5 性別・年齢別】

ア 結婚相手を決めるときは、
家柄や血筋を重視するほうがよい

イ 家柄や家の格は、
今の世の中においても大切にすべきである
(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	13	38	89	71	138	6
		100.0	3.7	10.7	25.1	20.0	38.9	1.7
	男性	275	5	25	69	48	126	2
		100.0	1.8	9.1	25.1	17.5	45.8	0.7
年齢	15～19歳	81	3	11	12	22	33	0
		100.0	3.7	13.6	14.8	27.2	40.7	0.0
	20代	40	1	3	11	10	15	0
		100.0	2.5	7.5	27.5	25.0	37.5	0.0
	30代	41	1	4	13	6	17	0
		100.0	2.4	9.8	31.7	14.6	41.5	0.0
	40代	56	2	2	13	20	19	0
		100.0	3.6	3.6	23.2	35.7	33.9	0.0
	50代	99	4	11	26	18	40	0
		100.0	4.0	11.1	26.3	18.2	40.4	0.0
	60代	139	1	11	34	26	66	1
		100.0	0.7	7.9	24.5	18.7	47.5	0.7
	70代以上	271	7	33	66	42	116	7
		100.0	2.6	12.2	24.4	15.5	42.8	2.6

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
		355	12	24	89	85	140	5
		100.0	3.4	6.8	25.1	23.9	39.4	1.4
		275	11	24	57	58	124	1
		100.0	4.0	8.7	20.7	21.1	45.1	0.4
		81	6	18	15	18	24	0
		100.0	7.4	22.2	18.5	22.2	29.6	0.0
		40	2	3	14	4	17	0
		100.0	5.0	7.5	35.0	10.0	42.5	0.0
		41	2	7	9	8	15	0
		100.0	4.9	17.1	22.0	19.5	36.6	0.0
		56	1	2	12	18	23	0
		100.0	1.8	3.6	21.4	32.1	41.1	0.0
		99	4	13	27	23	32	0
		100.0	4.0	13.1	27.3	23.2	32.3	0.0
		139	5	6	31	32	64	1
		100.0	3.6	4.3	22.3	23.0	46.0	0.7
		271	7	18	59	58	124	5
		100.0	2.6	6.6	21.8	21.4	45.8	1.8

ウ 長男には他の子どもと違う特別な役割がある

エ 結婚式は、「大安」の日を選ぶほうがよい
(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	7	45	66	52	178	7
		100.0	2.0	12.7	18.6	14.6	50.1	2.0
	男性	275	16	48	50	35	124	2
		100.0	5.8	17.5	18.2	12.7	45.1	0.7
年齢	15～19歳	81	2	12	14	11	42	0
		100.0	2.5	14.8	17.3	13.6	51.9	0.0
	20代	40	1	8	5	6	20	0
		100.0	2.5	20.0	12.5	15.0	50.0	0.0
	30代	41	1	11	5	8	16	0
		100.0	2.4	26.8	12.2	19.5	39.0	0.0
	40代	56	4	8	9	8	27	0
		100.0	7.1	14.3	16.1	14.3	48.2	0.0
	50代	99	4	18	16	13	47	1
		100.0	4.0	18.2	16.2	13.1	47.5	1.0
	60代	139	3	14	25	22	73	2
		100.0	2.2	10.1	18.0	15.8	52.5	1.4
	70代以上	271	10	39	55	33	128	6
		100.0	3.7	14.4	20.3	12.2	47.2	2.2

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
		355	32	78	83	30	129	3
		100.0	9.0	22.0	23.4	8.5	36.3	0.8
		275	40	71	59	20	82	3
		100.0	14.5	25.8	21.5	7.3	29.8	1.1
		81	11	18	26	3	23	0
		100.0	13.6	22.2	32.1	3.7	28.4	0.0
		40	5	11	11	3	10	0
		100.0	12.5	27.5	27.5	7.5	25.0	0.0
		41	8	13	3	4	13	0
		100.0	19.5	31.7	7.3	9.8	31.7	0.0
		56	8	13	12	5	18	0
		100.0	14.3	23.2	21.4	8.9	32.1	0.0
		99	15	22	25	6	31	0
		100.0	15.2	22.2	25.3	6.1	31.3	0.0
		139	8	35	36	13	45	2
		100.0	5.8	25.2	25.9	9.4	32.4	1.4
		271	30	64	56	21	96	4
		100.0	11.1	23.6	20.7	7.7	35.4	1.5

オ 葬式の際、「清め塩」は必要だ

カ 女性が相撲の土俵に上がれないのは、
しきたりだから仕方がない

(上段:人、下段%)

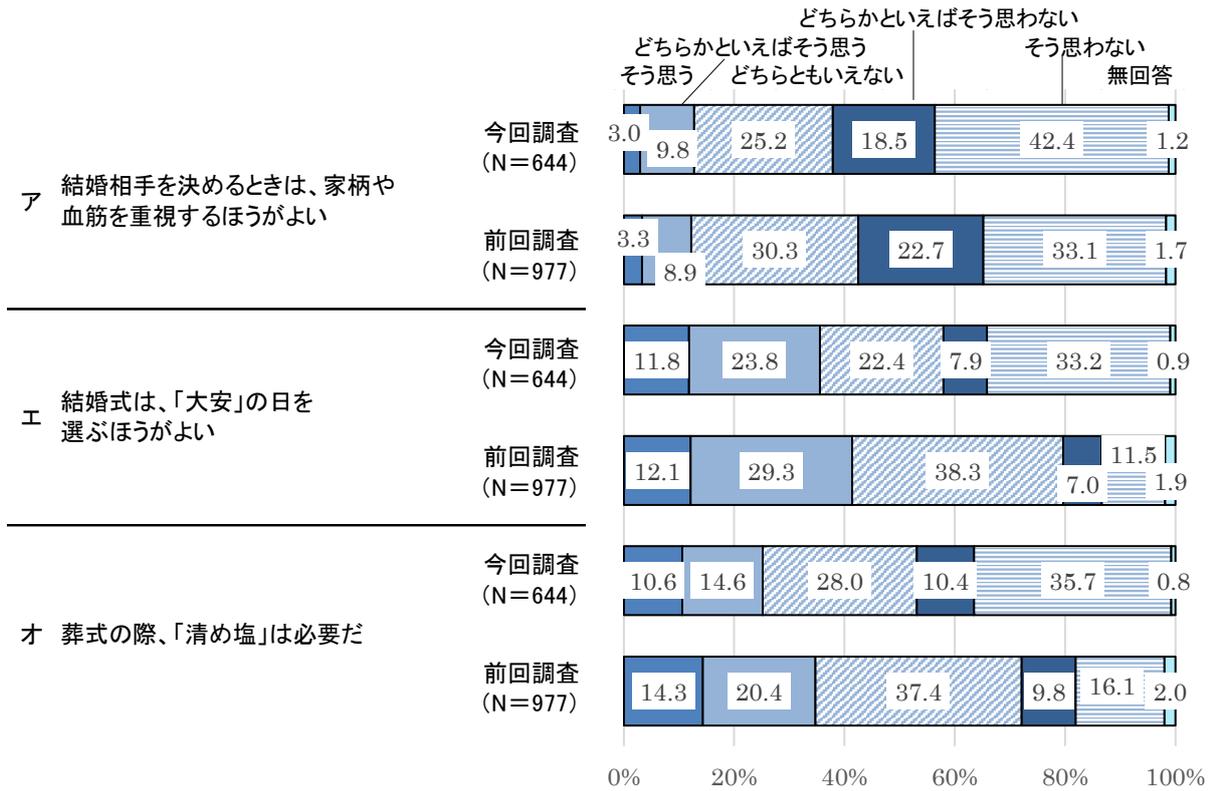
		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答							
		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答	回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	36	49	98	31	138	3	355	53	55	100	40	102	5
		100.0	10.1	13.8	27.6	8.7	38.9	0.8	100.0	14.9	15.5	28.2	11.3	28.7	1.4
性別	男性	275	29	43	79	35	87	2	275	44	37	61	35	94	4
		100.0	10.5	15.6	28.7	12.7	31.6	0.7	100.0	16.0	13.5	22.2	12.7	34.2	1.5
年齢	15～19歳	81	15	16	30	2	18	0	81	15	10	29	9	18	0
		100.0	18.5	19.8	37.0	2.5	22.2	0.0	100.0	18.5	12.3	35.8	11.1	22.2	0.0
	20代	40	6	6	15	4	9	0	40	5	6	11	6	12	0
		100.0	15.0	15.0	37.5	10.0	22.5	0.0	100.0	12.5	15.0	27.5	15.0	30.0	0.0
	30代	41	6	8	9	6	12	0	41	5	6	8	8	14	0
		100.0	14.6	19.5	22.0	14.6	29.3	0.0	100.0	12.2	14.6	19.5	19.5	34.1	0.0
	40代	56	7	10	20	3	16	0	56	8	6	13	7	22	0
		100.0	12.5	17.9	35.7	5.4	28.6	0.0	100.0	14.3	10.7	23.2	12.5	39.3	0.0
50代	99	11	17	30	10	31	0	99	16	12	31	10	30	0	
	100.0	11.1	17.2	30.3	10.1	31.3	0.0	100.0	16.2	12.1	31.3	10.1	30.3	0.0	
60代	139	8	20	39	11	60	1	139	17	16	43	16	46	1	
	100.0	5.8	14.4	28.1	7.9	43.2	0.7	100.0	12.2	11.5	30.9	11.5	33.1	0.7	
70代以上	271	29	34	64	33	107	4	271	47	51	54	29	82	8	
	100.0	10.7	12.5	23.6	12.2	39.5	1.5	100.0	17.3	18.8	19.9	10.7	30.3	3.0	

性別で大きな差がみられるのは、「ウ 長男には他の子どもと違う特別な役割がある」と「エ 結婚式は、『大安』の日を選ぶほうがよい」で、『そう思う』の割合は男性のほうが高く、前者では8.6ポイント、後者では9.3ポイント、女性の『そう思う』の割合を上回っている。また、「キ 『あの世』や『来世』があると信じるほうだ」については、女性の『そう思う』の割合が43.7%と、男性の『そう思う』の割合(26.5%)を17.2ポイントも上回っている。

年齢別でみると、『そう思う』の割合が最も高くなっている年齢層は、「ア 結婚相手を決めるときは、家柄や血筋を重視するほうがよい」「イ 家柄や家の格は、今の世の中においても大切にすべきである」「オ 葬式の際、『清め塩』は必要だ」「キ 『あの世』や『来世』があると信じるほうだ」では15～19歳で、「カ 女性が相撲の土俵に上がれないのは、しきたりだから仕方がない」については、70代以上である。そして、「ウ 長男には他の子どもと違う特別な役割がある」と「エ 結婚式は、『大安』の日を選ぶほうがよい」については、30代で『そう思う』の割合が最も高くなっている。

慣習や文化などに関する7項目中5項目で、15～19歳の肯定回答(『そう思う』)が最も多くなっている。かつては、慣習や伝統、俗伝などに対しては、高齢者で肯定回答が高く、若年層では否定回答が多かったが、今回の調査においては大きく変化しているといえる。

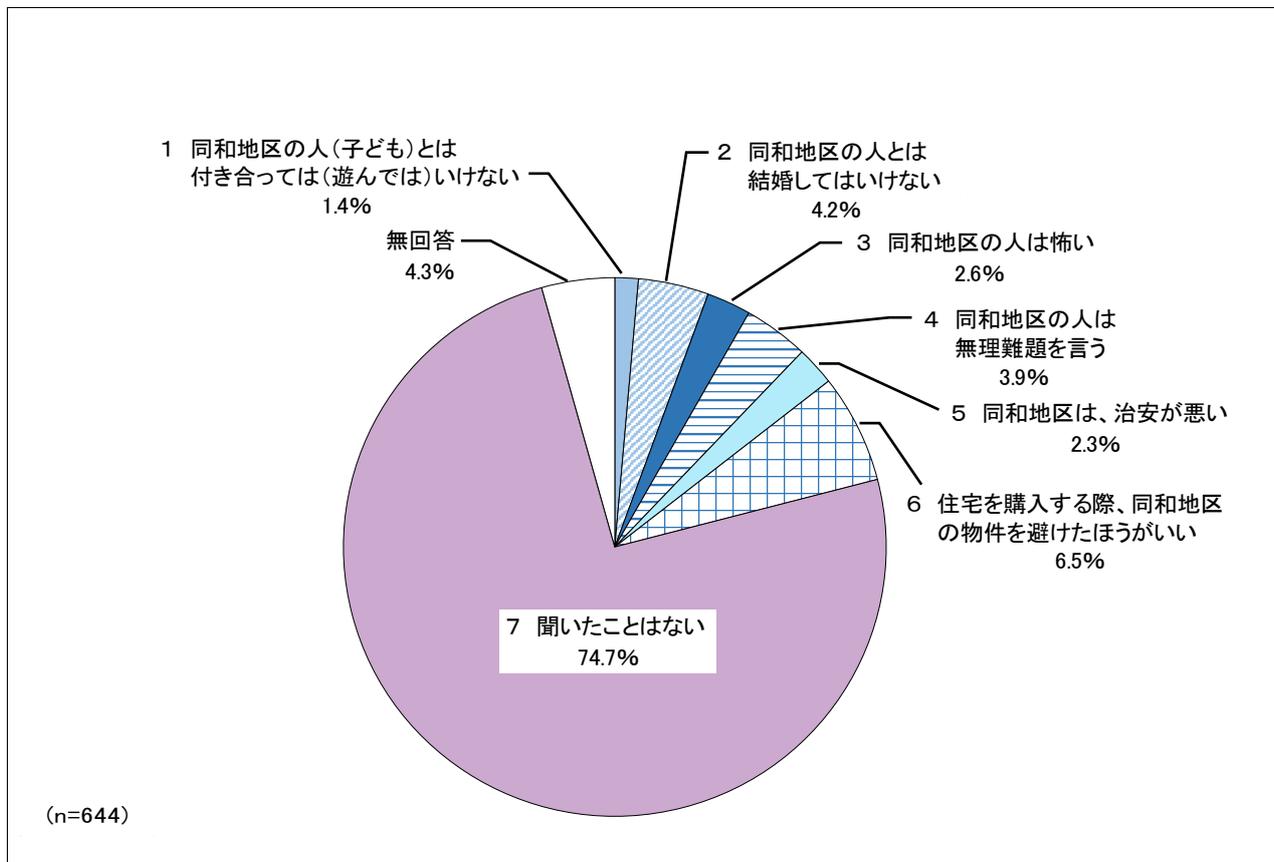
【問 5 前回調査との比較】



前回調査と比べて、「そう思わない」の割合がそれぞれ増加している。なかでも「エ 結婚式は、『大安』の日を選ぶほうがよい」では21.7ポイント、「オ 葬式の際、『清め塩』は必要だ」で19.6ポイント前回調査よりも多くなっている。

7 同和問題に関する発言を直接聞いた経験

問6 あなたは、過去5年間に、同和問題に対して、次のような発言を直接聞いたことがありますか。複数ある場合は、強く印象に残っているものを選んでください。



過去5年間に同和問題に関する6つの発言を直接聞いたことがあるかを問うと、「7 聞いたことがない」が74.7%を占め、聞いたことがあるのなかでは、「6 住宅を購入する際、同和地区の物件を避けたほうがいい」が6.5%で最も多くなっている。

「7 聞いたことがない」と「無回答」の割合（それぞれ74.7%、4.3%）を100%から引き、6つの発言をそれぞれ聞いたと答えた人を合計すると、135人となり、これが644人に占める割合は21.0%となる。つまり、この5年間に同和問題に関する差別的な内容の発言を直接聞いたという人は5人に1人いたということになる。

【問6(1) 性別・年齢別】

(上段:人、下段%)

		回答者数	同和地区の人(子ども)とは付き合っては(遊んでは)いけない	同和地区の人とは結婚してはいけない	同和地区の人は怖い	同和地区の人は無理難題を言う	同和地区は、治安が悪い	住宅を購入する際、同和地区の物件を避けたほうがいい	聞いたことはない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	5 1.4	17 4.8	9 2.5	7 2.0	6 1.7	25 7.0	270 76.1	16 4.5
	男性	275 100.0	4 1.5	7 2.5	7 2.5	17 6.2	9 3.3	17 6.2	203 73.8	11 4.0
年齢	15~19歳	81 100.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	1 1.2	1 1.2	3 3.7	75 92.6	0 0.0
	20代	40 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 10.0	2 5.0	33 82.5	1 2.5
	30代	41 100.0	1 2.4	1 2.4	1 2.4	0 0.0	2 4.9	3 7.3	32 78.0	1 2.4
	40代	56 100.0	2 3.6	4 7.1	1 1.8	3 5.4	4 7.1	5 8.9	35 62.5	2 3.6
	50代	99 100.0	2 2.0	3 3.0	4 4.0	3 3.0	2 2.0	7 7.1	76 76.8	2 2.0
	60代	139 100.0	1 0.7	7 5.0	1 0.7	8 5.8	2 1.4	11 7.9	105 75.5	4 2.9
	70代	271 100.0	3 1.1	12 4.4	9 3.3	12 4.4	4 1.5	14 5.2	199 73.4	18 6.6
	以上									

性別で見ると、「同和地区の人とは結婚をしてはいけない」は女性が多く、「同和地区の人は無理難題を言う」は男性が多い。この5年間に6つの発言を直接聞いたことがあるという割合を算出すると、女性で19.4%、男性で22.2%で、男性のほうがやや多い。

年齢別で見ると、「同和地区の人とは結婚をしてはいけない」と「住宅を購入する際、同和地区の物件を避けたほうがいい」は40代が多く、「同和地区は、治安が悪い」は20代で多くなっている。この5年間に6つの発言を直接聞いたことがあるのは、15~19歳7.4%、20代15.0%、30代19.5%、40代33.9%、50代21.2%、60代21.5%、70代以上19.9%であり、40代での割合が高いのが際立っている。

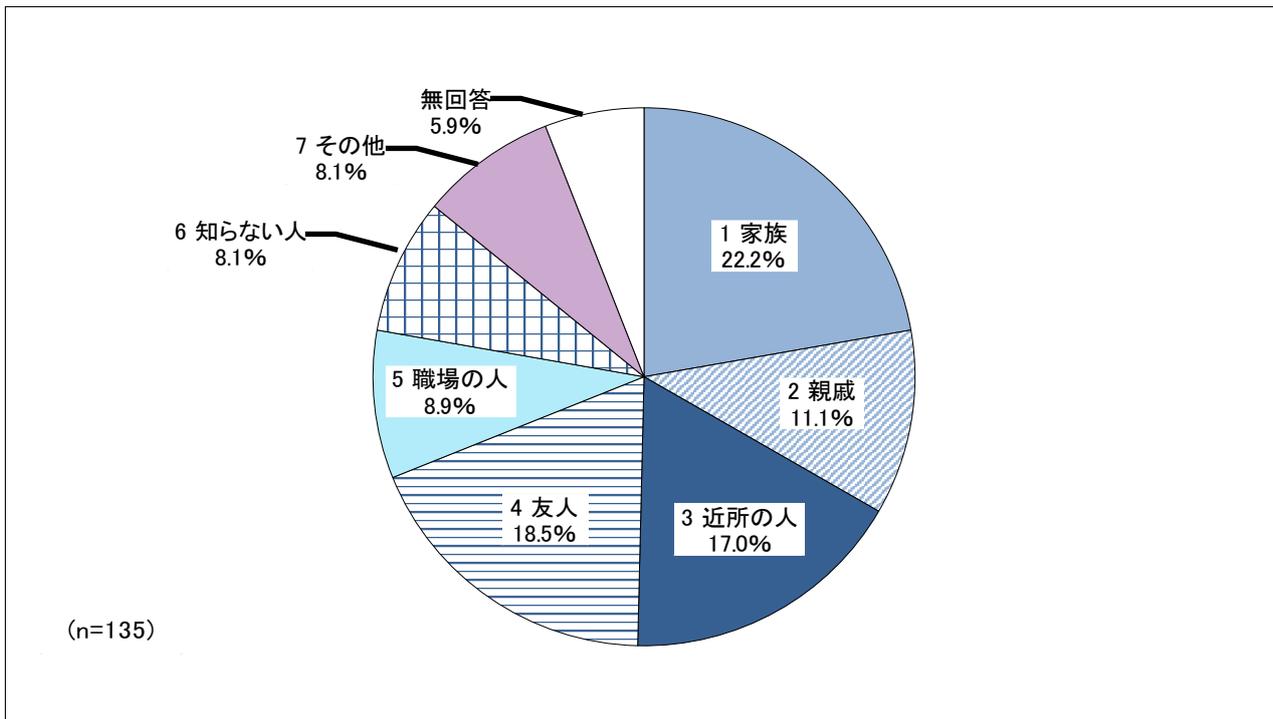
【問 6 前回調査との比較】

(%)

	令和7年度	令和2年度
回答者数	644	977
1 同和地区の人(子ども)とは付き合っては(遊んでは)いけない	1.4	0.7
2 同和地区の人とは結婚してはいけない	4.2	4.0
3 同和地区の人は怖い	2.6	3.5
4 同和地区の人は無理難題を言う	3.9	4.1
5 同和地区は、治安が悪い	2.3	3.0
6 住宅を購入する際、同和地区の物件を避けたほうがいい	6.5	4.8
7 聞いたことはない	74.7	75.2
無回答	4.3	4.7

前回調査と比較すると、「聞いたことがない」の割合は、どちらも75%前後で、ほとんど差はなく、違いをあげるなら、「6 住宅を購入する際、同和地区の物件を避けたほうがいい」が1.7ポイント増えている。

(2) 問6で「1」～「6」を選んだ方にお聞きします。
それは誰から聞きましたか。主なものを選んでください。



6つの発言を誰から聞いたのかを問うと、「1 家族」が最も多いが、「3 近所の人」「4 友人」も20%近くあり、6つの差別的な発言はさまざまな人から聞いていることがわかる。

【問6(2) 性別・年齢別】

(上段:人、下段%)

		回答者数	家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	知らない人	その他	不明・無回答
性別	女性	69	17	7	12	17	3	4	6	3
		100.0	24.6	10.1	17.4	24.6	4.3	5.8	8.7	4.3
性別	男性	61	11	7	11	7	9	7	5	25
		100.0	18.0	11.5	18.0	11.5	14.8	11.5	8.2	41.0
年齢	15～19歳	6	0	0	0	0	0	1	5	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0
	20代	6	1	0	1	1	0	0	2	1
		100.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7
	30代	8	1	1	1	3	0	1	0	1
		100.0	12.5	12.5	12.5	37.5	0.0	12.5	0.0	12.5
	40代	19	8	0	1	5	1	2	2	0
		100.0	42.1	0.0	5.3	26.3	5.3	10.5	10.5	0.0
50代	21	7	0	4	1	3	3	1	2	
	100.0	33.3	0.0	19.0	4.8	14.3	14.3	4.8	9.5	
60代	30	6	6	4	5	4	3	2	0	
	100.0	20.0	20.0	13.3	16.7	13.3	10.0	6.7	0.0	
70代以上	54	7	8	13	10	4	3	5	4	
	100.0	13.0	14.8	24.1	18.5	7.4	5.6	9.3	7.4	

性別で比較すると、「家族」と「友人」は女性のほうに多く、「職場の人」と「知らない人」は男性のほうに多くなっている。なお、回答者数が50を超える年齢層が70代以上だけなので、年齢別比較は行わない。

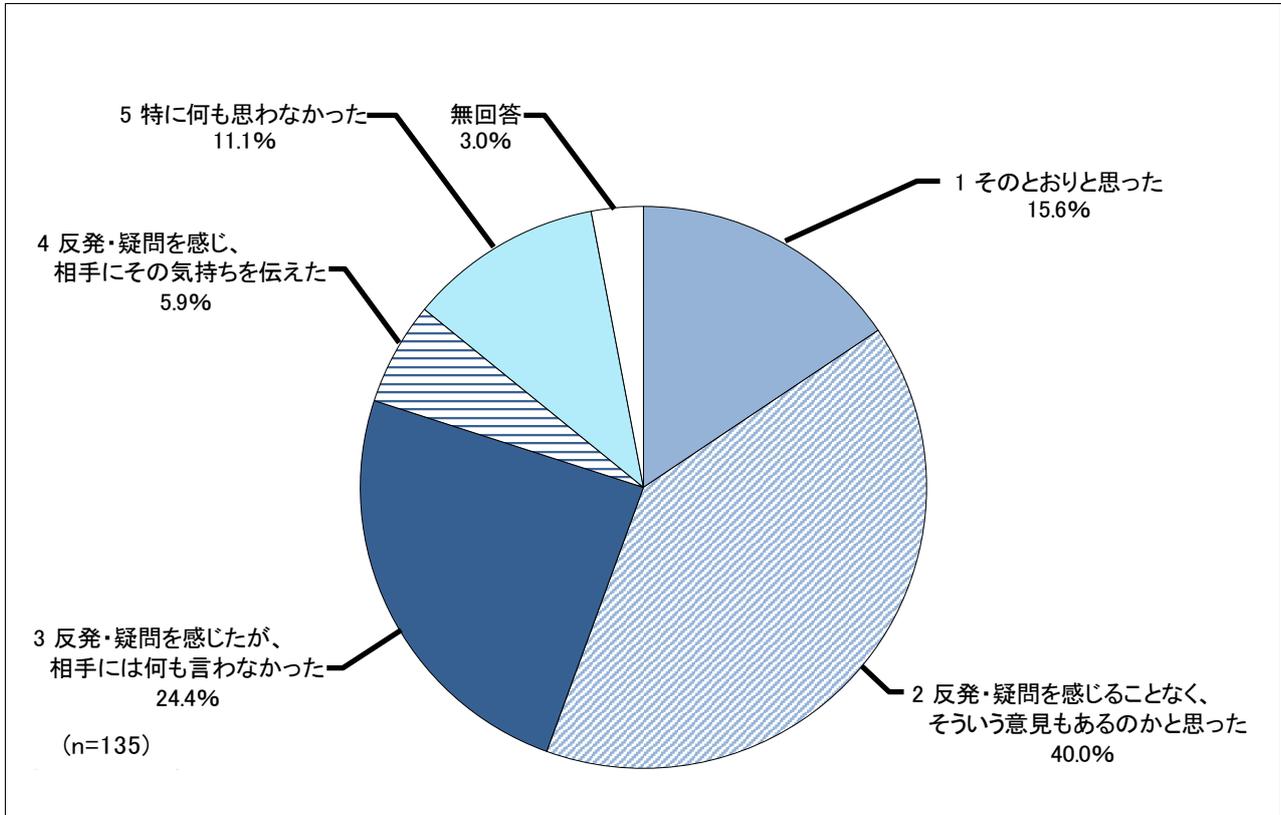
【問6(2) 前回調査との比較】

(%)

	令和7年度	令和2年度
回答者数	644	977
1 家族	22.2	22.4
2 親戚	11.1	10.7
3 近所の人	17.0	16.8
4 友人	18.5	16.8
5 職場の人	8.9	14.8
6 知らない人	8.1	7.1
7 その他(具体的に)	8.1	8.7
無回答	5.9	2.6

同和問題に関する差別的な内容の発言を誰から聞いたのかを前回調査と比較すると、「5 職場の人」が5.9ポイント減少しているのを除けば、大きな違いはみられない。

(3) 問6で「1」～「6」を選んだ方にお聞きします。
それを聞いたとき、どう感じましたか。また、どうしましたか。



6つの発言のいずれかを聞いた人に、それを聞いたとき、どう感じたかを問うと、「2 反発・疑問を感じることなく、そういう意見もあるのかと思った」が最も多く(40.0%)、次いで「3 反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」(24.4%)、「1 そのとおりに思った」(15.6%)、「5 特に何も思わなかった」(11.1%)が続く。差別的な内容の発言を聞いて、反発・疑問を感じたのは30.3%であった。

【問6(3) 性別・年齢別】

(上段:人、下段%)

		回答者数	そのとおりに思った	反発・疑問を感じるのかと思った	反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった	反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた	特に何も思わなかった	不明・無回答
性別	女性	69	6	31	18	5	8	1
		100.0	8.7	44.9	26.1	7.2	11.6	1.4
	男性	61	13	22	14	3	7	9
		100.0	21.3	36.1	23.0	4.9	11.5	14.8
年齢	15～19歳	6	2	2	2	0	0	0
		100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	20代	6	0	4	0	1	1	0
		100.0	0.0	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0
	30代	8	0	3	3	1	1	0
		100.0	0.0	37.5	37.5	12.5	12.5	0.0
	40代	19	1	8	5	3	1	1
	100.0	5.3	42.1	26.3	15.8	5.3	5.3	
50代	21	5	10	2	0	3	1	
	100.0	23.8	47.6	9.5	0.0	14.3	4.8	
60代	30	3	11	11	1	4	0	
	100.0	10.0	36.7	36.7	3.3	13.3	0.0	
70代以上	54	10	21	12	2	6	3	
	100.0	18.5	38.9	22.2	3.7	11.1	5.6	

性別で比較すると、「そのとおりに思った」は男性のほうが多く(割合にして12.6ポイント高い)、「反発・疑問を感じることなく、そういう意見もあるのかと思った」は女性のほうがやや高い。そして、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」と「反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた」を合わせた割合は、女性 33.3%、男性 27.9%であり、同和問題に関する差別的な内容の発言を聞いて、「反発・疑問を感じた」のは、女性のほうがやや多くなっている。

【問 6 (3) 前回調査との比較】

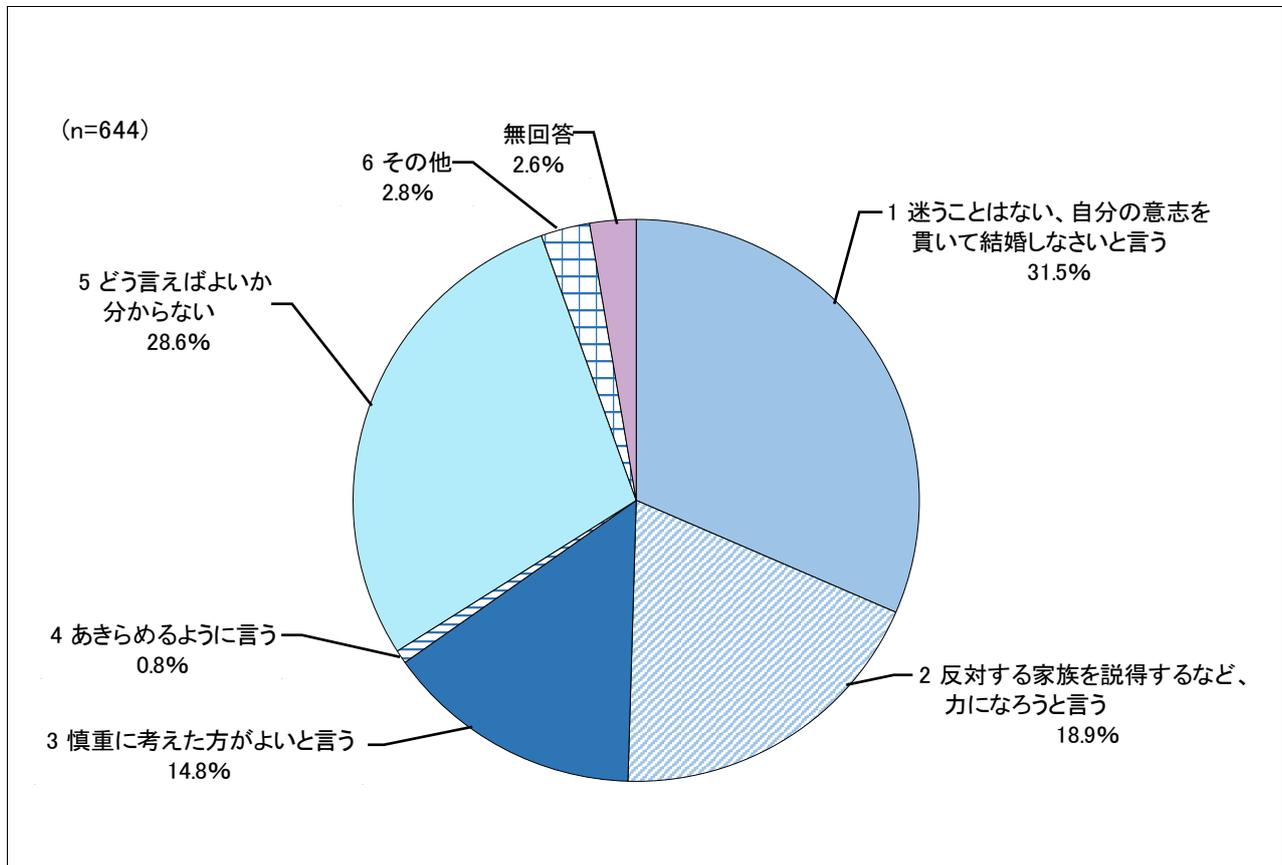
(%)

	令和7年度	令和2年度
回答者数	644	977
1 そのとおりと思った	15.6	13.8
2 反発・疑問を感じることなく、そういう意見もあるのかと思った	40.0	40.3
3 反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった	24.4	30.1
4 反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた	5.9	6.1
5 特に何も思わなかった	11.1	7.7
無回答	3.0	2.0

同和問題に関する差別的な内容の発言を聞いたとき、どう感じたか、前回調査と比較すると、「3 反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」が 5.7 ポイント減少し、「5 特に何も思わなかった」が 3.4 ポイント増加している。

8 同和地区出身者との結婚に関する考え方

問7 結婚しようとする相手が同和地区出身者であるということを理由に、家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその親戚から相談を受けた場合、あなたはどのようにされますか。



同和地区出身者との結婚を家族に反対されている親戚からの相談に対する対応をみると、「1 迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」が最も多く (31.5%)、次いで「5 どう言えばよいかわからない」(28.6%)、「2 反対する家族を説得するなど、力になろうと言う」(18.9%)、「3 慎重に考えたほうがよいと言う」(14.8%)が続く。積極的な対応(「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」と「反対する家族を説得するなど、力になろうと言う」)は50.4%、消極的な対応(「慎重に考えたほうがよいと言う」「あきらめるように言う」「5 どう言えばよいかわからない」)は44.2%で、積極的対応のほうがやや多くなっている。

【問7(1) 性別・年齢別】

(上段:人、下段%)

		回答者数	迷うことはない、 貫いて結婚しなさいと 言う	力になるうと言う	反対する家族を説得する など、	慎重に考えた方がよいと 言う	あきらめるように言う	どう言えばよいか分 からない	その他	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	94 26.5	70 19.7	52 14.6	2 0.6	117 33.0	11 3.1	9 2.5	
	男性	275 100.0	106 38.5	49 17.8	40 14.5	3 1.1	63 22.9	9 3.3	77 28.0	
年齢	15～ 19歳	81 100.0	32 39.5	16 19.8	7 8.6	0 0.0	20 24.7	6 7.4	0 0.0	
	20代	40 100.0	14 35.0	10 25.0	3 7.5	0 0.0	13 32.5	0 0.0	0 0.0	
	30代	41 100.0	14 34.1	12 29.3	7 17.1	0 0.0	8 19.5	0 0.0	0 0.0	
	40代	56 100.0	13 23.2	12 21.4	11 19.6	1 1.8	18 32.1	1 1.8	0 0.0	
	50代	99 100.0	36 36.4	16 16.2	21 21.2	0 0.0	23 23.2	3 3.0	0 0.0	
	60代	139 100.0	43 30.9	29 20.9	13 9.4	1 0.7	48 34.5	4 2.9	1 0.7	
	70代 以上	271 100.0	90 33.2	43 15.9	39 14.4	3 1.1	74 27.3	9 3.3	13 4.8	

性別では、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」は男性のほうに多く（割合は女性より 18.0 ポイント高い）、「どう言えばよいか分からない」は女性のほうが多い（割合は男性より 10.1 ポイント高い）。

年齢別では、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」は 15～19 歳で最も多くなっている。そして、「反対する家族を説得するなど、力になるうと言う」は 30 代、「慎重に考えたほうがよいと言う」は 50 代、「どう言えばよいか分からない」は 60 代で、それぞれ最も高くなっている。

【問7 前回調査との比較】

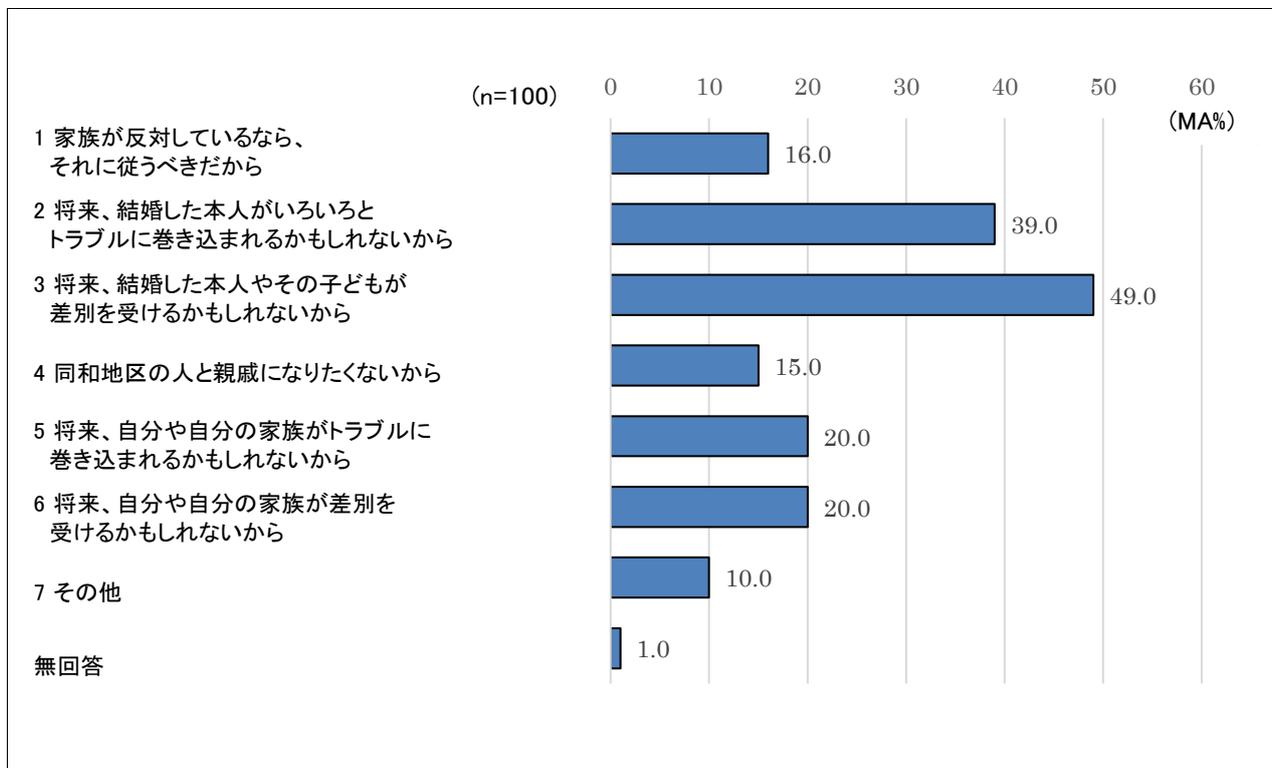
(%)

	令和7年度	令和2年度
回答者数	644	977
1 迷うことはない、自分の意志を貫いて結婚しなさいと言う	31.5	29.4
2 反対する家族を説得するなど、力になろうと言う	18.9	15.6
3 慎重に考えた方がよいと言う	14.8	19.1
4 あきらめるように言う	0.8	3.9
5 どう言えばよいか分からな	28.6	25.0
6 その他(具体的に)	2.8	4.6
無回答	2.6	2.5

同和地区出身者との結婚を家族から反対されている親戚からの相談への対応を前回調査と比較すると、「2 反対する家族を説得するなど、力になろうと言う」が3.3ポイント増え、「3 慎重に考えた方がよいと言う」が4.3ポイント減少している。また、「4 あきらめるように言う」は3.9%から0.8%に低下している。

(2) 問7で「3」または「4」と答えた方にお聞きします。

「慎重に考えた方がよいと言う」「あきらめるように言う」と答えたのは、どうしてですか。
あてはまるものに○をつけてください。



「慎重に考えたほうがよいと言う」「あきらめるように言う」と回答した人に、その理由を尋ねると（複数回答）、「3 将来、結婚した本人やその子どもが差別を受けるかもしれないから」が最も多く（49.0%）、「2 将来、結婚した本人がいろいろとトラブルに巻き込まれたりするかもしれないから」（39.0%）がこれに続く。そして、「5 将来、自分や自分の家族がいろいろとトラブルに巻き込まれたりするかもしれないから」と「6 将来、自分や自分の家族が差別を受けるかもしれないから」は、ともに20.0%だった。

【問7(2) 性別・年齢別】

(上段:人、下段%)

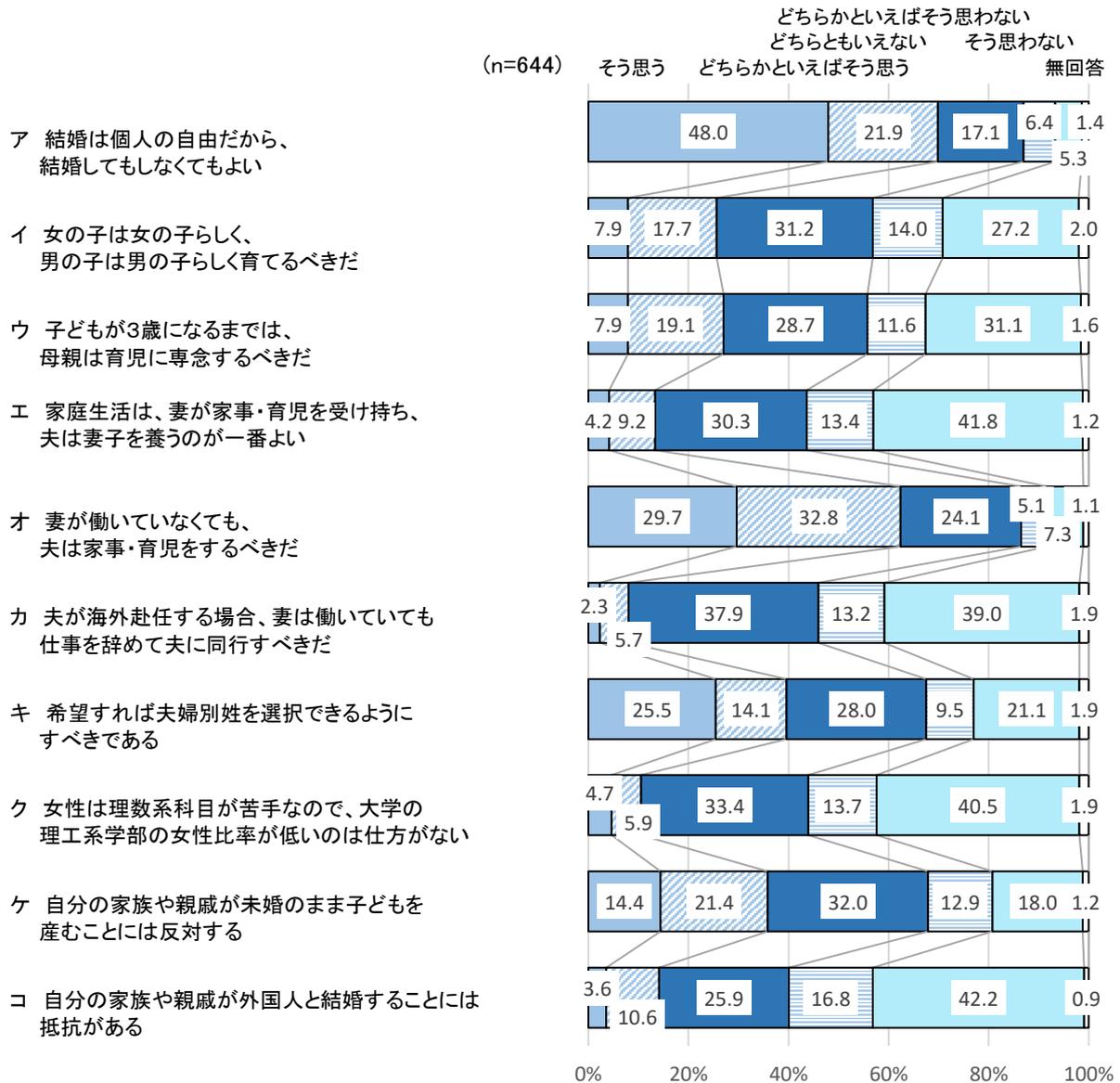
		回答者数	家族が反対しているから	将来、結婚した本人やその子どもが差別を受けないから	将来、結婚した本人やその子どもが差別を受けるかもしれないから	同和地区の人と親戚になりたくないから	将来、自分や自分の家族がトラブルに巻き込まれるかもしれないから	将来、自分や自分の家族が差別を受けるかもしれないから	その他	不明・無回答
性別	女性	54 100.0	7 13.0	21 38.9	29 53.7	7 13.0	10 18.5	12 22.2	7 13.0	0 0.0
	男性	43 100.0	9 20.9	17 39.5	19 44.2	6 14.0	9 20.9	8 18.6	3 7.0	1 2.3
年齢	15～19歳	7 100.0	0 0.0	4 57.1	3 42.9	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0
	20代	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30代	7 100.0	0 0.0	4 57.1	4 57.1	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	40代	12 100.0	1 8.3	8 66.7	5 41.7	2 16.7	3 25.0	1 8.3	2 16.7	0 0.0
	50代	21 100.0	5 23.8	5 23.8	11 52.4	2 9.5	3 14.3	2 9.5	3 14.3	0 0.0
	60代	14 100.0	2 14.3	6 42.9	9 64.3	3 21.4	4 28.6	4 28.6	1 7.1	0 0.0
	70代以上	42 100.0	8 19.0	15 35.7	19 45.2	7 16.7	7 16.7	12 28.6	4 9.5	1 2.4

性別で比較すると、「家族が反対しているなら、それに従うべきだから」は男性で多く、「将来、結婚した本人やその子どもが差別を受けるかもしれないから」と「将来、自分や自分の家族が差別を受けるかもしれないから」は女性のほうに多くなっている。

なお、「慎重に考えたほうがよいと言う」「あきらめるように言う」と回答したのは、70代以上で42人あったが、それ以外の年齢層は、いずれも25人を下回っているので、年齢別比較は行わない。

9 家族や性別役割などに関する意見や考え方

問8 家族や性別役割などに関する次のような意見や考え方について、あなたはどのように思われますか。



肯定回答（『そう思う』）が50%を超えているのは、「ア 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい」（69.9%）と「オ 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をするべきだ」（62.5%）で、否定回答（『そう思わない』）が50%を超えているのは、「エ 家庭生活は、妻が家事・育児を受け持ち、夫は妻子を養うのが一番よい」（55.2%）、「カ 夫が海外赴任する場合、妻は働いていても仕事を辞めて夫に同行すべきだ」（52.2%）、「ク 女性は理数系科目が苦手なので、大学の理工系学部の女性比率が低いのは仕方がない」（54.2%）、「コ 自分の家族や親戚が外国人と結婚することには抵抗がある」（59.0%）、以上の4項目である。

また、判断保留の回答である「どちらともいえない」が30%を超えているのは、「イ 女の子は女らしく、男の子は男らしく育てるべきだ」（31.2%）、「エ 家庭生活は、妻が家事・育児を受け持ち、夫は妻子を養うのが一番よい」（30.3%）、「カ 夫が海外赴任する場合、妻は働いていても仕事を辞めて夫に同行すべきだ」（37.9%）、「ク 女性は理数系科目が苦手なので、大学の理工系学部の女性比率が低いのは仕方がない」（33.4%）、「ケ 自分の家族や親戚が未婚のまま子どもを産むことには反対する」（32.0%）の5項目である。

【問 8 性別・年齢別】

ア 結婚は個人の自由だから、
結婚してもしなくてもよい

イ 女の子は女の子らしく、
男の子は男の子らしく育てるべきだ

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	180	83	58	16	15	3
		100.0	50.7	23.4	16.3	4.5	4.2	0.8
	男性	275	122	55	51	25	16	6
		100.0	44.4	20.0	18.5	9.1	5.8	2.2
年齢	15～19歳	81	62	13	3	2	1	0
		100.0	76.5	16.0	3.7	2.5	1.2	0.0
	20代	40	30	8	1	1	0	0
		100.0	75.0	20.0	2.5	2.5	0.0	0.0
	30代	41	22	13	4	2	0	0
		100.0	53.7	31.7	9.8	4.9	0.0	0.0
	40代	56	37	12	4	1	1	1
		100.0	66.1	21.4	7.1	1.8	1.8	1.8
50代	99	51	25	17	3	3	0	
	100.0	51.5	25.3	17.2	3.0	3.0	0.0	
60代	139	74	27	22	11	4	1	
	100.0	53.2	19.4	15.8	7.9	2.9	0.7	
70代以上	271	98	57	61	22	26	7	
	100.0	36.2	21.0	22.5	8.1	9.6	2.6	

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
		355	16	47	117	48	120	7
		100.0	4.5	13.2	33.0	13.5	33.8	2.0
		275	35	65	80	39	51	5
		100.0	12.7	23.6	29.1	14.2	18.5	1.8
		81	3	8	15	15	40	0
		100.0	3.7	9.9	18.5	18.5	49.4	0.0
		40	3	6	10	8	13	0
		100.0	7.5	15.0	25.0	20.0	32.5	0.0
		41	2	6	17	7	9	0
		100.0	4.9	14.6	41.5	17.1	22.0	0.0
		56	5	7	15	13	16	0
		100.0	8.9	12.5	26.8	23.2	28.6	0.0
		99	7	21	29	14	27	1
		100.0	7.1	21.2	29.3	14.1	27.3	1.0
		139	8	23	49	24	34	1
		100.0	5.8	16.5	35.3	17.3	24.5	0.7
		271	28	51	81	26	75	10
		100.0	10.3	18.8	29.9	9.6	27.7	3.7

ウ 子どもが3歳になるまでは、
母親は育児に専念するべきだ

エ 家庭生活は、妻が家事・育児を受け持ち、
夫は妻子を養うのが一番よい

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	19	65	102	46	118	5
		100.0	5.4	18.3	28.7	13.0	33.2	1.4
	男性	275	27	55	81	28	79	5
		100.0	9.8	20.0	29.5	10.2	28.7	1.8
年齢	15～19歳	81	6	13	25	10	27	0
		100.0	7.4	16.0	30.9	12.3	33.3	0.0
	20代	40	1	8	9	7	15	0
		100.0	2.5	20.0	22.5	17.5	37.5	0.0
	30代	41	2	6	9	8	16	0
		100.0	4.9	14.6	22.0	19.5	39.0	0.0
	40代	56	3	10	16	10	17	0
		100.0	5.4	17.9	28.6	17.9	30.4	0.0
50代	99	9	17	34	14	25	0	
	100.0	9.1	17.2	34.3	14.1	25.3	0.0	
60代	139	3	21	46	13	55	1	
	100.0	2.2	15.1	33.1	9.4	39.6	0.7	
70代以上	271	30	61	68	26	77	9	
	100.0	11.1	22.5	25.1	9.6	28.4	3.3	

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
		355	9	24	107	40	171	4
		100.0	2.5	6.8	30.1	11.3	48.2	1.1
		275	17	33	86	45	91	3
		100.0	6.2	12.0	31.3	16.4	33.1	1.1
		81	3	7	24	9	38	0
		100.0	3.7	8.6	29.6	11.1	46.9	0.0
		40	1	4	11	5	19	0
		100.0	2.5	10.0	27.5	12.5	47.5	0.0
		41	2	6	10	7	16	0
		100.0	4.9	14.6	24.4	17.1	39.0	0.0
		56	1	4	16	5	30	0
		100.0	1.8	7.1	28.6	8.9	53.6	0.0
		99	3	10	28	17	41	0
		100.0	3.0	10.1	28.3	17.2	41.4	0.0
		139	0	9	36	20	72	2
		100.0	0.0	6.5	25.9	14.4	51.8	1.4
		271	18	28	92	33	95	5
		100.0	6.6	10.3	33.9	12.2	35.1	1.8

オ 妻が働いていなくても、
夫は家事・育児をするべきだ

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	120 33.8	112 31.5	84 23.7	14 3.9	22 6.2	3 0.8
	男性	275 100.0	67 24.4	92 33.5	71 25.8	18 6.5	23 8.4	4 1.5
年齢	15～19歳	81 100.0	26 32.1	24 29.6	21 25.9	6 7.4	3 3.7	1 1.2
	20代	40 100.0	15 37.5	10 25.0	13 32.5	1 2.5	1 2.5	0 0.0
	30代	41 100.0	14 34.1	15 36.6	8 19.5	3 7.3	1 2.4	0 0.0
	40代	56 100.0	18 32.1	21 37.5	7 12.5	7 12.5	3 5.4	0 0.0
	50代	99 100.0	37 37.4	32 32.3	21 21.2	2 2.0	7 7.1	0 0.0
	60代	139 100.0	48 34.5	38 27.3	33 23.7	7 5.0	12 8.6	1 0.7
	70代以上	271 100.0	65 24.0	95 35.1	73 26.9	13 4.8	20 7.4	5 1.8

カ 夫が海外赴任する場合、妻は働いていても
仕事を辞めて夫に同行すべきだ

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	8 2.3	19 5.4	130 36.6	50 14.1	144 40.6	4 1.1
	男性	275 100.0	7 2.5	17 6.2	109 39.6	34 12.4	100 36.4	8 2.9
年齢	15～19歳	81 100.0	0 0.0	3 3.7	25 30.9	17 21.0	36 44.4	0 0.0
	20代	40 100.0	0 0.0	1 2.5	15 37.5	8 20.0	16 40.0	0 0.0
	30代	41 100.0	1 2.4	1 2.4	11 26.8	10 24.4	18 43.9	0 0.0
	40代	56 100.0	1 1.8	2 3.6	22 39.3	4 7.1	26 46.4	1 1.8
	50代	99 100.0	1 1.0	7 7.1	30 30.3	19 19.2	42 42.4	0 0.0
	60代	139 100.0	0 0.0	4 2.9	58 41.7	17 12.2	58 41.7	2 1.4
	70代以上	271 100.0	12 4.4	22 8.1	105 38.7	33 12.2	90 33.2	9 3.3

キ 希望すれば夫婦別姓を選択できるように
すべきである

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	96 27.0	59 16.6	100 28.2	24 6.8	71 20.0	5 1.4
	男性	275 100.0	67 24.4	30 10.9	75 27.3	35 12.7	61 22.2	7 2.5
年齢	15～19歳	81 100.0	21 25.9	14 17.3	27 33.3	4 4.9	14 17.3	1 1.2
	20代	40 100.0	10 25.0	7 17.5	15 37.5	2 5.0	6 15.0	0 0.0
	30代	41 100.0	13 31.7	12 29.3	9 22.0	1 2.4	6 14.6	0 0.0
	40代	56 100.0	20 35.7	10 17.9	13 23.2	2 3.6	11 19.6	0 0.0
	50代	99 100.0	27 27.3	12 12.1	33 33.3	9 9.1	16 16.2	2 2.0
	60代	139 100.0	41 29.5	26 18.7	37 26.6	13 9.4	21 15.1	1 0.7
	70代以上	271 100.0	52 19.2	27 10.0	71 26.2	33 12.2	79 29.2	9 3.3

ク 女性は理数系科目が苦手なので、大学の
理工系学部の女性比率が低いのは仕方がない

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	14 3.9	25 7.0	124 34.9	40 11.3	147 41.4	5 1.4
	男性	275 100.0	15 5.5	13 4.7	88 32.0	45 16.4	107 38.9	7 2.5
年齢	15～19歳	81 100.0	3 3.7	7 8.6	33 40.7	12 14.8	26 32.1	0 0.0
	20代	40 100.0	3 7.5	4 10.0	18 45.0	4 10.0	11 27.5	0 0.0
	30代	41 100.0	0 0.0	1 2.4	19 46.3	3 7.3	18 43.9	0 0.0
	40代	56 100.0	3 5.4	4 7.1	14 25.0	12 21.4	23 41.1	0 0.0
	50代	99 100.0	5 5.1	6 6.1	23 23.2	17 17.2	47 47.5	1 1.0
	60代	139 100.0	5 3.6	7 5.0	47 33.8	18 12.9	60 43.2	2 1.4
	70代以上	271 100.0	14 5.2	17 6.3	92 33.9	39 14.4	100 36.9	9 3.3

ケ 自分の家族や親戚が未婚のまま
子どもを産むことには反対する

コ 自分の家族や親戚が外国人と
結婚することには抵抗がある

(上段:人、下段%)

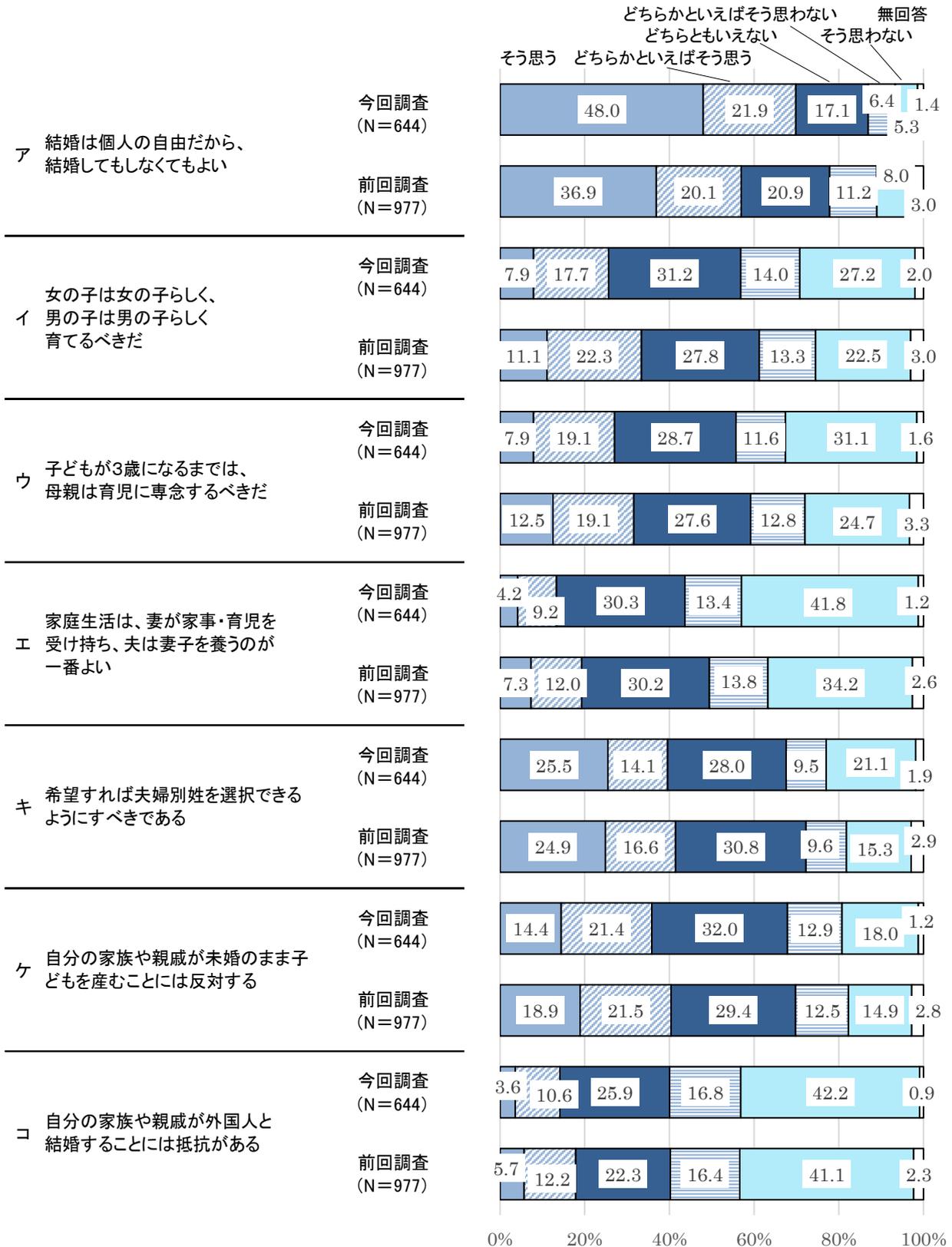
		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	43	65	127	50	66	4
		100.0	12.1	18.3	35.8	14.1	18.6	1.1
男性		275	48	69	75	31	48	4
		100.0	17.5	25.1	27.3	11.3	17.5	1.5
年齢	15～19歳	81	11	19	24	9	17	1
		100.0	13.6	23.5	29.6	11.1	21.0	1.2
	20代	40	5	12	9	10	4	0
		100.0	12.5	30.0	22.5	25.0	10.0	0.0
	30代	41	5	9	12	6	9	0
		100.0	12.2	22.0	29.3	14.6	22.0	0.0
	40代	56	7	10	18	11	10	0
		100.0	12.5	17.9	32.1	19.6	17.9	0.0
50代	99	10	21	27	12	29	0	
	100.0	10.1	21.2	27.3	12.1	29.3	0.0	
60代	139	11	22	58	18	29	1	
	100.0	7.9	15.8	41.7	12.9	20.9	0.7	
70代以上	271	57	67	75	30	35	7	
	100.0	21.0	24.7	27.7	11.1	12.9	2.6	

		回答者数	そう思う	どちらかといえ	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	不明・無回答
		355	10	34	78	62	169	2
		100.0	2.8	9.6	22.0	17.5	47.6	0.6
		275	13	32	85	44	97	4
		100.0	4.7	11.6	30.9	16.0	35.3	1.5
		81	4	3	11	19	44	0
		100.0	4.9	3.7	13.6	23.5	54.3	0.0
		40	2	3	9	9	17	0
		100.0	5.0	7.5	22.5	22.5	42.5	0.0
		41	1	5	10	7	18	0
		100.0	2.4	12.2	24.4	17.1	43.9	0.0
		56	2	7	8	9	30	0
		100.0	3.6	12.5	14.3	16.1	53.6	0.0
		99	2	12	23	17	45	0
		100.0	2.0	12.1	23.2	17.2	45.5	0.0
		139	2	13	41	27	55	1
		100.0	1.4	9.4	29.5	19.4	39.6	0.7
		271	16	29	76	38	107	5
		100.0	5.9	10.7	28.0	14.0	39.5	1.8

性別による差が大きいものをあげると、「イ 女の子は女らしく、男の子は男らしく育てるべきだ」「エ 家庭生活は、妻が家事・育児を受け持ち、夫は妻子を養うのが一番よい」「コ 自分の家族や親戚が外国人と結婚することには抵抗がある」では、女性の「そう思わない」の割合が男性の「そう思わない」の割合を大きく上回っている。また、「オ 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をするべきだ」では、女性の「そう思う」の割合が男性の「そう思う」の割合よりも高くなっている。

年齢別では、「ア 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい」という意見に対して「そう思う」と回答した割合が年齢が高くなるほど低くなっていることと、「イ 女の子は女らしく、男の子は男らしく育てるべきだ」という意見に対して「そう思わない」と回答した割合が年齢が高くなるほど低くなっていること、この2点の傾向が指摘できる。

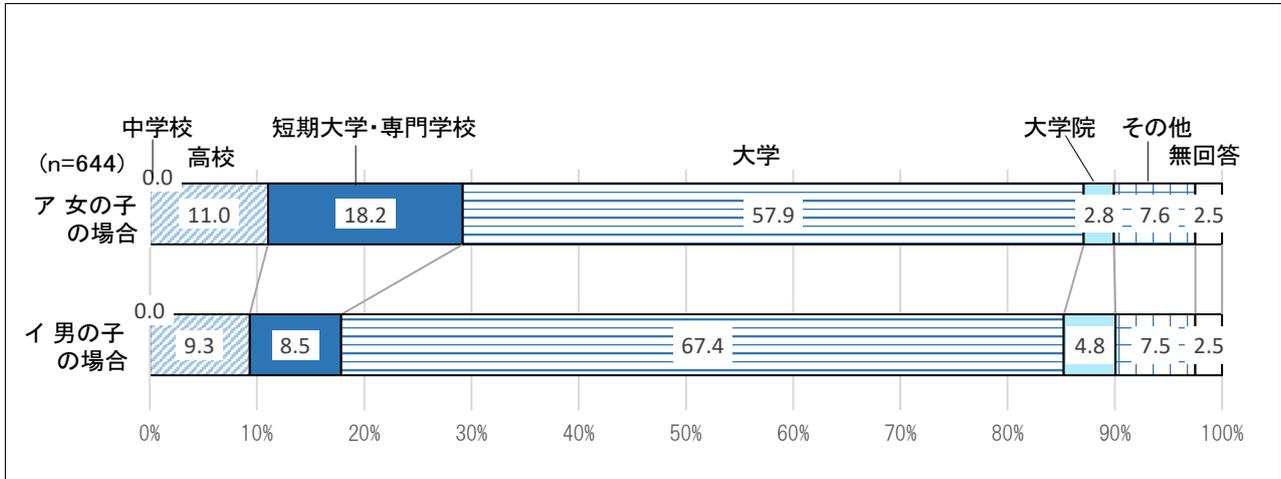
【問 8 前回調査との比較】



「ア 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい」については、「そう思う」の回答割合が11.1ポイントも増加している。そして、「ウ 子どもが3歳になるまでは、母親は育児に専念すべきだ」と「ケ 自分の家族や親戚が未婚のまま子どもを産むことには反対する」では「そう思う」の回答割合がそれぞれ4.6ポイント、4.5ポイント減少しており、「イ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるべきだ」と「エ 家庭生活は、妻が家事・育児を受け持ち、夫は妻子を養うのが一番よい」では『そう思う』の回答割合がそれぞれ7.8ポイント、5.9ポイント減少している。このように、多様な個人の生き方を肯定し、性別役割や3歳児神話（子どもが3歳になるまでは、母親が育児に専念すべき）、未婚での出産を認めない意見などを否定する回答が増えているのである。

10 子どもに受けさせたい教育の程度

問9 あなたは、子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思いますか。
子どもの有無にかかわらず男女それぞれについてお答えください。



子どもに受けさせたい教育の程度について、女の子の場合と男の子の場合を比較すると、女の子の場合は男の子の場合と比べて、「短期大学・専門学校」が多く（割合は9.7ポイント多い）、「大学」が少ない（割合は9.5ポイント少ない）。男の子のほうに高い教育をつけさせたいと回答した人が多いのである。

【問9 性別・年齢別】

		回答者数	中学校	高校	短期大学・専門学校	大学	大学院	その他	不明・無回答	(上段:人、下段%)							
		回答者数	中学校	高校	短期大学・専門学校	大学	大学院	その他	不明・無回答	回答者数	中学校	高校	短期大学・専門学校	大学	大学院	その他	不明・無回答
性別	女性	355	0	37	74	196	12	27	9	355	0	32	26	238	21	28	10
		100.0	0.0	10.4	20.8	55.2	3.4	7.6	2.5	100.0	0.0	9.0	7.3	67.0	5.9	7.9	2.8
性別	男性	275	0	33	40	169	6	21	6	275	0	28	27	185	10	19	6
		100.0	0.0	12.0	14.5	61.5	2.2	7.6	2.2	100.0	0.0	10.2	9.8	67.3	3.6	6.9	2.2
年齢	15～19歳	81	0	20	7	46	3	4	1	81	0	20	2	51	4	4	0
		100.0	0.0	24.7	8.6	56.8	3.7	4.9	1.2	100.0	0.0	24.7	2.5	63.0	4.9	4.9	0.0
	20代	40	0	6	1	30	2	1	0	40	0	6	1	30	2	1	0
		100.0	0.0	15.0	2.5	75.0	5.0	2.5	0.0	100.0	0.0	15	2.5	75.0	5	2.5	0
	30代	41	0	6	5	25	1	2	2	41	0	5	5	27	1	2	1
		100.0	0.0	14.6	12.2	61.0	2.4	4.9	4.9	100.0	0.0	12.2	12.2	65.9	2.4	4.9	2.4
	40代	56	0	6	11	34	2	3	0	56	0	4	9	37	3	3	0
		100.0	0.0	10.7	19.6	60.7	3.6	5.4	0.0	100.0	0.0	7.1	16.1	66.1	5.4	5.4	0.0
50代	99	0	18	20	47	3	10	1	99	0	15	9	59	5	10	1	
	100.0	0.0	18.2	20.2	47.5	3.0	10.1	1.0	100.0	0.0	15.2	9.1	59.6	5.1	10.1	1.0	
60代	139	0	13	17	91	3	13	2	139	0	12	7	101	5	13	2	
	100.0	0.0	9.4	12.2	65.5	2.2	9.4	1.4	100.0	0.0	8.6	5.0	72.7	3.6	9.4	0.7	
70代以上	271	0	22	61	154	7	18	9	271	0	17	23	187	14	17	13	
	100.0	0.0	8.1	22.5	56.8	2.6	6.6	3.3	100.0	0.0	6.3	8.5	69.0	5.2	6.3	4.8	

性別でみると、男の子の場合はそれほど大きな差がみられないが、女の子については、女性は「短期大学・専門学校」20.8%、「大学」55.2%であるに対して、男性は「短期大学・専門学校」14.5%、「大学」61.5%であり、男性のほうが女性よりも女の子に高い教育をつけさせたいと回答した人が多くなっている。そのため、男の子の「大学」の割合と女の子の「大学」の割合との差は、女性の回答で11.8ポイント、男性の回答で5.8ポイントとなっている。

年齢別にみると、男の子の「大学」の割合と女の子の「大学」の割合との差は、15～19歳6.2ポイント、20代0.0ポイント、30代4.9ポイント、40代5.4ポイント、50代12.1ポイント、60代7.2ポイント、70代以上12.2ポイントで、20代では差がまったくないのに対し、50歳以上の年齢層では差が大きくなっている。つまり、中高年層のほうに男の子により高い教育をつけさせたいと考えている人が多いのである。

【問9 前回調査との比較】

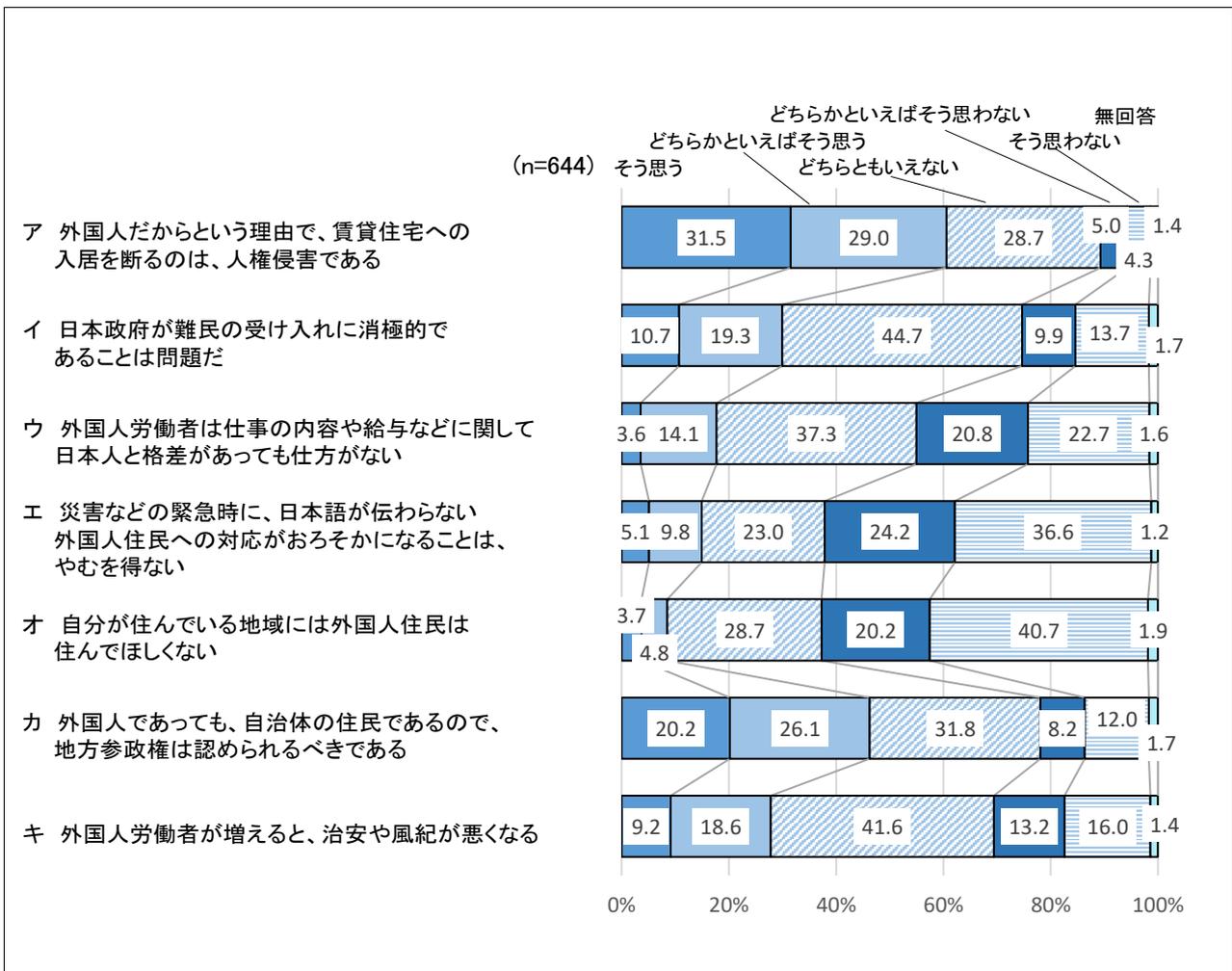
(%)

	女の子の場合		男の子の場合	
	令和7年度	令和2年度	令和7年度	令和2年度
回答者数	644	977	644	977
1 中学校	0.0	0.4	0.0	0.3
2 高校	11.0	11.4	9.3	9.2
3 短期大学・専門学校	18.2	25.8	8.5	10.8
4 大学	57.9	51.7	67.4	66.5
5 大学院	2.8	2.0	4.8	4.1
6 その他	7.6	5.4	7.5	5.4
無回答	2.5	3.3	2.5	3.6

子どもに受けさせたい教育の程度について前回調査と比較すると、女の子の場合は「4 大学」の回答割合が51.7%から57.9%に増えている（6.2ポイント増）。これに対して、男の子の場合の「4 大学」の回答割合は0.9ポイントしか増えていないので、「4 大学」の回答割合にみられる男女間格差は縮小している。

11 外国人住民の人権に関する意見や考え方

問 10 外国人住民の人権に関する次のような意見や考え方について、あなたはどのように思いますか。



肯定回答（『そう思う』）が50%を超えているのは、「ア 外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断るのは、人権侵害である」（60.5%）だけで、否定回答（『そう思わない』）が50%を超えているのは、「エ 災害などの緊急時に、日本語が伝わらない外国人住民への対応がおろそかになることは、やむを得ない」（60.8%）と「オ 自分が住んでいる地域には外国人住民は住んでほしくない」（60.9%）の2項目である。

「どちらともいえない」が30%を超えているのは、「イ 日本政府が難民の受け入れに消極的であることは問題だ」（44.7%）、「ウ 外国人労働者は仕事の内容や給与などに関して日本人と格差があっても仕方がない」（37.3%）、「カ 外国人であっても、自治体の住民であるので、地方参政権は認められるべきである」（31.8%）、「キ 外国人労働者が増えると、治安や風紀が悪くなる」（41.6%）の4項目である。

【問 10 性別・年齢別】

ア 外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断るのは、人権侵害である

イ 日本政府が難民の受け入れに消極的であることは問題だ

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	117	114	96	14	9	5
		100.0	33.0	32.1	27.0	3.9	2.5	1.4
	男性	275	81	69	86	18	18	3
		100.0	29.5	25.1	31.3	6.5	6.5	1.1
年齢	15～19歳	81	48	14	14	4	1	0
		100.0	59.3	17.3	17.3	4.9	1.2	0.0
	20代	40	10	13	8	5	4	0
		100.0	25.0	32.5	20.0	12.5	10.0	0.0
	30代	41	10	17	10	2	2	0
		100.0	24.4	41.5	24.4	4.9	4.9	0.0
	40代	56	21	7	20	5	3	0
		100.0	37.5	12.5	35.7	8.9	5.4	0.0
	50代	99	34	29	27	6	3	0
		100.0	34.3	29.3	27.3	6.1	3.0	0.0
	60代	139	40	47	41	5	5	1
		100.0	28.8	33.8	29.5	3.6	3.6	0.7
	70代以上	271	84	74	79	12	14	8
		100.0	31.0	27.3	29.2	4.4	5.2	3.0

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
		355	29	71	178	29	42	6
		100.0	8.2	20.0	50.1	8.2	11.8	1.7
		275	38	52	104	33	44	4
		100.0	13.8	18.9	37.8	12.0	16.0	1.5
		81	14	12	34	7	14	0
		100.0	17.3	14.8	42.0	8.6	17.3	0.0
		40	2	5	12	7	14	0
		100.0	5.0	12.5	30.0	17.5	35.0	0.0
		41	5	4	15	5	11	1
		100.0	12.2	9.8	36.6	12.2	26.8	2.4
		56	4	8	22	6	16	0
		100.0	7.1	14.3	39.3	10.7	28.6	0.0
		99	9	19	40	16	15	0
		100.0	9.1	19.2	40.4	16.2	15.2	0.0
		139	16	25	74	10	13	1
		100.0	11.5	18.0	53.2	7.2	9.4	0.7
		271	27	66	120	22	27	9
		100.0	10.0	24.4	44.3	8.1	10.0	3.3

ウ 外国人労働者は仕事の内容や給与などに関して日本人と格差があっても仕方がない

エ 災害などの緊急時に、日本語が伝わらない外国人住民への対応がおろそかになることは、やむを得ない

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	9	51	136	78	76	5
		100.0	2.5	14.4	38.3	22.0	21.4	1.4
	男性	275	13	38	99	54	67	4
		100.0	4.7	13.8	36.0	19.6	24.4	1.5
年齢	15～19歳	81	5	11	24	15	25	1
		100.0	6.2	13.6	29.6	18.5	30.9	1.2
	20代	40	2	7	13	12	6	0
		100.0	5.0	17.5	32.5	30.0	15.0	0.0
	30代	41	1	10	10	10	10	0
		100.0	2.4	24.4	24.4	24.4	24.4	0.0
	40代	56	3	11	22	7	13	0
		100.0	5.4	19.6	39.3	12.5	23.2	0.0
	50代	99	7	15	41	17	19	0
		100.0	7.1	15.2	41.4	17.2	19.2	0.0
	60代	139	7	12	51	32	34	3
		100.0	5.0	8.6	36.7	23.0	24.5	2.2
	70代以上	271	4	41	100	59	60	7
		100.0	1.5	15.1	36.9	21.8	22.1	2.6

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
		355	11	28	72	88	152	4
		100.0	3.1	7.9	20.3	24.8	42.8	1.1
		275	22	32	72	66	80	3
		100.0	8.0	11.6	26.2	24.0	29.1	1.1
		81	5	18	22	18	18	0
		100.0	6.2	22.2	27.2	22.2	22.2	0.0
		40	5	7	8	13	7	0
		100.0	12.5	17.5	20.0	32.5	17.5	0.0
		41	4	6	7	13	11	0
		100.0	9.8	14.6	17.1	31.7	26.8	0.0
		56	4	7	9	19	17	0
		100.0	7.1	12.5	16.1	33.9	30.4	0.0
		99	5	11	22	23	38	0
		100.0	5.1	11.1	22.2	23.2	38.4	0.0
		139	5	7	34	29	63	1
		100.0	3.6	5.0	24.5	20.9	45.3	0.7
		271	12	28	64	60	100	7
		100.0	4.4	10.3	23.6	22.1	36.9	2.6

オ 自分が住んでいる地域には外国人住民は
住んでほしくない

		回答者数	そう思う	そう思う どちらか といえば	どちらとも いえない	どちらか とも いえない	そう 思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	8 2.3	15 4.2	101 28.5	63 17.7	163 45.9	5 1.4
	男性	275 100.0	15 5.5	15 5.5	83 30.2	62 22.5	94 34.2	6 2.2
年齢	15～ 19歳	81 100.0	2 2.5	1 1.2	18 22.2	11 13.6	49 60.5	0 0.0
	20代	40 100.0	5 12.5	2 5.0	8 20.0	14 35.0	11 27.5	0 0.0
	30代	41 100.0	2 4.9	1 2.4	12 29.3	11 26.8	15 36.6	0 0.0
	40代	56 100.0	2 3.6	5 8.9	8 14.3	16 28.6	25 44.6	0 0.0
	50代	99 100.0	6 6.1	4 4.0	36 36.4	15 15.2	38 38.4	0 0.0
	60代	139 100.0	5 3.6	6 4.3	42 30.2	27 19.4	58 41.7	1 0.7
	70代 以上	271 100.0	6 2.2	14 5.2	81 29.9	51 18.8	108 39.9	11 4.1

カ 外国人であっても、自治体の住民であるので、
地方参政権は認められるべきである

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	そう思う どちらか といえば	どちらとも いえない	どちらか とも いえない	そう 思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	80 22.5	96 27.0	114 32.1	27 7.6	33 9.3	5 1.4
	男性	275 100.0	47 17.1	69 25.1	87 31.6	26 9.5	41 14.9	5 1.8
年齢	15～ 19歳	81 100.0	18 22.2	16 19.8	29 35.8	6 7.4	11 13.6	1 1.2
	20代	40 100.0	2 5.0	11 27.5	14 35.0	5 12.5	8 20.0	0 0.0
	30代	41 100.0	8 19.5	13 31.7	10 24.4	3 7.3	7 17.1	0 0.0
	40代	56 100.0	11 19.6	12 21.4	23 41.1	0 0.0	10 17.9	0 0.0
	50代	99 100.0	19 19.2	26 26.3	35 35.4	8 8.1	11 11.1	0 0.0
	60代	139 100.0	26 18.7	35 25.2	49 35.3	10 7.2	18 12.9	1 0.7
	70代 以上	271 100.0	61 22.5	71 26.2	74 27.3	28 10.3	27 10.0	10 3.7

キ 外国人労働者が増えると、
治安や風紀が悪くなる

(上段:人、下段%)

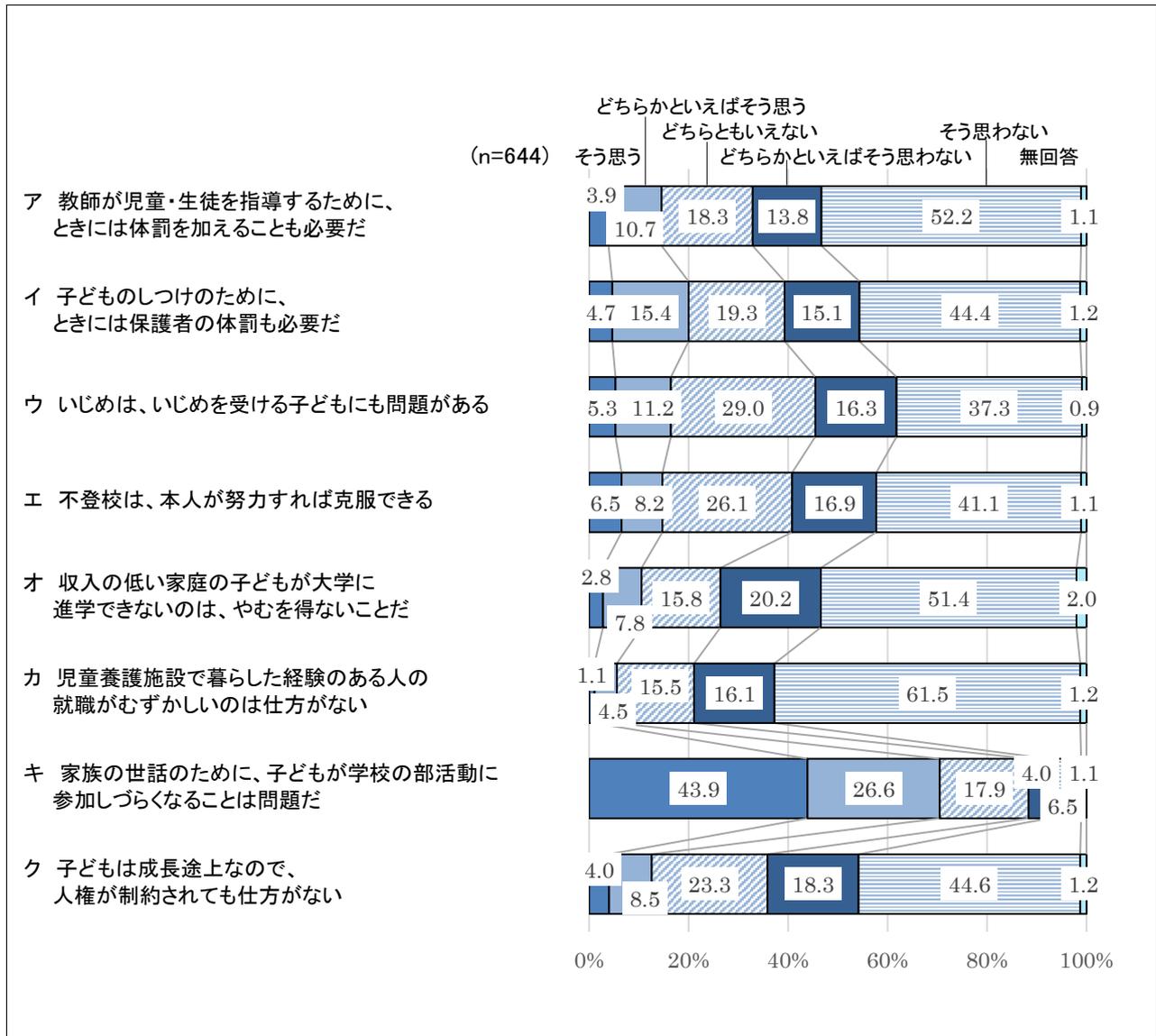
		回答者数	そう思う	そう思う どちらか といえば	どちらとも いえない	どちらか とも いえない	そう 思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	29 8.2	57 16.1	155 43.7	51 14.4	59 16.6	4 1.1
	男性	275 100.0	29 10.5	60 21.8	108 39.3	31 11.3	43 15.6	4 1.5
年齢	15～ 19歳	81 100.0	3 3.7	13 16.0	33 40.7	13 16.0	18 22.2	1 1.2
	20代	40 100.0	8 20.0	9 22.5	12 30.0	6 15.0	5 12.5	0 0.0
	30代	41 100.0	6 14.6	8 19.5	16 39.0	7 17.1	4 9.8	0 0.0
	40代	56 100.0	5 8.9	10 17.9	19 33.9	14 25.0	8 14.3	0 0.0
	50代	99 100.0	12 12.1	22 22.2	41 41.4	11 11.1	13 13.1	0 0.0
	60代	139 100.0	9 6.5	25 18.0	72 51.8	15 10.8	17 12.2	1 0.7
	70代 以上	271 100.0	23 8.5	48 17.7	107 39.5	33 12.2	52 19.2	8 3.0

性別で大きな差がみられるのは、「エ 災害などの緊急時に、日本語が伝わらない外国人住民への対応がおろそかになることは、やむを得ない」と「オ 自分が住んでいる地域には外国人住民は住んでほしくない」について「そう思わない」の回答割合が女性のほうが 10 ポイント以上、高くなっていることである。また、「イ 日本政府が難民の受け入れに消極的であることは問題だ」については、「どちらともいえない」の割合が女性で 50.1%と、男性を 12.3 ポイント上回っている。

年齢別でみると、15～19 歳で「ア 外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断るのは、人権侵害である」に対する肯定回答（「そう思う」）の割合が最も高く、「オ 自分が住んでいる地域には外国人住民は住んでほしくない」に対する否定回答（「そう思わない」）の割合が最も高くなっている。しかし、20 代では「エ 災害などの緊急時に、日本語が伝わらない外国人住民への対応がおろそかになることは、やむを得ない」や「キ 外国人労働者が増えると、治安や風紀が悪くなる」という意見を肯定する回答（『そう思う』）が最も多く、「オ 自分が住んでいる地域には外国人住民は住んでほしくない」という意見を否定する回答（「そう思わない」）が最も少なくなっている。

12 子どもの人権に関する意見や考え方

問11 あなたは次に掲げた子どもの人権に関する意見や考え方について、
どのように思われますか。



問11の8項目は、「キ 家族の世話のために、子どもが学校の部活動に参加しづらくなることは問題だ」を除く7項目が人権の視点から問題がある内容の意見や考え方になっている。そのため、この7項目すべてで『そう思わない』の割合が50%を超えており、なかでも「カ 児童養護施設で暮らした経験のある人の就職がむずかしいのは仕方がない」は『そう思わない』の割合が77.6%になっている。一方、「キ 家族の世話のために、子どもが学校の部活動に参加しづらくなることは問題だ」についての肯定回答（『そう思う』）は70.5%である。このように、否定回答または肯定回答が多くなっているため、判断を保留する回答である「どちらともいえない」は、いずれも30%未満となっている。

【問 11 性別・年齢別】

ア 教師が児童・生徒を指導するために、
ときには体罰を加えることも必要だ

イ 子どものしつけのために、
ときには保護者の体罰も必要だ

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	4	26	63	55	204	3
		100.0	1.1	7.3	17.7	15.5	57.5	0.8
	男性	275	19	42	52	34	125	3
		100.0	6.9	15.3	18.9	12.4	45.5	1.1
年齢	15～19歳	81	1	4	6	9	61	0
		100.0	1.2	4.9	7.4	11.1	75.3	0.0
	20代	40	0	4	2	7	27	0
		100.0	0.0	10.0	5.0	17.5	67.5	0.0
	30代	41	3	4	6	5	23	0
		100.0	7.3	9.8	14.6	12.2	56.1	0.0
	40代	56	2	6	9	7	31	1
		100.0	3.6	10.7	16.1	12.5	55.4	1.8
50代	99	4	15	22	15	42	1	
	100.0	4.0	15.2	22.2	15.2	42.4	1.0	
60代	139	4	9	21	23	82	0	
	100.0	2.9	6.5	15.1	16.5	59.0	0.0	
70代以上	271	12	31	57	37	129	5	
	100.0	4.4	11.4	21.0	13.7	47.6	1.8	

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
		355	7	46	60	57	182	3
		100.0	2.0	13.0	16.9	16.1	51.3	0.8
		275	23	50	61	37	100	4
		100.0	8.4	18.2	22.2	13.5	36.4	1.5
		81	2	9	4	6	60	0
		100.0	2.5	11.1	4.9	7.4	74.1	0.0
		40	1	6	3	7	23	0
		100.0	2.5	15.0	7.5	17.5	57.5	0.0
		41	4	7	4	4	22	0
		100.0	9.8	17.1	9.8	9.8	53.7	0.0
		56	4	5	13	8	25	1
		100.0	7.1	8.9	23.2	14.3	44.6	1.8
		99	4	26	17	17	35	0
		100.0	4.0	26.3	17.2	17.2	35.4	0.0
		139	3	22	20	22	72	0
		100.0	2.2	15.8	14.4	15.8	51.8	0.0
		271	15	36	64	39	110	7
		100.0	5.5	13.3	23.6	14.4	40.6	2.6

ウ いじめは、いじめを受ける子どもにも問題がある

エ 不登校は、本人が努力すれば克服できる

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	16	36	101	54	146	2
		100.0	4.5	10.1	28.5	15.2	41.1	0.6
	男性	275	17	33	82	50	90	3
		100.0	6.2	12.0	29.8	18.2	32.7	1.1
年齢	15～19歳	81	4	8	22	17	30	0
		100.0	4.9	9.9	27.2	21.0	37.0	0.0
	20代	40	0	5	12	10	13	0
		100.0	0.0	12.5	30.0	25.0	32.5	0.0
	30代	41	3	6	11	11	10	0
		100.0	7.3	14.6	26.8	26.8	24.4	0.0
	40代	56	2	5	16	8	25	0
		100.0	3.6	8.9	28.6	14.3	44.6	0.0
50代	99	6	14	31	18	29	1	
	100.0	6.1	14.1	31.3	18.2	29.3	1.0	
60代	139	4	12	42	18	63	0	
	100.0	2.9	8.6	30.2	12.9	45.3	0.0	
70代以上	271	18	32	77	38	101	5	
	100.0	6.6	11.8	28.4	14.0	37.3	1.8	

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
		355	19	21	84	56	171	4
		100.0	5.4	5.9	23.7	15.8	48.2	1.1
		275	20	31	81	50	91	2
		100.0	7.3	11.3	29.5	18.2	33.1	0.7
		81	5	8	17	26	25	0
		100.0	6.2	9.9	21.0	32.1	30.9	0.0
		40	0	4	13	8	14	1
		100.0	0.0	10.0	32.5	20.0	35.0	2.5
		41	1	3	12	6	19	0
		100.0	2.4	7.3	29.3	14.6	46.3	0.0
		56	2	3	14	12	25	0
		100.0	3.6	5.4	25.0	21.4	44.6	0.0
		99	5	7	32	17	38	0
		100.0	5.1	7.1	32.3	17.2	38.4	0.0
		139	3	6	32	20	78	0
		100.0	2.2	4.3	23.0	14.4	56.1	0.0
		271	26	30	68	46	94	7
		100.0	9.6	11.1	25.1	17.0	34.7	2.6

オ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむを得ないことだ

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	8 2.3	20 5.6	48 13.5	70 19.7	203 57.2	6 1.7
	男性	275 100.0	10 3.6	29 10.5	49 17.8	58 21.1	124 45.1	5 1.8
年齢	15～19歳	81 100.0	5 6.2	11 13.6	18 22.2	25 30.9	22 27.2	0 0.0
	20代	40 100.0	0 0.0	2 5.0	10 25.0	13 32.5	15 37.5	0 0.0
	30代	41 100.0	3 7.3	6 14.6	8 19.5	8 19.5	14 34.1	2 4.9
	40代	56 100.0	2 3.6	5 8.9	8 14.3	7 12.5	33 58.9	1 1.8
	50代	99 100.0	4 4.0	11 11.1	18 18.2	25 25.3	41 41.4	0 0.0
	60代	139 100.0	2 1.4	6 4.3	22 15.8	20 14.4	88 63.3	1 0.7
	70代以上	271 100.0	7 2.6	18 6.6	34 12.5	61 22.5	143 52.8	8 3.0

カ 児童養護施設で暮らした経験のある人の就職がむずかしいのは仕方がない

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	3 0.8	14 3.9	42 11.8	61 17.2	231 65.1	4 1.1
	男性	275 100.0	4 1.5	13 4.7	57 20.7	38 13.8	160 58.2	3 1.1
年齢	15～19歳	81 100.0	0 0.0	8 9.9	17 21.0	11 13.6	45 55.6	0 0.0
	20代	40 100.0	0 0.0	3 7.5	3 7.5	7 17.5	27 67.5	0 0.0
	30代	41 100.0	1 2.4	1 2.4	7 17.1	4 9.8	28 68.3	0 0.0
	40代	56 100.0	0 0.0	2 3.6	10 17.9	4 7.1	40 71.4	0 0.0
	50代	99 100.0	2 2.0	6 6.1	15 15.2	26 26.3	50 50.5	0 0.0
	60代	139 100.0	1 0.7	3 2.2	15 10.8	16 11.5	104 74.8	0 0.0
	70代以上	271 100.0	3 1.1	13 4.8	44 16.2	50 18.5	153 56.5	8 3.0

キ 家族の世話のために、子どもが学校の部活動に参加しづらくなることは問題だ

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	179 50.4	91 25.6	49 13.8	6 1.7	27 7.6	3 0.8
	男性	275 100.0	100 36.4	77 28.0	61 22.2	20 7.3	14 5.1	3 1.1
年齢	15～19歳	81 100.0	34 42.0	23 28.4	12 14.8	4 4.9	8 9.9	0 0.0
	20代	40 100.0	21 52.5	11 27.5	2 5.0	2 5.0	4 10.0	0 0.0
	30代	41 100.0	17 41.5	12 29.3	7 17.1	2 4.9	3 7.3	0 0.0
	40代	56 100.0	34 60.7	10 17.9	9 16.1	2 3.6	1 1.8	0 0.0
	50代	99 100.0	47 47.5	30 30.3	14 14.1	6 6.1	2 2.0	0 0.0
	60代	139 100.0	62 44.6	43 30.9	22 15.8	3 2.2	8 5.8	1 0.7
	70代以上	271 100.0	110 40.6	66 24.4	54 19.9	12 4.4	23 8.5	6 2.2

ク 子どもは成長途上なので、人権が制約されても仕方がない

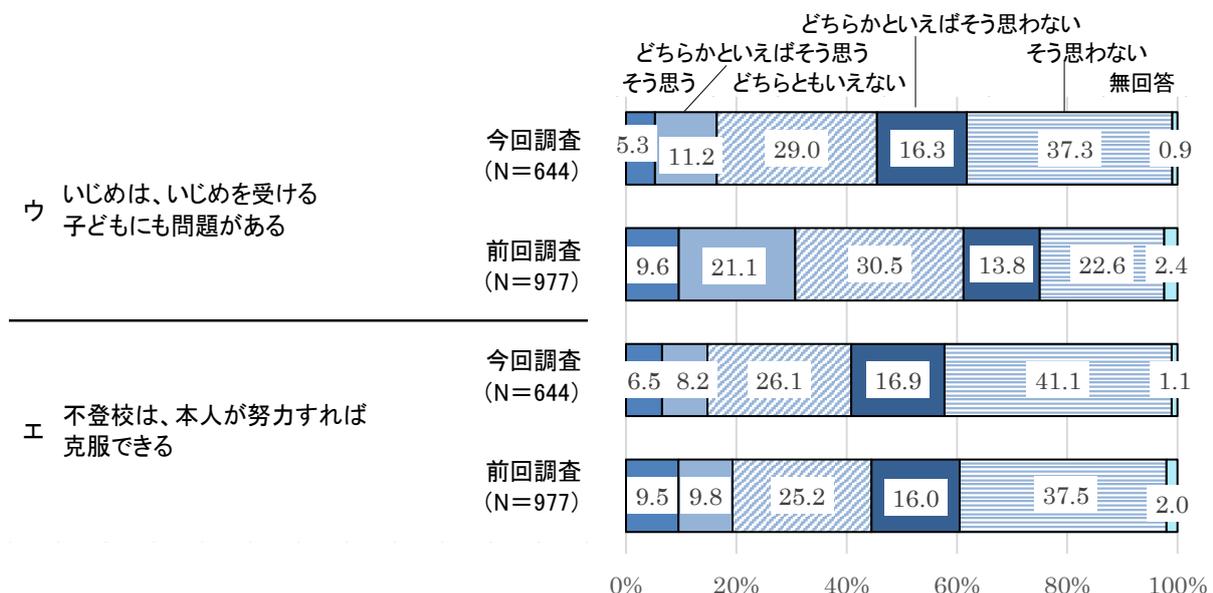
(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	13 3.7	25 7.0	81 22.8	62 17.5	170 47.9	4 1.1
	男性	275 100.0	13 4.7	30 10.9	64 23.3	54 19.6	111 40.4	3 1.1
年齢	15～19歳	81 100.0	1 1.2	4 4.9	20 24.7	18 22.2	38 46.9	0 0.0
	20代	40 100.0	2 5.0	4 10.0	9 22.5	11 27.5	14 35.0	0 0.0
	30代	41 100.0	2 4.9	2 4.9	12 29.3	8 19.5	17 41.5	0 0.0
	40代	56 100.0	6 10.7	9 16.1	17 30.4	4 7.1	20 35.7	0 0.0
	50代	99 100.0	5 5.1	13 13.1	22 22.2	21 21.2	38 38.4	0 0.0
	60代	139 100.0	3 2.2	7 5.0	20 14.4	32 23.0	76 54.7	1 0.7
	70代以上	271 100.0	9 3.3	22 8.1	69 25.5	47 17.3	117 43.2	7 2.6

性別でみると、「ア 教師が児童・生徒を指導するために、ときには体罰を加えることも必要だ」「イ 子どものしつけのために、ときには保護者の体罰も必要だ」「エ 不登校は本人が努力すれば克服できる」「オ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむを得ないことだ」「カ 児童養護施設で暮らした経験のある人の就職がむずかしいのは仕方がない」、それぞれに対して女性が『そう思わない』と回答した割合は、男性の『そう思わない』の割合よりも10ポイント以上、高くなっている。そして、「キ 家族の世話のために、子どもが学校の部活動に参加しづらくなることは問題だ」については、女性の肯定回答（『そう思う』）の割合が男性の肯定回答の割合を11.6ポイント上回っている。

年齢別に比較して、とくに大きな差がみられた点をあげると、「ア 教師が児童・生徒を指導するために、ときには体罰を加えることも必要だ」と「イ 子どものしつけのために、ときには保護者の体罰も必要だ」については、「そう思わない」の回答割合が15～19歳で最も高くなっており、50代でそれが最も低くなっていること、「カ 児童養護施設で暮らした経験のある人の就職がむずかしいのは仕方がない」について『そう思わない』の回答割合が最も低いのは15～19歳で、「ク 子どもは成長途上なので、人権が制約されても仕方がない」について『そう思わない』の回答割合が最も低いのは40代であることなどである。

【問 11 前回調査との比較】

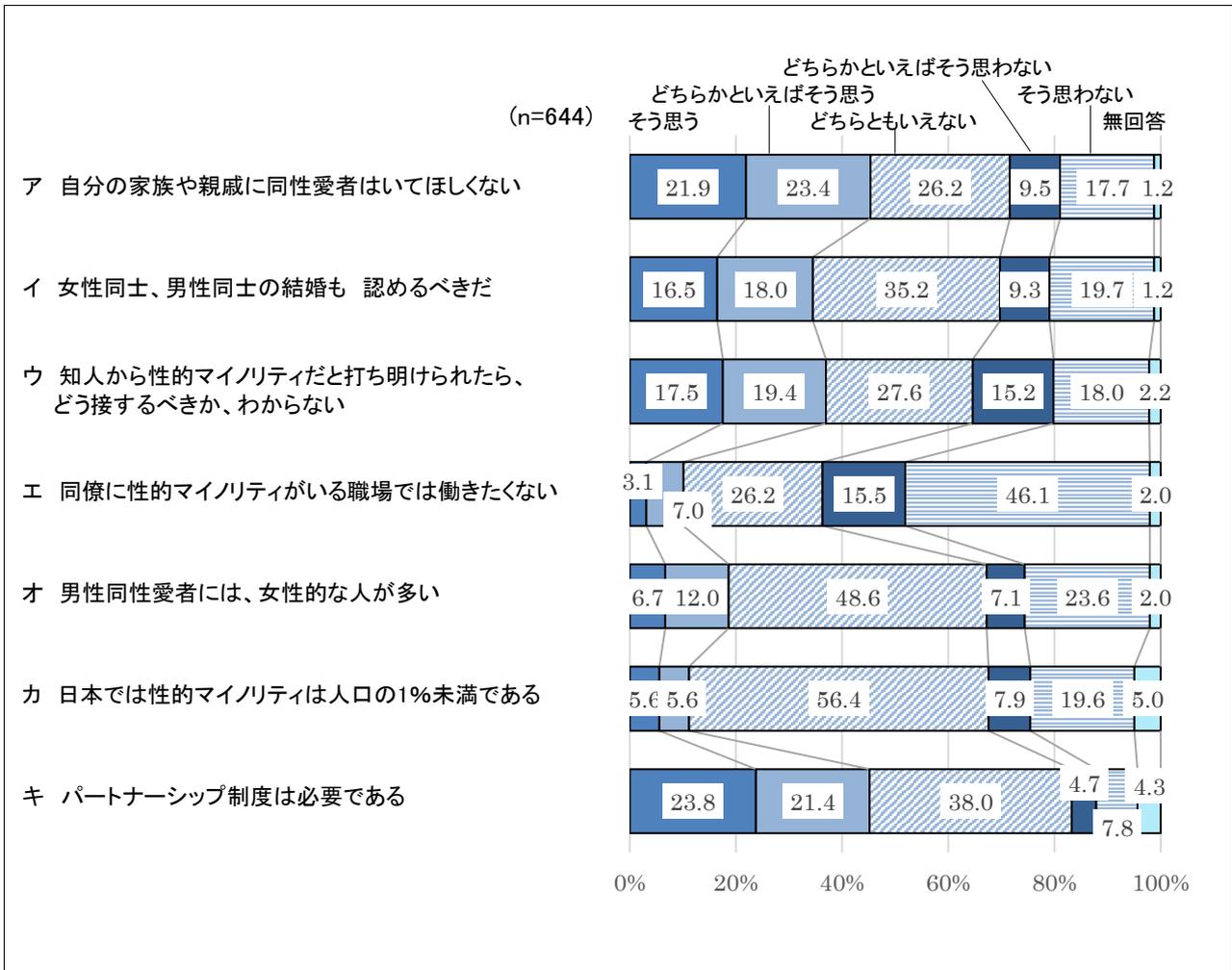


子どもの人権に関して前回調査と比較できるのは2項目だけであるが、「ウ いじめは、いじめを受ける子どもにも問題がある」については、「そう思う」が4.3ポイント、「どちらかといえばそう思う」が9.9ポイント、それぞれ減少している（『そう思う』は14.2ポイント減）。

そして、「エ 不登校は、本人が努力すれば克服できる」については、『そう思う』の回答割合が4.6ポイント減少している。前回調査に比べて、いじめや不登校を個人の問題とみなす回答が減少しているのである。

13 性的マイノリティに関する意見や考え方

問 12 性的マイノリティ（LGBTQ+）に関する次のような意見や考え方について、あなたはどのように思われますか。



『そう思う』『そう思わない』が50%を超えているのは、「エ 同僚に性的マイノリティがいる職場では働きたくない」で否定回答が61.6%になっているだけで、「ア 自分の家族や親戚に同性愛者はいてほしくない」では『そう思う』の割合が45.3%、「キ パートナーシップ制度は必要である」でも『そう思う』の割合が45.2%と、50%を少し下回っている。

「どちらともいえない」の割合が30%を超えるのは、「イ 女性同士、男性同士の結婚も、認めるべきだ」「オ 男性同性愛者には、女性的な人が多い」「カ 日本では性的マイノリティは人口の1%未満である」「キ パートナーシップ制度は必要である」の4項目で、なかでも「カ 日本では性的マイノリティは人口の1%未満である」の「どちらともいえない」の割合は56.4%になっている。

【問 12 性別・年齢別】

ア 自分の家族や親戚に同性愛者はいてほしくない

イ 女性同士、男性同士の結婚も認めるべきだ

(上段:人、下段%)

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	65	68	102	40	75	5
		100.0	18.3	19.2	28.7	11.3	21.1	1.4
性別	男性	275	71	80	65	19	38	2
		100.0	25.8	29.1	23.6	6.9	13.8	0.7
年齢	15～19歳	81	5	9	17	8	42	0
		100.0	6.2	11.1	21.0	9.9	51.9	0.0
	20代	40	2	6	10	4	18	0
		100.0	5.0	15.0	25.0	10.0	45.0	0.0
	30代	41	2	8	13	4	14	0
		100.0	4.9	19.5	31.7	9.8	34.1	0.0
	40代	56	7	9	12	12	16	0
		100.0	12.5	16.1	21.4	21.4	28.6	0.0
50代	99	11	23	24	11	29	1	
	100.0	11.1	23.2	24.2	11.1	29.3	1.0	
60代	139	25	29	43	17	25	0	
	100.0	18.0	20.9	30.9	12.2	18.0	0.0	
70代以上	271	91	77	66	11	19	7	
	100.0	33.6	28.4	24.4	4.1	7.0	2.6	

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	75	73	126	28	47	6
		100.0	21.1	20.6	35.5	7.9	13.2	1.7
性別	男性	275	27	42	97	30	78	1
		100.0	9.8	15.3	35.3	10.9	28.4	0.4
年齢	15～19歳	81	31	18	17	8	7	0
		100.0	38.3	22.2	21.0	9.9	8.6	0.0
	20代	40	14	8	15	2	1	0
		100.0	35.0	20.0	37.5	5.0	2.5	0.0
	30代	41	9	11	12	4	5	0
		100.0	22.0	26.8	29.3	9.8	12.2	0.0
	40代	56	10	15	19	4	8	0
		100.0	17.9	26.8	33.9	7.1	14.3	0.0
50代	99	22	23	29	12	12	1	
	100.0	22.2	23.2	29.3	12.1	12.1	1.0	
60代	139	25	26	56	7	24	1	
	100.0	18.0	18.7	40.3	5.0	17.3	0.7	
70代以上	271	25	38	97	29	76	6	
	100.0	9.2	14.0	35.8	10.7	28.0	2.2	

ウ 知人から性的マイノリティだと打ち明けられたら、どう接するべきか、わからない

エ 同僚に性的マイノリティがいる職場では働きたくない

(上段:人、下段%)

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	59	66	88	59	74	9
		100.0	16.6	18.6	24.8	16.6	20.8	2.5
性別	男性	275	53	55	87	35	41	4
		100.0	19.3	20.0	31.6	12.7	14.9	1.5
年齢	15～19歳	81	9	13	19	17	23	0
		100.0	11.1	16.0	23.5	21.0	28.4	0.0
	20代	40	0	10	7	8	15	0
		100.0	0.0	25.0	17.5	20.0	37.5	0.0
	30代	41	4	6	12	9	10	0
		100.0	9.8	14.6	29.3	22.0	24.4	0.0
	40代	56	6	5	13	14	18	0
		100.0	10.7	8.9	23.2	25.0	32.1	0.0
50代	99	11	19	24	16	28	1	
	100.0	11.1	19.2	24.2	16.2	28.3	1.0	
60代	139	19	27	47	18	28	0	
	100.0	13.7	19.4	33.8	12.9	20.1	0.0	
70代以上	271	73	57	70	32	26	13	
	100.0	26.9	21.0	25.8	11.8	9.6	4.8	

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	11	19	78	55	184	8
		100.0	3.1	5.4	22.0	15.5	51.8	2.3
性別	男性	275	6	24	91	42	108	4
		100.0	2.2	8.7	33.1	15.3	39.3	1.5
年齢	15～19歳	81	0	4	14	14	49	0
		100.0	0.0	4.9	17.3	17.3	60.5	0.0
	20代	40	1	1	6	8	24	0
		100.0	2.5	2.5	15.0	20.0	60.0	0.0
	30代	41	1	1	11	7	21	0
		100.0	2.4	2.4	26.8	17.1	51.2	0.0
	40代	56	0	2	13	8	33	0
		100.0	0.0	3.6	23.2	14.3	58.9	0.0
50代	99	3	3	20	16	55	2	
	100.0	3.0	3.0	20.2	16.2	55.6	2.0	
60代	139	1	2	36	26	74	0	
	100.0	0.7	1.4	25.9	18.7	53.2	0.0	
70代以上	271	13	35	81	34	97	11	
	100.0	4.8	12.9	29.9	12.5	35.8	4.1	

オ 男性同性愛者には、女性的な人が多い

カ 日本では性的マイノリティは人口の1%未満である

(上段:人、下段%)

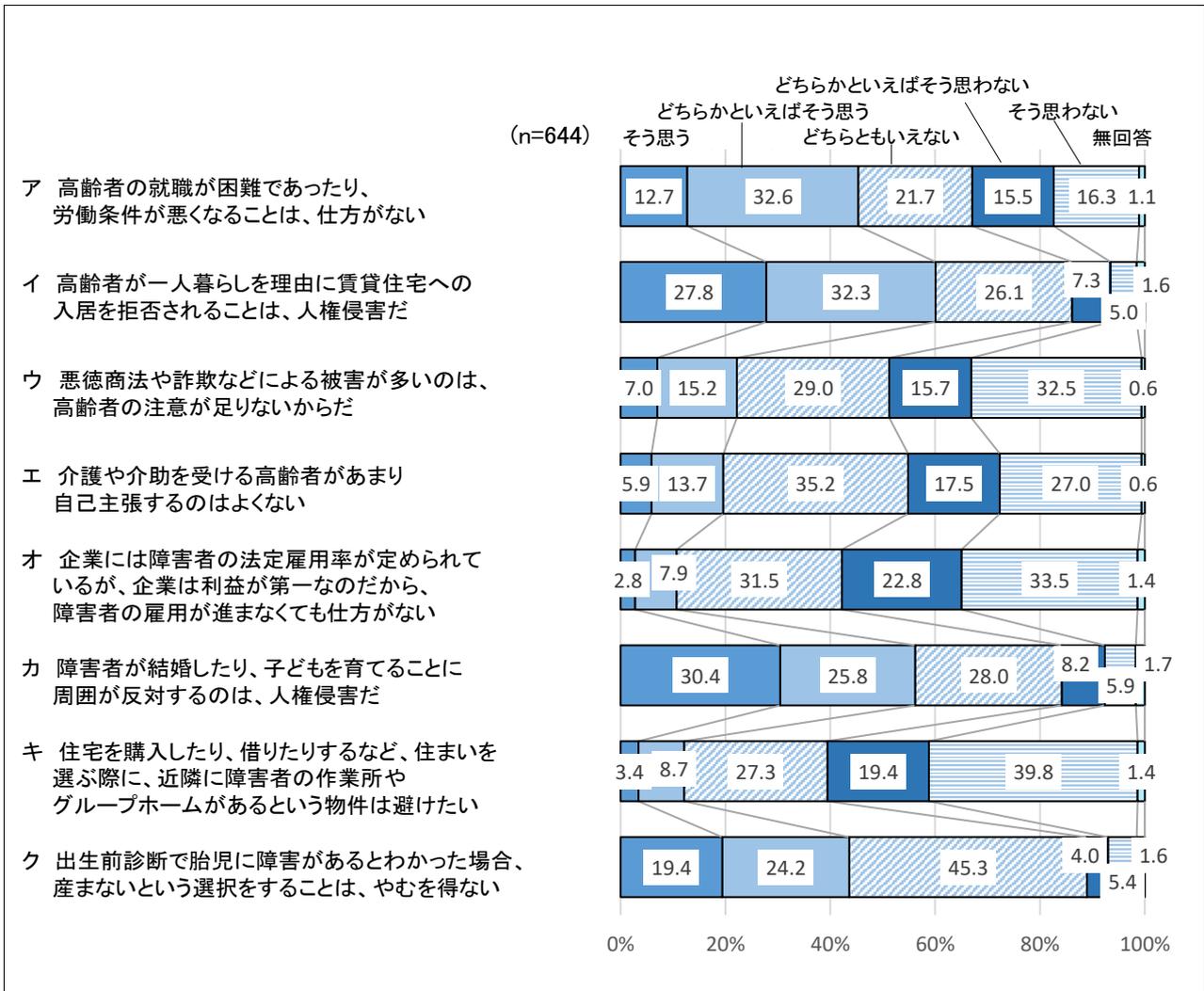
		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答	合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	20	46	162	25	92	10	355	17	18	200	28	71	21
		100.0	5.6	13.0	45.6	7.0	25.9	2.8	100.0	4.8	5.1	56.3	7.9	20.0	5.9
	男性	275	20	30	148	18	57	2	275	17	17	154	23	54	10
		100.0	7.3	10.9	53.8	6.5	20.7	0.7	100.0	6.2	6.2	56.0	8.4	19.6	3.6
年齢	15～19歳	81	4	7	40	8	22	0	81	1	3	44	13	20	0
		100.0	4.9	8.6	49.4	9.9	27.2	0.0	100.0	1.2	3.7	54.3	16.0	24.7	0.0
	20代	40	0	8	22	4	6	0	40	0	1	17	8	14	0
		100.0	0.0	20.0	55.0	10.0	15.0	0.0	100.0	0.0	2.5	42.5	20.0	35.0	0.0
	30代	41	2	5	23	3	8	0	41	0	3	23	5	10	0
		100.0	4.9	12.2	56.1	7.3	19.5	0.0	100.0	0.0	7.3	56.1	12.2	24.4	0.0
	40代	56	4	7	29	5	11	0	56	3	3	37	1	12	0
		100.0	7.1	12.5	51.8	8.9	19.6	0.0	100.0	5.4	5.4	66.1	1.8	21.4	0.0
50代	99	10	18	43	7	20	1	99	3	4	57	11	23	1	
	100.0	10.1	18.2	43.4	7.1	20.2	1.0	100.0	3.0	4.0	57.6	11.1	23.2	1.0	
60代	139	1	14	74	12	38	0	139	3	6	77	12	40	1	
	100.0	0.7	10.1	53.2	8.6	27.3	0.0	100.0	2.2	4.3	55.4	8.6	28.8	0.7	
70代以上	271	24	28	123	14	70	12	271	26	20	144	19	32	30	
	100.0	8.9	10.3	45.4	5.2	25.8	4.4	100.0	9.6	7.4	53.1	7.0	11.8	11.1	

性別で大きな差がみられるのは、「ア 自分の家族や親戚に同性愛者はいてほしくない」で『そう思う』の割合が女性 37.5%、男性 54.9%と、男性のほうが高く、「イ 女性同士、男性同士の結婚も、認めるべきだ」では『そう思う』の割合が女性 41.7%、男性 25.1%と、女性のほうが高くなっている。そして、「エ 同僚に性的マイノリティがいる職場では働きたくない」という意見に対して「そう思わない」と回答したのは、女性で 51.8%、男性で 39.3%となっている。このように、男性のほうが性的マイノリティに対する忌避意識が強く、同性婚を容認する人が少ないことがわかる。

年齢別では、「ア 自分の家族や親戚に同性愛者はいてほしくない」という意見に対して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合は年齢が若くなるほど低くなっており、「イ 女性同士、男性同士の結婚も、認めるべきだ」でも「そう思う」の割合は年齢が若くなるほど高くなっている。また、「エ 同僚に性的マイノリティがいる職場では働きたくない」という意見に『そう思わない』と回答した割合は、15～19歳で 77.8%、20代で 80.0%と、他の年齢層に比べて高くなっている。このように、若年層のほうが性的マイノリティに対する忌避意識が弱く、同性婚を容認する人が多くなっている。

14 高齢者や障害者の人権に関する意見や考え方

問 13 高齢者や障害者の人権に関する次のような意見や考え方について、
あなたはどのように思いますか。



『そう思う』の割合が50%を超えているのは、「イ 高齢者が一人暮らしを理由に賃貸住宅への入居を拒否されることは、人権侵害だ」(60.1%)と「カ 障害者が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対するのは、人権侵害だ」(56.2%)の2項目で、『そう思わない』の割合が50%を超えるのは、「オ 企業には障害者の法定雇用率が定められているが、企業は利益が第一なのだから、障害者の雇用が進まなくても仕方がない」(56.3%)と「キ 住宅を購入したり、借りたりするなど、住まいを選ぶ際に、近隣に障害者の作業所やグループホームがあるという物件は避けたい」(59.2%)の2項目である。

「どちらともいえない」が30%を超えているのは、「エ 介護や介助を受ける高齢者があまり自己主張するのはよくない」(35.2%)、「オ 企業には障害者の法定雇用率が定められているが、企業は利益が第一なのだから、障害者の雇用が進まなくても仕方がない」(31.5%)、「ク 出生前診断で胎児に障害があるとわかった場合、産まないという選択をすることは、やむを得ない」(45.3%)の3項目であった。

【問 13 性別・年齢別】

ア 高齢者の就職が困難であったり、
労働条件が悪くなることは、仕方がない

イ 高齢者が一人暮らしを理由に賃貸住宅への
入居を拒否されることは、人権侵害だ

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	42	116	83	49	61	4
		100.0	11.8	32.7	23.4	13.8	17.2	1.1
	男性	275	37	90	55	50	41	2
		100.0	13.5	32.7	20.0	18.2	14.9	0.7
年齢	15～19歳	81	9	33	20	15	4	0
		100.0	11.1	40.7	24.7	18.5	4.9	0.0
	20代	40	6	15	7	7	5	0
		100.0	15.0	37.5	17.5	17.5	12.5	0.0
	30代	41	4	9	13	11	4	0
		100.0	9.8	22.0	31.7	26.8	9.8	0.0
	40代	56	8	17	17	9	5	0
		100.0	14.3	30.4	30.4	16.1	8.9	0.0
50代	99	11	35	20	16	16	1	
	100.0	11.1	35.4	20.2	16.2	16.2	1.0	
60代	139	12	37	28	28	34	0	
	100.0	8.6	26.6	20.1	20.1	24.5	0.0	
70代以上	271	40	100	51	34	40	6	
	100.0	14.8	36.9	18.8	12.5	14.8	2.2	

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
		355	106	107	99	25	13	5
		100.0	29.9	30.1	27.9	7.0	3.7	1.4
		275	69	97	66	20	19	4
		100.0	25.1	35.3	24.0	7.3	6.9	1.5
		81	28	32	13	5	3	0
		100.0	34.6	39.5	16.0	6.2	3.7	0.0
		40	5	17	14	2	2	0
		100.0	12.5	42.5	35.0	5.0	5.0	0.0
		41	7	12	12	7	3	0
		100.0	17.1	29.3	29.3	17.1	7.3	0.0
		56	10	17	20	5	3	1
		100.0	17.9	30.4	35.7	8.9	5.4	1.8
		99	25	33	31	5	4	1
		100.0	25.3	33.3	31.3	5.1	4.0	1.0
		139	45	40	36	7	10	1
		100.0	32.4	28.8	25.9	5.0	7.2	0.7
		271	85	92	56	20	11	7
		100.0	31.4	33.9	20.7	7.4	4.1	2.6

ウ 悪徳商法や詐欺などによる被害が多いのは、
高齢者の注意が足りないからだ

エ 介護や介助を受ける高齢者があまり
自己主張するのはよくない

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	18	54	111	52	118	2
		100.0	5.1	15.2	31.3	14.6	33.2	0.6
	男性	275	25	42	73	46	88	1
		100.0	9.1	15.3	26.5	16.7	32.0	0.4
年齢	15～19歳	81	6	11	19	20	25	0
		100.0	7.4	13.6	23.5	24.7	30.9	0.0
	20代	40	5	2	10	9	14	0
		100.0	12.5	5.0	25.0	22.5	35.0	0.0
	30代	41	2	5	13	8	13	0
		100.0	4.9	12.2	31.7	19.5	31.7	0.0
	40代	56	5	2	14	13	22	0
		100.0	8.9	3.6	25.0	23.2	39.3	0.0
50代	99	4	15	24	21	34	1	
	100.0	4.0	15.2	24.2	21.2	34.3	1.0	
60代	139	4	16	38	26	55	0	
	100.0	2.9	11.5	27.3	18.7	39.6	0.0	
70代以上	271	27	59	85	24	73	3	
	100.0	10.0	21.8	31.4	8.9	26.9	1.1	

		回答者数	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
		355	17	41	121	69	105	2
		100.0	4.8	11.5	34.1	19.4	29.6	0.6
		275	20	45	101	40	68	1
		100.0	7.3	16.4	36.7	14.5	24.7	0.4
		81	5	8	27	23	18	0
		100.0	6.2	9.9	33.3	28.4	22.2	0.0
		40	1	10	11	12	6	0
		100.0	2.5	25.0	27.5	30.0	15.0	0.0
		41	1	7	16	5	12	0
		100.0	2.4	17.1	39.0	12.2	29.3	0.0
		56	5	8	20	13	10	0
		100.0	8.9	14.3	35.7	23.2	17.9	0.0
		99	5	13	33	20	27	1
		100.0	5.1	13.1	33.3	20.2	27.3	1.0
		139	2	15	52	27	43	0
		100.0	1.4	10.8	37.4	19.4	30.9	0.0
		271	24	40	92	38	74	3
		100.0	8.9	14.8	33.9	14.0	27.3	1.1

オ 企業には障害者の法定雇用率が定められているが、企業は利益が第一なのだから、障害者の雇用が進まなくても仕方がない

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	8 2.3	25 7.0	106 29.9	89 25.1	123 34.6	4 1.1
	男性	275 100.0	10 3.6	25 9.1	92 33.5	55 20.0	89 32.4	4 1.5
年齢	15～19歳	81 100.0	4 4.9	13 16.0	30 37.0	20 24.7	14 17.3	0 0.0
	20代	40 100.0	1 2.5	13 32.5	15 37.5	5 12.5	6 15.0	0 0.0
	30代	41 100.0	3 7.3	4 9.8	14 34.1	14 34.1	6 14.6	0 0.0
	40代	56 100.0	3 5.4	5 8.9	20 35.7	13 23.2	15 26.8	0 0.0
	50代	99 100.0	0 0.0	11 11.1	35 35.4	18 18.2	34 34.3	1 1.0
	60代	139 100.0	3 2.2	6 4.3	35 25.2	36 25.9	57 41.0	2 1.4
	70代以上	271 100.0	9 3.3	19 7.0	81 29.9	62 22.9	94 34.7	6 2.2

カ 障害者が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対するのは、人権侵害だ

(上段:人、下段%)

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	112 31.5	85 23.9	113 31.8	20 5.6	18 5.1	7 2.0
	男性	275 100.0	81 29.5	76 27.6	64 23.3	32 11.6	19 6.9	3 1.1
年齢	15～19歳	81 100.0	29 35.8	20 24.7	20 24.7	8 9.9	4 4.9	0 0.0
	20代	40 100.0	9 22.5	10 25.0	12 30.0	6 15.0	3 7.5	0 0.0
	30代	41 100.0	12 29.3	8 19.5	11 26.8	8 19.5	1 2.4	1 2.4
	40代	56 100.0	11 19.6	23 41.1	13 23.2	8 14.3	1 1.8	0 0.0
	50代	99 100.0	30 30.3	25 25.3	31 31.3	7 7.1	5 5.1	1 1.0
	60代	139 100.0	42 30.2	30 21.6	43 30.9	13 9.4	8 5.8	3 2.2
	70代以上	271 100.0	92 33.9	72 26.6	69 25.5	13 4.8	19 7.0	6 2.2

キ 住宅を購入したり、借りたりするなど、住まいを選ぶ際に、近隣に障害者の作業所やグループホームがあるという物件は避けたい

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	10 2.8	30 8.5	94 26.5	64 18.0	152 42.8	5 1.4
	男性	275 100.0	12 4.4	23 8.4	80 29.1	57 20.7	100 36.4	3 1.1
年齢	15～19歳	81 100.0	4 4.9	6 7.4	29 35.8	21 25.9	21 25.9	0 0.0
	20代	40 100.0	4 10.0	7 17.5	14 35.0	5 12.5	10 25.0	0 0.0
	30代	41 100.0	3 7.3	4 9.8	13 31.7	9 22.0	12 29.3	0 0.0
	40代	56 100.0	4 7.1	6 10.7	16 28.6	10 17.9	20 35.7	0 0.0
	50代	99 100.0	5 5.1	8 8.1	27 27.3	20 20.2	37 37.4	2 2.0
	60代	139 100.0	2 1.4	9 6.5	29 20.9	30 21.6	68 48.9	1 0.7
	70代以上	271 100.0	7 2.6	25 9.2	75 27.7	50 18.5	108 39.9	6 2.2

ク 出生前診断で胎児に障害があるとわかった場合、産まないという選択をすることは、やむを得ない

(上段:人、下段%)

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	64 18.0	87 24.5	169 47.6	10 2.8	20 5.6	5 1.4
	男性	275 100.0	61 22.2	64 23.3	118 42.9	14 5.1	14 5.1	4 1.5
年齢	15～19歳	81 100.0	10 12.3	18 22.2	39 48.1	5 6.2	9 11.1	0 0.0
	20代	40 100.0	12 30.0	11 27.5	16 40.0	1 2.5	0 0.0	0 0.0
	30代	41 100.0	12 29.3	7 17.1	19 46.3	1 2.4	2 4.9	0 0.0
	40代	56 100.0	16 28.6	15 26.8	23 41.1	0 0.0	2 3.6	0 0.0
	50代	99 100.0	17 17.2	26 26.3	45 45.5	6 6.1	4 4.0	1 1.0
	60代	139 100.0	22 15.8	38 27.3	65 46.8	6 4.3	7 5.0	1 0.7
	70代以上	271 100.0	53 19.6	65 24.0	119 43.9	9 3.3	17 6.3	8 3.0

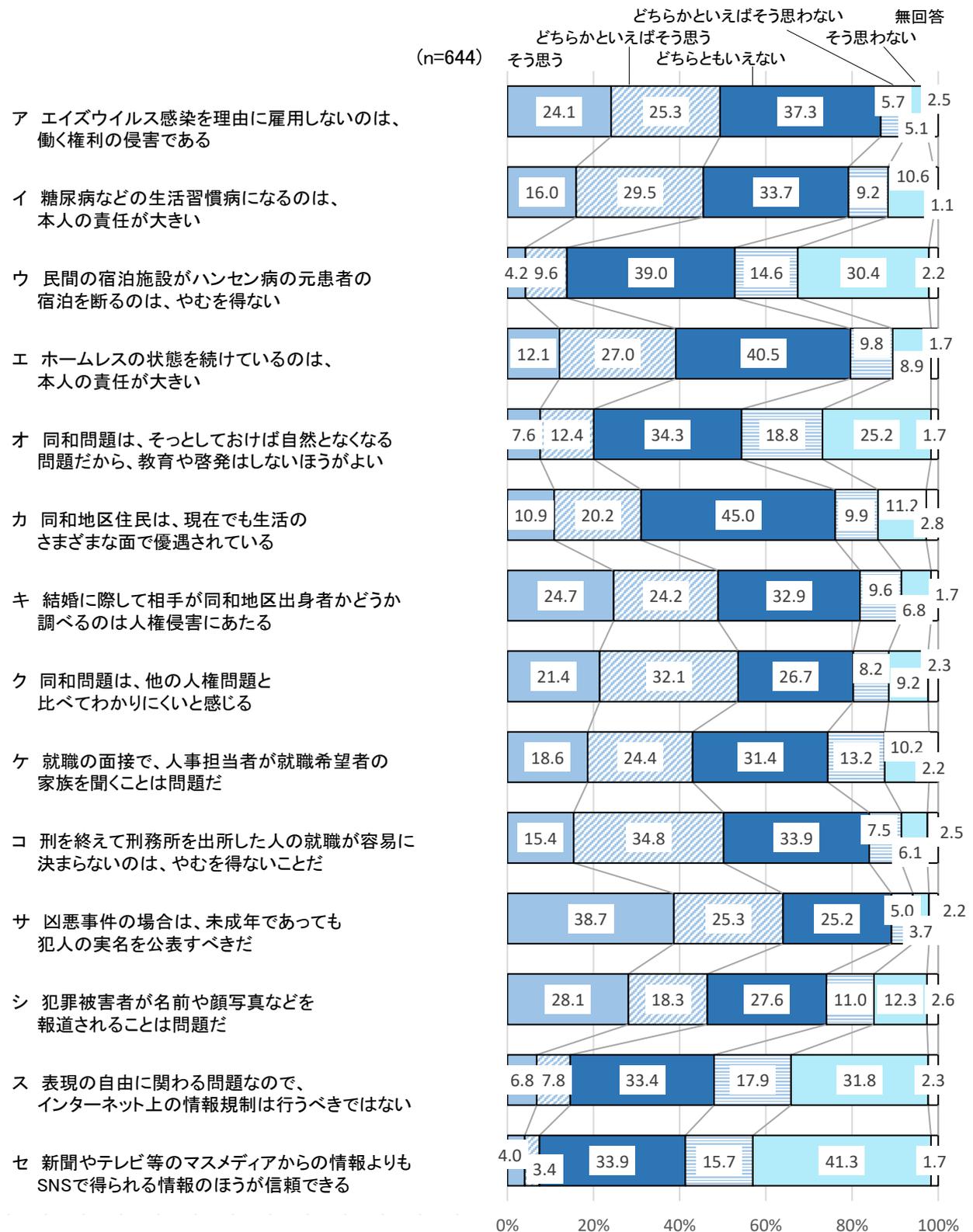
性別で大きな差がみられる項目はなく、「エ 介護や介助を受ける高齢者があまり自己主張するのはよくない」で『そう思う』が女性 16.3%、男性 23.7%と、少し差がみられる程度である。

年齢別でみると、「エ 介護や介助を受ける高齢者があまり自己主張するのはよくない」「オ 企業には障害者の法定雇用率が定められているが、企業は利益が第一なのだから、障害者の雇用が進まなくても仕方がない」「キ 住宅を購入したり、借りたりするなど、住まいを選ぶ際に、近隣に障害者の作業所やグループホームがあるという物件は避けたい」について『そう思う』という回答割合は、いずれも 20 代が最も高く、「ア 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が悪くなることは、仕方がない」についても『そう思う』の割合は、15～19 歳、70 代以上でも高いものの、20 代が最も高くなっている（15～19 歳 51.8%、70 代以上 51.7%に対して 20 代 52.5%）。このように、高齢者や障害者に関して人権の視点から問題があるとみなされる意見に対する肯定回答が 20 代で多くみられるのである。

また、「ウ 悪徳商法や詐欺などによる被害が多いのは、高齢者の注意が足りないからだ」という意見については、高齢者での肯定回答（『そう思う』）が非常に高くなっている（31.8%）。

15 さまざまな人権に関する意見や考え方

問 14 次に掲げる意見や考え方について、あなたはどのように思われますか。



『そう思う』の割合が50%を超えているのは、「ク 同和問題は、他の人権問題と比べてわかりにくいと感じる」(53.5%)、「コ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないのは、やむを得ないことだ」(50.2%)、「サ 凶悪事件の場合は、未成年であっても犯人の実名を公表すべきだ」(64.0%)の3項目で、『そう思わない』の割合が50%を超えているのは、「セ 新聞やテレビ等のマスメディアからの情報よりも SNS で得られる情報のほうが信頼できる」(57.0%)だけである。

なお、「どちらともいえない」の割合が40%を超えているのは、「エ ホームレスの状態を続けているのは、本人の責任が大きい」(40.5%)と「カ 同和地区住民は、現在でも生活のさまざまな面で優遇されている」(45.0%)の2項目である。

【問 14 性別・年齢別】

ア エイズウイルス感染を理由に雇用しないのは、
働く権利の侵害である

イ 糖尿病などの生活習慣病になるのは、
本人の責任が大きい

(上段:人、下段%)

		合計	そう 思う	そう 思う どちらか といえ ば	ど ち ら か と も い え な い	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
性別	女性	355	95	89	134	16	14	7
		100.0	26.8	25.1	37.7	4.5	3.9	2.0
	男性	275	59	71	102	20	19	4
		100.0	21.5	25.8	37.1	7.3	6.9	1.5
年齢	15～ 19歳	81	28	21	23	4	5	0
		100.0	34.6	25.9	28.4	4.9	6.2	0.0
	20代	40	9	13	13	0	5	0
		100.0	22.5	32.5	32.5	0.0	12.5	0.0
	30代	41	12	14	12	2	1	0
		100.0	29.3	34.1	29.3	4.9	2.4	0.0
	40代	56	15	20	16	3	2	0
		100.0	26.8	35.7	28.6	5.4	3.6	0.0
	50代	99	28	24	29	10	6	2
		100.0	28.3	24.2	29.3	10.1	6.1	2.0
	60代	139	36	30	60	7	5	1
		100.0	25.9	21.6	43.2	5.0	3.6	0.7
	70代 以上	271	55	66	111	14	16	9
		100.0	20.3	24.4	41.0	5.2	5.9	3.3

		合計	そう 思う	そう 思う どちらか といえ ば	ど ち ら か と も い え な い	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
		355	44	100	125	37	46	3
		100.0	12.4	28.2	35.2	10.4	13.0	0.8
		275	56	88	87	22	22	0
		100.0	20.4	32.0	31.6	8.0	8.0	0.0
		81	14	28	25	7	7	0
		100.0	17.3	34.6	30.9	8.6	8.6	0.0
		40	6	9	15	7	3	0
		100.0	15.0	22.5	37.5	17.5	7.5	0.0
		41	10	13	11	4	3	0
		100.0	24.4	31.7	26.8	9.8	7.3	0.0
		56	7	14	23	4	8	0
		100.0	12.5	25.0	41.1	7.1	14.3	0.0
		99	15	31	28	14	9	2
		100.0	15.2	31.3	28.3	14.1	9.1	2.0
		139	17	34	55	12	21	0
		100.0	12.2	24.5	39.6	8.6	15.1	0.0
		271	47	92	83	21	26	2
		100.0	17.3	33.9	30.6	7.7	9.6	0.7

ウ 民間の宿泊施設がハンセン病の元患者の
宿泊を断るのは、やむを得ない

エ ホームレスの状態を続けているのは、
本人の責任が大きい

(上段:人、下段%)

		合計	そう 思う	そう 思う どちらか といえ ば	ど ち ら か と も い え な い	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
性別	女性	355	16	28	144	48	113	6
		100.0	4.5	7.9	40.6	13.5	31.8	1.7
	男性	275	11	33	101	45	81	4
		100.0	4.0	12.0	36.7	16.4	29.5	1.5
年齢	15～ 19歳	81	2	10	34	17	18	0
		100.0	2.5	12.3	42.0	21.0	22.2	0.0
	20代	40	2	10	15	7	6	0
		100.0	5.0	25.0	37.5	17.5	15.0	0.0
	30代	41	1	5	15	7	13	0
		100.0	2.4	12.2	36.6	17.1	31.7	0.0
	40代	56	5	1	29	10	11	0
		100.0	8.9	1.8	51.8	17.9	19.6	0.0
	50代	99	2	15	38	13	28	3
		100.0	2.0	15.2	38.4	13.1	28.3	3.0
	60代	139	9	6	49	21	54	0
		100.0	6.5	4.3	35.3	15.1	38.8	0.0
	70代 以上	271	10	31	101	36	85	8
		100.0	3.7	11.4	37.3	13.3	31.4	3.0

		合計	そう 思う	そう 思う どちらか といえ ば	ど ち ら か と も い え な い	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
		355	29	86	163	38	34	5
		100.0	8.2	24.2	45.9	10.7	9.6	1.4
		275	48	83	95	25	22	2
		100.0	17.5	30.2	34.5	9.1	8.0	0.7
		81	5	23	30	18	5	0
		100.0	6.2	28.4	37.0	22.2	6.2	0.0
		40	4	13	11	9	3	0
		100.0	10.0	32.5	27.5	22.5	7.5	0.0
		41	5	12	19	1	4	0
		100.0	12.2	29.3	46.3	2.4	9.8	0.0
		56	5	13	27	5	5	1
		100.0	8.9	23.2	48.2	8.9	8.9	1.8
		99	11	31	42	8	5	2
		100.0	11.1	31.3	42.4	8.1	5.1	2.0
		139	9	30	70	13	17	0
		100.0	6.5	21.6	50.4	9.4	12.2	0.0
		271	47	78	89	29	23	5
		100.0	17.3	28.8	32.8	10.7	8.5	1.8

オ 同和問題は、そっとしておけば自然となくなる問題だから、教育や啓発はしないほうがよい

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	29 8.2	35 9.9	138 38.9	64 18.0	85 23.9	4 1.1
	男性	275 100.0	20 7.3	44 16.0	78 28.4	54 19.6	76 27.6	3 1.1
年齢	15～19歳	81 100.0	2 2.5	4 4.9	36 44.4	20 24.7	19 23.5	0 0.0
	20代	40 100.0	2 5.0	8 20.0	13 32.5	9 22.5	8 20.0	0 0.0
	30代	41 100.0	3 7.3	3 7.3	20 48.8	11 26.8	4 9.8	0 0.0
	40代	56 100.0	3 5.4	7 12.5	20 35.7	16 28.6	10 17.9	0 0.0
	50代	99 100.0	6 6.1	19 19.2	35 35.4	18 18.2	19 19.2	2 2.0
	60代	139 100.0	10 7.2	10 7.2	46 33.1	29 20.9	44 31.7	0 0.0
	70代以上	271 100.0	25 9.2	37 13.7	83 30.6	42 15.5	78 28.8	6 2.2

カ 同和地区住民は、現在でも生活のさまざまな面で優遇されている

(上段:人、下段%)

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	34 9.6	67 18.9	168 47.3	38 10.7	39 11.0	9 2.5
	男性	275 100.0	35 12.7	61 22.2	118 42.9	24 8.7	33 12.0	4 1.5
年齢	15～19歳	81 100.0	4 4.9	2 2.5	49 60.5	15 18.5	11 13.6	0 0.0
	20代	40 100.0	1 2.5	3 7.5	20 50.0	7 17.5	9 22.5	0 0.0
	30代	41 100.0	0 0.0	3 7.3	29 70.7	4 9.8	4 9.8	1 2.4
	40代	56 100.0	7 12.5	11 19.6	26 46.4	8 14.3	3 5.4	1 1.8
	50代	99 100.0	13 13.1	26 26.3	39 39.4	8 8.1	11 11.1	2 2.0
	60代	139 100.0	16 11.5	31 22.3	66 47.5	10 7.2	16 11.5	0 0.0
	70代以上	271 100.0	32 11.8	58 21.4	112 41.3	27 10.0	32 11.8	10 3.7

キ 結婚に際して相手が同和地区出身者かどうか調べるのは人権侵害にあたる

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	91 25.6	89 25.1	113 31.8	32 9.0	25 7.0	5 1.4
	男性	275 100.0	64 23.3	65 23.6	97 35.3	29 10.5	18 6.5	2 0.7
年齢	15～19歳	81 100.0	14 17.3	22 27.2	31 38.3	9 11.1	5 6.2	0 0.0
	20代	40 100.0	7 17.5	7 17.5	18 45.0	4 10.0	4 10.0	0 0.0
	30代	41 100.0	7 17.1	10 24.4	15 36.6	7 17.1	2 4.9	0 0.0
	40代	56 100.0	7 12.5	13 23.2	26 46.4	5 8.9	5 8.9	0 0.0
	50代	99 100.0	25 25.3	25 25.3	30 30.3	11 11.1	6 6.1	2 2.0
	60代	139 100.0	40 28.8	36 25.9	44 31.7	11 7.9	8 5.8	0 0.0
	70代以上	271 100.0	74 27.3	65 24.0	81 29.9	23 8.5	22 8.1	6 2.2

ク 同和問題は、他の人権問題と比べてわかりにくいと感じる

(上段:人、下段%)

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	79 22.3	116 32.7	93 26.2	26 7.3	33 9.3	8 2.3
	男性	275 100.0	57 20.7	86 31.3	78 28.4	26 9.5	25 9.1	3 1.1
年齢	15～19歳	81 100.0	16 19.8	16 19.8	33 40.7	9 11.1	7 8.6	0 0.0
	20代	40 100.0	4 10.0	13 32.5	18 45.0	3 7.5	2 5.0	0 0.0
	30代	41 100.0	12 29.3	11 26.8	10 24.4	5 12.2	3 7.3	0 0.0
	40代	56 100.0	9 16.1	20 35.7	18 32.1	6 10.7	3 5.4	0 0.0
	50代	99 100.0	22 22.2	33 33.3	34 34.3	5 5.1	3 3.0	2 2.0
	60代	139 100.0	32 23.0	37 26.6	39 28.1	16 11.5	15 10.8	0 0.0
	70代以上	271 100.0	58 21.4	100 36.9	52 19.2	19 7.0	32 11.8	10 3.7

ケ 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族を聞くことは問題だ

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	69 19.4	92 25.9	112 31.5	40 11.3	35 9.9	7 2.0
	男性	275 100.0	48 17.5	64 23.3	85 30.9	44 16.0	31 11.3	3 1.1
年齢	15～19歳	81 100.0	26 32.1	22 27.2	20 24.7	8 9.9	5 6.2	0 0.0
	20代	40 100.0	8 20.0	10 25.0	13 32.5	8 20.0	1 2.5	0 0.0
	30代	41 100.0	7 17.1	16 39.0	11 26.8	6 14.6	1 2.4	0 0.0
	40代	56 100.0	9 16.1	16 28.6	18 32.1	7 12.5	6 10.7	0 0.0
	50代	99 100.0	23 23.2	23 23.2	21 21.2	20 20.2	10 10.1	2 2.0
	60代	139 100.0	29 20.9	33 23.7	51 36.7	11 7.9	14 10.1	1 0.7
	70代以上	271 100.0	44 16.2	62 22.9	93 34.3	32 11.8	32 11.8	8 3.0

コ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないのは、やむを得ないことだ

(上段:人、下段%)

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	54 15.2	132 37.2	116 32.7	20 5.6	23 6.5	10 2.8
	男性	275 100.0	42 15.3	88 32.0	99 36.0	28 10.2	16 5.8	2 0.7
年齢	15～19歳	81 100.0	15 18.5	26 32.1	24 29.6	12 14.8	4 4.9	0 0.0
	20代	40 100.0	14 35.0	14 35.0	9 22.5	2 5.0	1 2.5	0 0.0
	30代	41 100.0	12 29.3	19 46.3	7 17.1	0 0.0	3 7.3	0 0.0
	40代	56 100.0	12 21.4	25 44.6	17 30.4	1 1.8	1 1.8	0 0.0
	50代	99 100.0	19 19.2	41 41.4	26 26.3	6 6.1	5 5.1	2 2.0
	60代	139 100.0	13 9.4	46 33.1	58 41.7	12 8.6	10 7.2	0 0.0
	70代以上	271 100.0	36 13.3	86 31.7	95 35.1	25 9.2	18 6.6	11 4.1

サ 凶悪事件の場合は、未成年であっても犯人の実名を公表すべきだ

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	126 35.5	80 22.5	112 31.5	16 4.5	14 3.9	7 2.0
	男性	275 100.0	120 43.6	80 29.1	49 17.8	15 5.5	9 3.3	2 0.7
年齢	15～19歳	81 100.0	26 32.1	12 14.8	31 38.3	6 7.4	6 7.4	0 0.0
	20代	40 100.0	21 52.5	10 25.0	7 17.5	1 2.5	1 2.5	0 0.0
	30代	41 100.0	22 53.7	8 19.5	10 24.4	1 2.4	0 0.0	0 0.0
	40代	56 100.0	26 46.4	12 21.4	12 21.4	4 7.1	2 3.6	0 0.0
	50代	99 100.0	45 45.5	26 26.3	20 20.2	3 3.0	3 3.0	2 2.0
	60代	139 100.0	49 35.3	41 29.5	37 26.6	5 3.6	5 3.6	2 1.4
	70代以上	271 100.0	94 34.7	69 25.5	73 26.9	17 6.3	12 4.4	6 2.2

シ 犯罪被害者が名前や顔写真などを報道されることは問題だ

(上段:人、下段%)

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	101 28.5	65 18.3	108 30.4	34 9.6	39 11.0	8 2.3
	男性	275 100.0	77 28.0	50 18.2	68 24.7	36 13.1	39 14.2	5 1.8
年齢	15～19歳	81 100.0	18 22.2	17 21.0	22 27.2	12 14.8	12 14.8	0 0.0
	20代	40 100.0	13 32.5	8 20.0	10 25.0	3 7.5	6 15.0	0 0.0
	30代	41 100.0	17 41.5	5 12.2	8 19.5	4 9.8	7 17.1	0 0.0
	40代	56 100.0	25 44.6	15 26.8	13 23.2	2 3.6	1 1.8	0 0.0
	50代	99 100.0	30 30.3	18 18.2	20 20.2	12 12.1	17 17.2	2 2.0
	60代	139 100.0	48 34.5	29 20.9	30 21.6	16 11.5	14 10.1	2 1.4
	70代以上	271 100.0	53 19.6	46 17.0	95 35.1	31 11.4	36 13.3	10 3.7

ス 表現の自由に関わる問題なので、インターネット上の情報規制は行うべきではない

セ 新聞やテレビ等のマスメディアからの情報よりも SNSで得られる情報のほうが信頼できる

(上段:人、下段%)

		回答者数	そう思う	そう思うかといえ	どちらともいえない	どちらともいえない	そう思わない	不明・無回答
性別	女性	355	20	24	125	59	118	9
		100.0	5.6	6.8	35.2	16.6	33.2	2.5
男性		275	22	26	87	55	84	1
		100.0	8.0	9.5	31.6	20.0	30.5	0.4
年齢	15～19歳	81	4	11	31	18	17	0
		100.0	4.9	13.6	38.3	22.2	21.0	0.0
	20代	40	3	2	21	8	6	0
		100.0	7.5	5.0	52.5	20.0	15.0	0.0
	30代	41	5	4	15	7	10	0
		100.0	12.2	9.8	36.6	17.1	24.4	0.0
	40代	56	3	1	15	15	22	0
		100.0	5.4	1.8	26.8	26.8	39.3	0.0
50代	99	7	15	25	20	30	2	
	100.0	7.1	15.2	25.3	20.2	30.3	2.0	
60代	139	8	8	43	26	53	1	
	100.0	5.8	5.8	30.9	18.7	38.1	0.7	
70代以上	271	21	21	95	41	85	8	
	100.0	7.7	7.7	35.1	15.1	31.4	3.0	

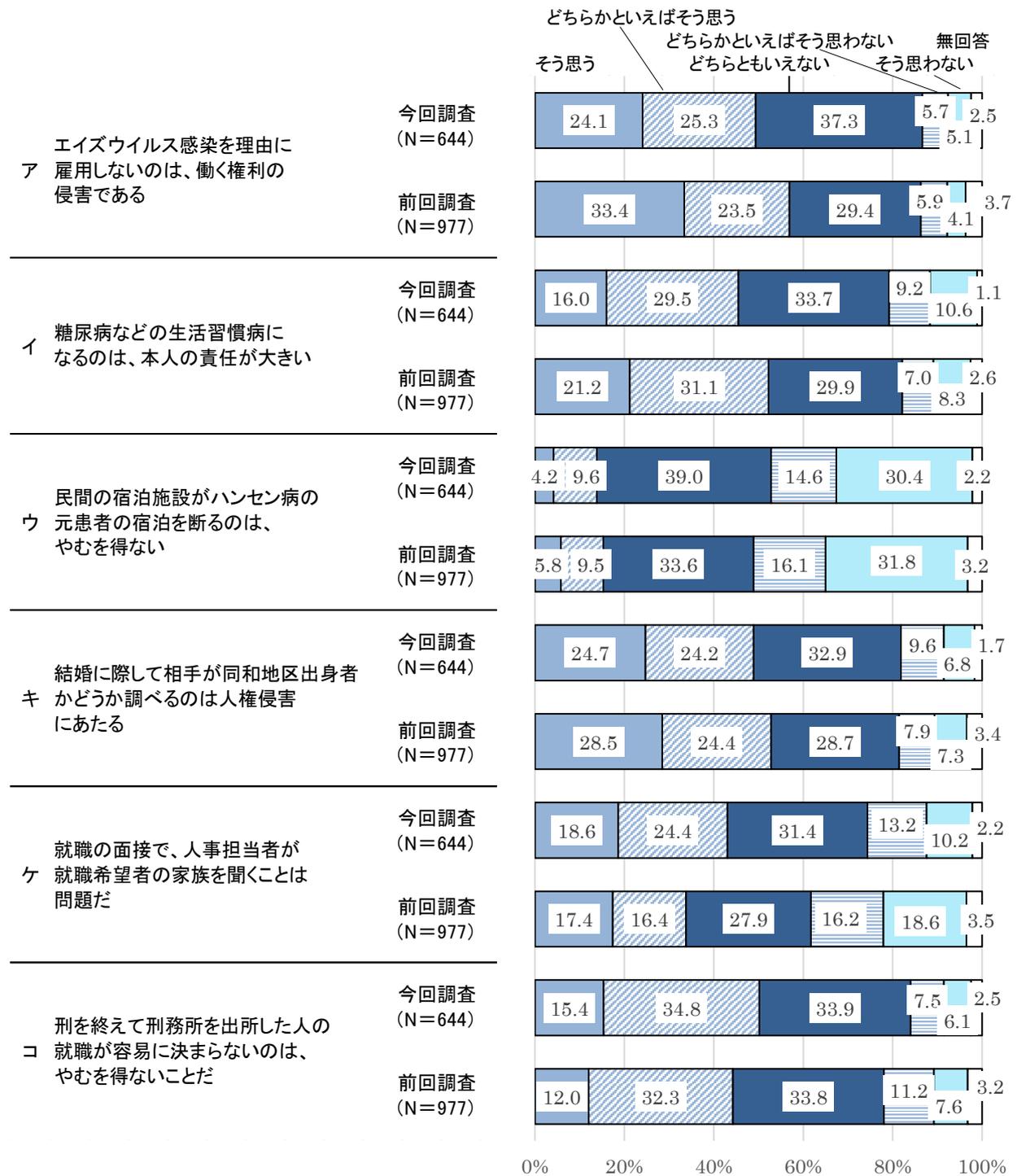
		回答者数	そう思う	そう思うかといえ	どちらともいえない	どちらともいえない	そう思わない	不明・無回答
		355	14	13	111	54	157	6
		100.0	3.9	3.7	31.3	15.2	44.2	1.7
		275	11	9	103	46	106	0
		100.0	4.0	3.3	37.5	16.7	38.5	0.0
		81	7	6	27	17	24	0
		100.0	8.6	7.4	33.3	21.0	29.6	0.0
		40	5	4	18	4	9	0
		100.0	12.5	10.0	45.0	10.0	22.5	0.0
		41	5	3	15	5	13	0
		100.0	12.2	7.3	36.6	12.2	31.7	0.0
		56	4	2	25	9	16	0
		100.0	7.1	3.6	44.6	16.1	28.6	0.0
		99	5	7	34	18	33	2
		100.0	5.1	7.1	34.3	18.2	33.3	2.0
		139	5	3	35	27	69	0
		100.0	3.6	2.2	25.2	19.4	49.6	0.0
		271	5	5	92	37	127	5
		100.0	1.8	1.8	33.9	13.7	46.9	1.8

性別による差が大きいのは、「イ 糖尿病などの生活習慣病になるのは、本人の責任が大きい」「エ ホームレスの状態を続けているのは、本人の責任が大きい」「サ 凶悪事件の場合は、未成年であっても犯人の実名を公表すべきだ」の3項目で、いずれも男性の『そう思う』の割合が女性のそれよりも10ポイント以上、高くなっている。

年齢別比較から特徴的な点をあげると、つぎのようである。自己責任論にもとづくような意見といえる「イ 糖尿病などの生活習慣病になるのは、本人の責任が大きい」「エ ホームレスの状態を続けているのは、本人の責任が大きい」「コ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないのは、やむを得ないことだ」「サ 凶悪事件の場合は、未成年であっても犯人の実名を公表すべきだ」について『そう思う』と回答した割合が高いのは、「イ」では15～19歳、30代、70代以上で、ともに50%を超えている。「エ」では20代、30代、50代、70代以上で、それぞれ40%台となっている。「コ」については20代と30代で、ともに70%を超えている。そして、「サ」では20代、30代、50代で70%を超えている。このように、自己責任論にもとづくような意見を肯定する傾向が20代と30代により強くみられるといえる。

そして、「ウ 民間の宿泊施設がハンセン病の元患者の宿泊を断るのは、やむを得ない」という意見に『そう思う』と答えたのは、20代が30.0%と最も多く、他の年齢層がいずれも20%を下回っているため、その割合の高さが際立っている。「キ 結婚に際して相手が同和地区出身者かどうか調べるのは人権侵害に当たる」という意見に対して『そう思う』と回答したのは、20代が35.0%、40代が35.7%と低く、50歳以上の各年齢層がいずれも50%を超えているのと対照的である。

【問 14 前回調査との比較】



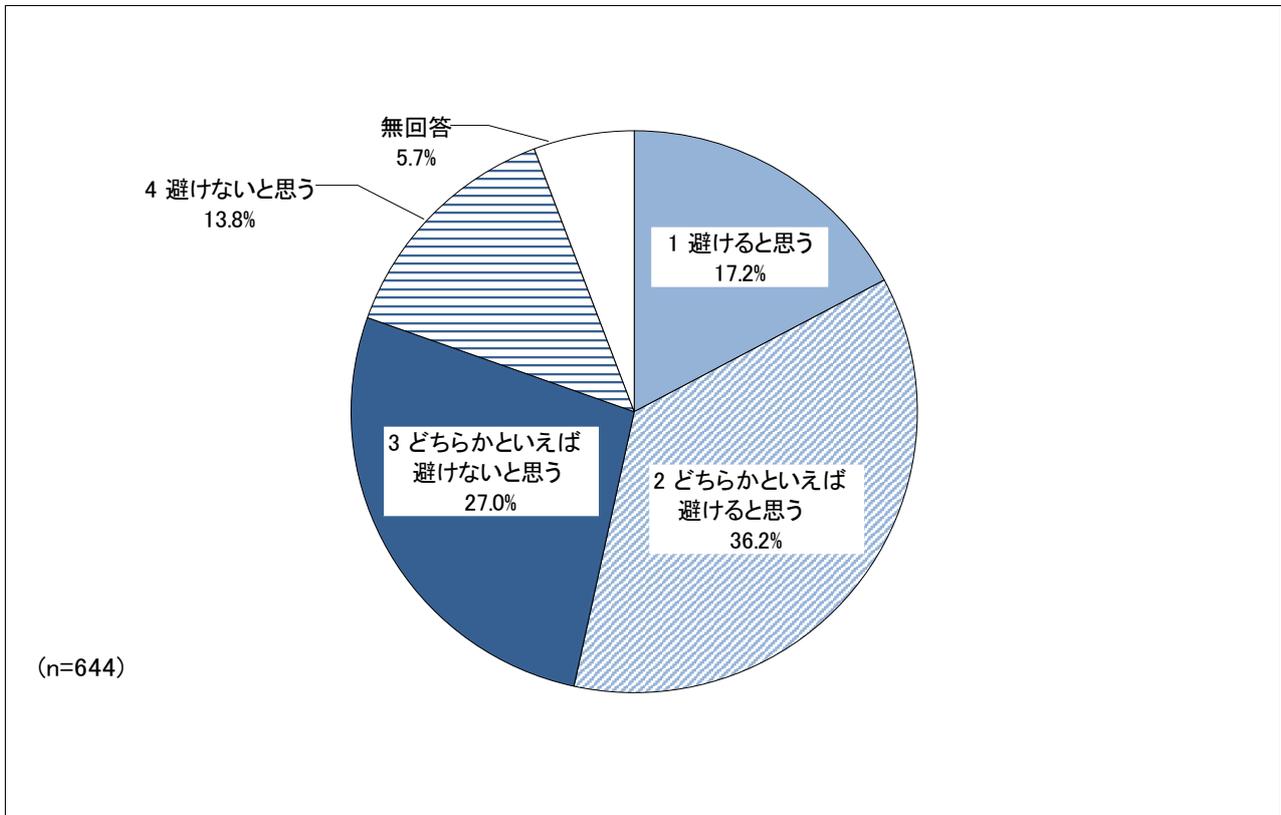
前回調査と比較すると、「ア エイズウイルス感染を理由に雇用しないのは、働く権利の侵害である」については、「そう思う」が9.3ポイント減少し、「イ 糖尿病などの生活習慣病になるのは、本人の責任が大きい」についても、「そう思う」が5.2ポイント減少している。「ウ 民間の宿泊施設がハンセン病の元患者の宿泊を断るのは、やむを得ない」については、前回調査との間に大きな違いはみられないが、「キ 結婚に際して相手が同和地区出身者かどうか調べるのは人権侵害にあたる」については、「そう思う」が3.8ポイント減少している。そして、「ケ 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くことは問題だ」では、『そう思う』が9.2ポイント、「コ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないのは、やむを得ないことだ」では、『そう思

う』が5.9ポイント、それぞれ増加している。

このように、エイズウイルス感染を理由とした不採用や、就職の面接で就職希望者の能力・適性に関係のない事柄を聞くことを問題視する回答が増え、生活習慣病を個人の責任に帰する意見を肯定する回答が減少している。一方で結婚の際の身元調査を人権侵害であるとみなす意見に対する肯定回答がやや減少し、刑余者の就職が決まらないことをやむを得ないとみなす意見に対する肯定回答が増えている。

16 住宅を選ぶ際に、同和地区内の物件を避けるか

問 15 あなたが住宅を購入したり、借りたりするなど、住まいを選ぶ際に、価格や立地条件が希望に合っている物件が同和地区内にあったとしたら、あなたはどのようにしますか。



住まいを選ぶ際に希望に合った物件が同和地区内にあった場合、どうするかを問うと、「2 どちらかといえば避けると思う」が最も多く (36.2%)、次いで「4 どちらかといえば避けないと思う」 (27.0%) となっている。「避けると思う」と「どちらかといえば避けると思う」を合わせた『避けると思う』は 53.4%、「避けないと思う」と「どちらかといえば避けないと思う」を合わせた『避けないと思う』は 40.8%で、『避けると思う』のほうが 12.6 ポイント多い。

【問 15 (1) 性別・年齢別】

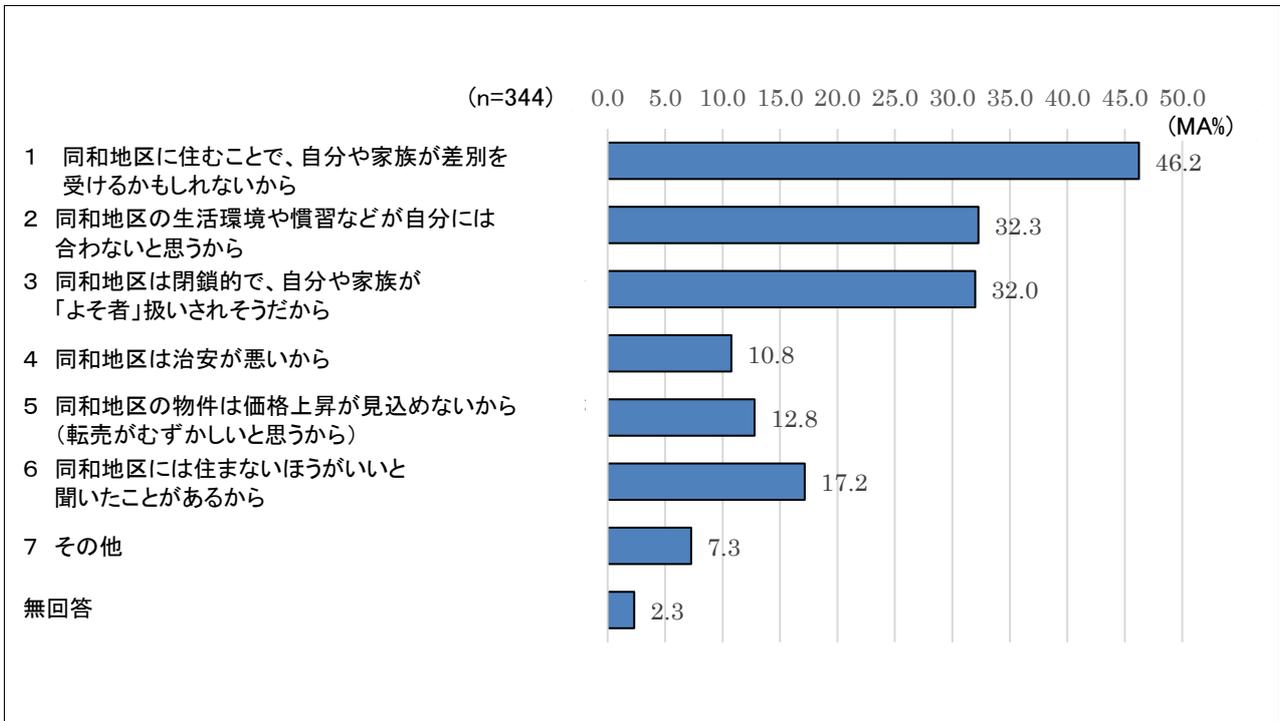
(上段:人、下段%)

		回答者数	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	避けないと思う	不明・無回答
性別	女性	355	59	130	101	46	19
		100.0	16.6	36.6	28.5	13.0	5.4
	男性	275	51	98	71	43	12
		100.0	18.5	35.6	25.8	15.6	4.4
年齢	15～19歳	81	4	19	30	27	1
		100.0	4.9	23.5	37.0	33.3	1.2
	20代	40	4	16	14	6	0
		100.0	10.0	40.0	35.0	15.0	0.0
	30代	41	5	13	13	9	1
		100.0	12.2	31.7	31.7	22.0	2.4
	40代	56	15	24	11	6	0
		100.0	26.8	42.9	19.6	10.7	0.0
	50代	99	26	31	22	14	6
		100.0	26.3	31.3	22.2	14.1	6.1
	60代	139	19	55	40	22	3
		100.0	13.7	39.6	28.8	15.8	2.2
	70代以上	271	44	100	75	31	21
		100.0	16.2	36.9	27.7	11.4	7.7

性別による差はほとんどみられない。

年齢別では、『避けると思う』が最も多いのは40代で(69.7%)、50代、60代、70代以上では、『避けると思う』の割合がいずれも50%を超えている。

(2) 問15で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。
 あなたはなぜ同和地区内の物件を避けるのですか。



『避けると思う』と回答した人に「避ける理由」を問うと(複数回答)、「1 同和地区に住むことで、自分や家族が差別を受けるかもしれないから」が最も多く(46.2%)、次いで「2 同和地区の生活環境や慣習などが自分には合わないと思うから」と「3 同和地区は閉鎖的で、自分や家族が『よそ者』扱いされそうだから」がそれぞれ32%となっている。

【問 15 (2) 性別・年齢別】

(上段:人、下段%)

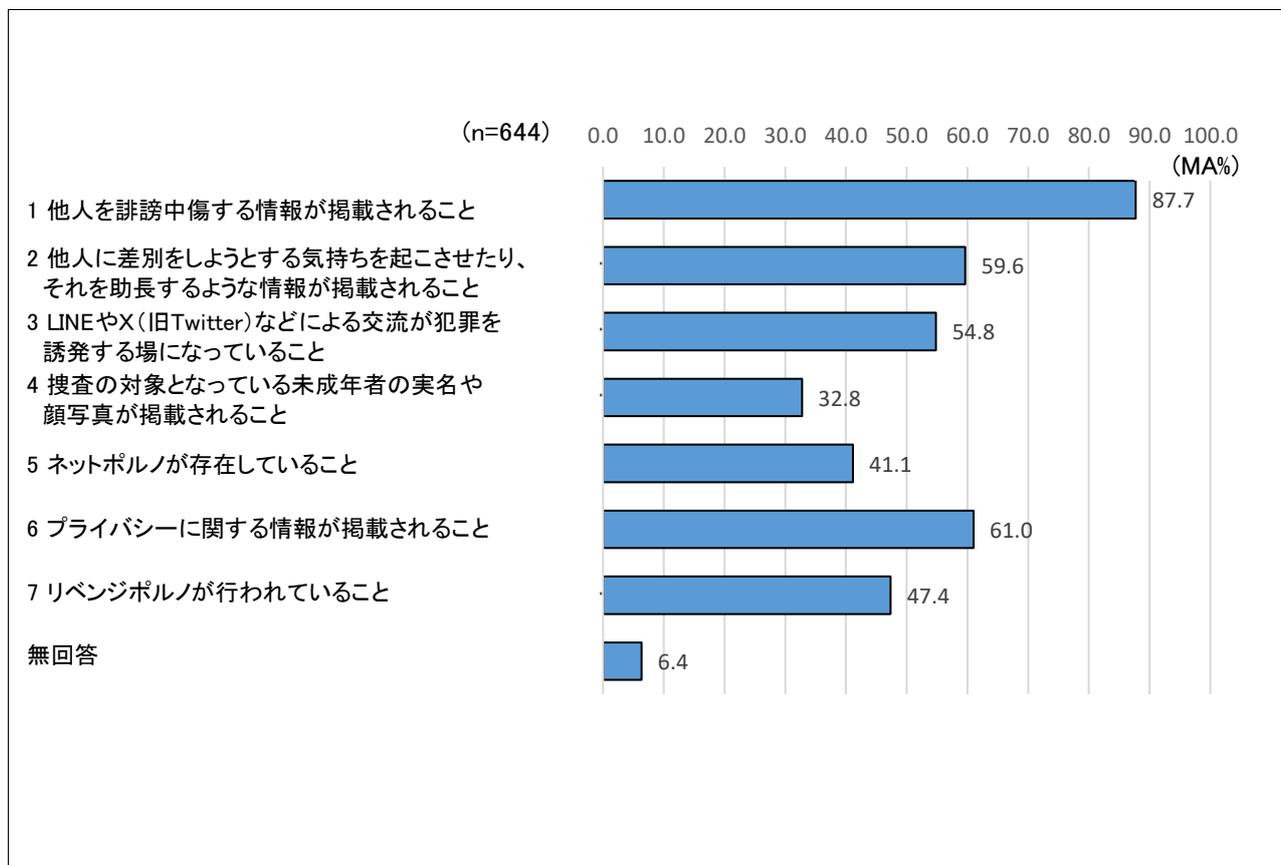
		回答者数	同和地区に住むこと を受けられるか もしれないから	同和地区の生活環境 や慣習などが自分 には合わないと思う から	同和地区は閉鎖的 で、自分や家族が 『よそ者』扱いされ そうだから	同和地区は治安が 悪いから	同和地区の物件は 価格上昇が見込め ないから (転売がむずかしい と思うから)	同和地区には住ま ないほうがいいと 聞いたことがある から	その他	不明・無回答
性別	女性	189 100.0	86 45.5	60 31.7	57 30.2	17 9.0	24 12.7	31 16.4	13 6.9	6 3.2
	男性	149 100.0	69 46.3	51 34.2	50 33.6	20 13.4	20 13.4	27 18.1	12 8.1	2 1.3
年齢	15～ 19歳	23 100.0	10 43.5	7 30.4	6 26.1	1 4.3	0 0.0	4 17.4	3 13.0	0 0.0
	20代	20 100.0	11 55.0	4 20.0	9 45.0	5 25.0	3 15.0	6 30.0	1 5.0	0 0.0
	30代	18 100.0	8 44.4	4 22.2	7 38.9	2 11.1	1 5.6	5 27.8	1 5.6	0 0.0
	40代	39 100.0	14 35.9	11 28.2	14 35.9	9 23.1	5 12.8	7 17.9	6 15.4	4 10.3
	50代	57 100.0	24 42.1	22 38.6	24 42.1	11 19.3	3 5.3	6 10.5	4 7.0	0 0.0
	60代	74 100.0	28 37.8	23 31.1	27 36.5	6 8.1	13 17.6	12 16.2	7 9.5	0 0.0
	70代	144 100.0	81 56.3	47 32.6	35 24.3	8 5.6	22 15.3	26 18.1	6 4.2	7 4.9

性別で比較すると、「同和地区は閉鎖的で、自分や家族が『よそ者』扱いされそうだから」と「同和地区は治安が悪いから」の割合が男性でやや高い（それぞれ 3.4 ポイント、4.4 ポイント高い）程度で、男女の大きな差はみられない。

『避けると思う』と回答したのは、50代で 57 人、60代で 74 人、70代以上で 144 人なので、これらの年齢層を比較すると、「同和地区に住むことで、自分や家族が差別を受けるかもしれないから」は、70代以上で高くなっており（56.2%）、「同和地区の生活環境や慣習などが自分には合わないと思うから」と「同和地区は閉鎖的で、自分や家族が『よそ者』扱いされそうだから」は、50代で高くなっている（それぞれ 38.6%、42.1%）。

17 インターネットによる人権侵害

問 16 あなたは、インターネットによる人権侵害に関し、
現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



インターネットによる人権侵害について、現在、起きている人権問題を問うと（複数回答）、最も多いのが「1 他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」（87.7%）であり、「6 プライバシーに関する情報が掲載されること」（61.0%）、「2 他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」（59.6%）、「3 LINE や X などによる交流が犯罪を誘発する場になっていること」（54.8%）が続く。

【問 16 性別・年齢別】

(上段:人、下段%)

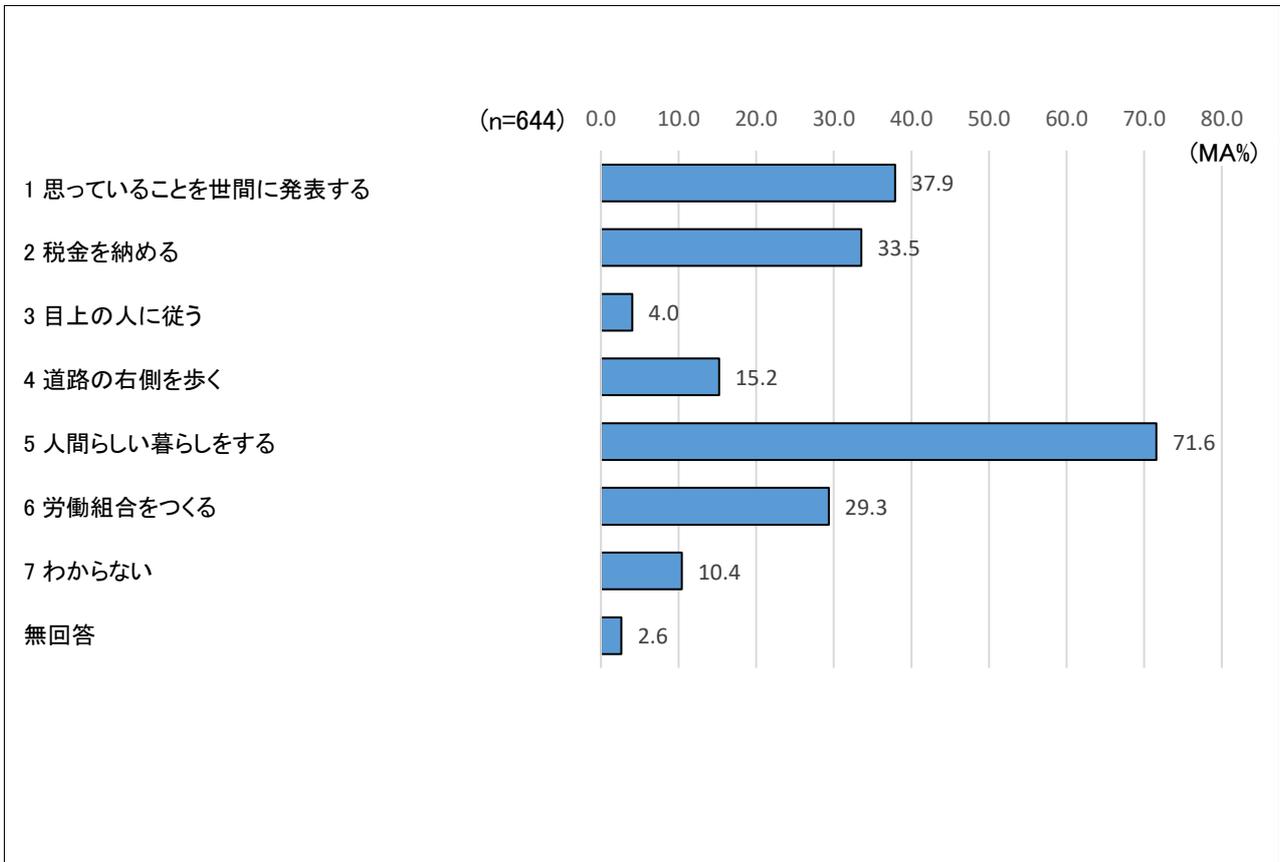
		回答者数	同和地区に住むことを受けるかもしれないから	同和地区の生活環境や慣習などが自分には合わないと思うから	同和地区は閉鎖的で、自分や家族が「よそ者」扱いされそうだから	同和地区は治安が悪いから	同和地区の物件は価格上昇が見込めないから(転売がむずかしいと思うから)	同和地区には住まないほうがいいと聞いたことがあるから	その他	不明・無回答
性別	女性	189 100.0	86 45.5	60 31.7	57 30.2	17 9.0	24 12.7	31 16.4	13 6.9	6 3.2
	男性	149 100.0	69 46.3	51 34.2	50 33.6	20 13.4	20 13.4	27 18.1	12 8.1	2 1.3
年齢	15～19歳	23 100.0	10 43.5	7 30.4	6 26.1	1 4.3	0 0.0	4 17.4	3 13.0	0 0.0
	20代	20 100.0	11 55.0	4 20.0	9 45.0	5 25.0	3 15.0	6 30.0	1 5.0	0 0.0
	30代	18 100.0	8 44.4	4 22.2	7 38.9	2 11.1	1 5.6	5 27.8	1 5.6	0 0.0
	40代	39 100.0	14 35.9	11 28.2	14 35.9	9 23.1	5 12.8	7 17.9	6 15.4	4 10.3
	50代	57 100.0	24 42.1	22 38.6	24 42.1	11 19.3	3 5.3	6 10.5	4 7.0	0 0.0
	60代	74 100.0	28 37.8	23 31.1	27 36.5	6 8.1	13 17.6	12 16.2	7 9.5	0 0.0
	70代	144 100.0	81 56.3	47 32.6	35 24.3	8 5.6	22 15.3	26 18.1	6 4.2	7 4.9

性別では、「捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること」「ネットポルノが存在していること」「リベンジポルノが行われていること」、これらの意見に対して『そう思う』と回答した割合は、女性のほうが高く、男性をそれぞれ10ポイント以上、上回っている。

年齢別比較からは、特定の年齢層だけが割合が高いということはなく、たとえば「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」については、70代以上を除く各年齢層で90%を超えており、「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」については、15～19歳と70代以上を除く各年齢層で60%を超えているというように、年齢別による大きな差はみられない。

18 憲法で決められた国民の権利

問 17 次の1～6について、憲法によって義務ではなく国民の権利として決められているものはどれだと思いますか。



憲法によって国民の権利として決められているものを問うと、「5 人間らしい暮らしをする」が最も多く (71.6%)、次いで「1 思っていることを世間に発表する」(37.9%)、「2 税金を納める」(33.5%)、「6 労働組合をつくる」(29.3%) となっている。国民の権利である「団結権」(労働組合をつくる) が国民の義務である「納税」(税金を納める) よりも割合が低くなっており、憲法の理解は高いとはいえない。

「人間らしい暮らしをする」「思っていることを世間に発表する」「労働組合をつくる」の3つだけを選択した人を「完全正解者」、正答である3つのうち2つか1つだけを選んだり、正答である3つ(あるいは2つ、1つ)を選んだうえで他の選択肢も選んだという人を「部分正解者」、正答以外の選択肢だけを選んだという人を「不正解者」として、「完全正解者」「部分正解者」「不正解者」の割合を算出すると、「完全正解者」15.2%、「部分正解者」63.4%、「不正解者」18.8%となり、「完全正解者」の割合は2割に満たない。

【問 17 性別・年齢別】

(上段:人、下段%)

		回答者数	思っていることを世間に発表する	税金を納める	目上の人に従う	道路の右側を歩く	人間らしい暮らしをする	労働組合をつくる	わからない	不明・無回答
性別	女性	355 100.0	133 37.5	127 35.8	10 2.8	68 19.2	251 70.7	102 28.7	45 12.7	10 2.8
	男性	275 100.0	105 38.2	85 30.9	16 5.8	29 10.5	201 73.1	87 31.6	22 8.0	2 0.7
年齢	15～19歳	81 100.0	49 60.5	17 21.0	20 24.7	14 17.3	53 65.4	41 50.6	7 8.6	0 0.0
	20代	40 100.0	24 60.0	8 20.0	2 5.0	5 12.5	28 70.0	15 37.5	6 15.0	0 0.0
	30代	41 100.0	26 63.4	5 12.2	4 9.8	4 9.8	27 65.9	22 53.7	4 9.8	0 0.0
	40代	56 100.0	25 44.6	20 35.7	2 3.6	3 5.4	36 64.3	11 19.6	7 12.5	1 1.8
	50代	99 100.0	41 41.4	27 27.3	6 6.1	8 8.1	72 72.7	25 25.3	10 10.1	3 3.0
	60代	139 100.0	48 34.5	47 33.8	1 0.7	14 10.1	99 71.2	51 36.7	20 14.4	0 0.0
	70代	271 100.0	83 30.6	111 41.0	10 3.7	65 24.0	202 74.5	68 25.1	20 7.4	9 3.3

性別については、「道路の右側を歩く」が女性で19.2%。男性で10.5%と、女性のほうが8.7ポイント多くになっている点を除けば、大きな差はみられない。

年齢別では、「思っていることを世間に発表する」は30代(63.4%)、「人間らしい暮らしをする」は70代以上(74.5%)、「労働組合をつくる」は30代(53.7%)がそれぞれ最も多くなっている。

【問 17 性別・年齢別 国民の権利の理解度】

(上段:人、下段%)

		合計	完全正解者	部分正解者	不正解者	無回答
性別	女性	355	58	211	76	10
		100.0	16.3	59.4	21.4	2.8
性別	男性	275	40	188	45	2
		100.0	14.5	68.4	16.4	0.7
年齢	15～19歳	81	17	52	12	0
		100.0	21.0	64.2	14.8	0.0
	20代	40	10	21	9	0
		100.0	25.0	52.5	22.5	0.0
	30代	41	11	24	6	0
		100.0	26.8	58.5	14.6	0.0
	40代	56	7	35	13	1
		100.0	12.5	62.5	23.2	1.8
	50代	99	20	58	18	3
		100.0	20.2	58.6	18.2	3.0
	60代	139	27	81	31	0
		100.0	19.4	58.3	22.3	0.0
	70代以上	271	27	189	46	9
		100.0	10.0	69.7	17.0	3.3

「完全正解者」の割合についてみると、性別では女性のほうがやや高くなっている。そして、年齢別では、30代が26.8%で最も高くなっており、15～19歳、20代、50代でも20%を超えている。

【問 17 前回調査との比較】

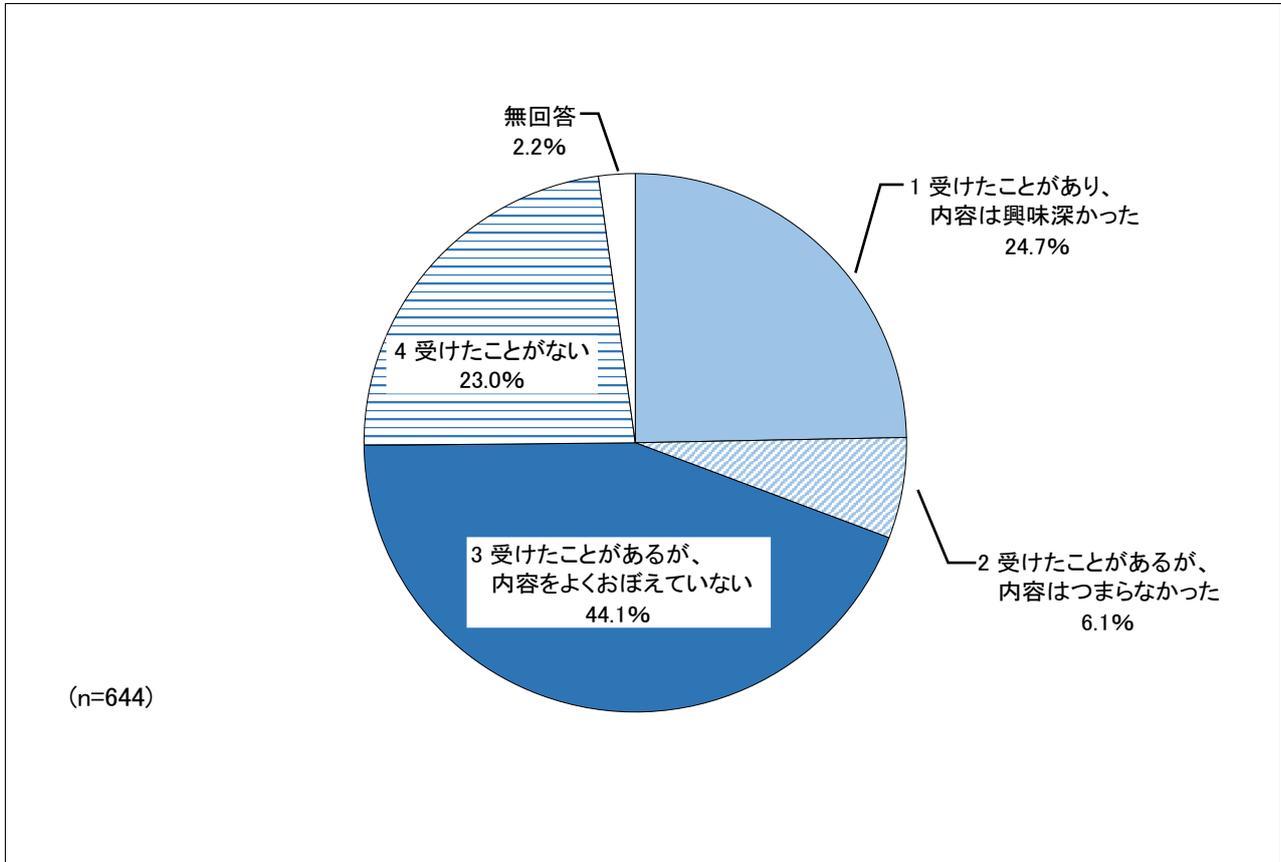
(%)

	令和7年度	令和2年度
回答者数	644	977
1 思っていることを世間に発表する	37.9	38.6
2 税金を納める	33.5	39.8
3 目上の人に従う	4.0	5.1
4 道路の右側を歩く	15.2	16.6
5 人間らしい暮らしをする	71.6	78.8
6 労働組合をつくる	29.3	32.5
7 わからない	10.4	6.2
無回答	2.6	2.8

憲法において決められた国民の権利についての回答割合を前回調査と比較すると、「2 税金を納める」は6.3ポイント減であるが、「5 人間らしい暮らしをする」と「6 労働組合をつくる」は、それぞれ7.2ポイント減、3.2ポイント減となっている。誤答である「税金を納める」の回答割合が減少しているだけでなく、正答である「生存権」と「団結権」の回答割合も減少しているためである。

19 差別や人権に関する教育を受けたことがあるか

問 18 あなたは、小学校から高校の間に差別や人権に関する教育を受けたことがありますか。
また、その教育を受けて、内容はどうでしたか。



小学校から高校の間に差別や人権に関する教育を受けた経験を問うと、「3 受けたことがあるが、内容をよく覚えていない」が 44.1%で最も高く、次いで「1 受けたことがあり、内容は興味深かった」が 24.7%となっている。

【問 18 性別・年齢別】

(上段:人、下段%)

		合計	深 受 か つ た こ と が あ り 、 内 容 は 興 味	ま ら な か つ た こ と が あ る が 、 内 容 は つ	く お ぼ え て い な い が あ る が 、 内 容 を よ	受 け た こ と が あ ら な い	不 明 ・ 無 回 答
性別	女性	355 100.0	88 24.8	18 5.1	163 45.9	79 22.3	7 2.0
	男性	275 100.0	70 25.5	20 7.3	117 42.5	65 23.6	3 1.1
年齢	15～ 19歳	81 100.0	45 55.6	16 19.8	17 21.0	3 3.7	0 0.0
	20代	40 100.0	18 45.0	3 7.5	18 45.0	1 2.5	0 0.0
	30代	41 100.0	13 31.7	7 17.1	20 48.8	1 2.4	0 0.0
	40代	56 100.0	23 41.1	5 8.9	22 39.3	5 8.9	1 1.8
	50代	99 100.0	20 20.2	12 12.1	56 56.6	10 10.1	1 1.0
	60代	139 100.0	43 30.9	6 4.3	69 49.6	21 15.1	0 0.0
	70代 以上	271 100.0	46 17.0	5 1.8	104 38.4	108 39.9	8 3.0

性別による大きな差はみられない。

年齢別では、「受けたことがない」は70代以上で多く(39.9%)、「受けたことがない」の割合は年齢が若くなるほど低下し、15～19歳、20代、30代では2～3%台となっている。「受けたことがあり、内容は興味深かった」は15～19歳で最も多く、「受けたことがあるが、内容をよくおぼえていない」は50代で最も多くなっている。

資料編（調査票様式）

令和7年度

宮津市人権に関する市民意識調査のお願い

日頃は、本市の人権教育及び人権啓発活動の推進にご協力を賜りお礼申し上げます。

宮津市では、人権感覚豊かな社会の実現のため、宮津市人権教育・啓発推進計画(第3次)の策定にあたり、人権問題に関する市民の皆様の意識調査を行い、今後の人権教育・啓発活動に活かしてまいりたいと考えております。

つきましては、宮津市に在住の15歳以上の市民の中から2,200人の方を無作為に選定し、意識調査を実施することとしております。

この度、あなた様が調査対象に選ばれましたので、調査票を送付させていただいた次第です。

この調査に関する内容は、統計資料として使用し、調査目的以外には決して使用することはありません。また、この調査は無記名で行い、統計的に処理いたしますので、個人に関する情報が他に漏れるようなことは一切ありません。

調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年9月1日

宮 津 市

記入にあたってのお願い

- この調査は、お送りしたあて名のご本人様がお答えください。
- 本調査票またはオンライン回答のどちらかでご回答ください。

【調査票での回答】

- ・問1から順に質問ごとに用意した答え(選択肢)の中からあてはまる番号に○をつけてください。○のつけ方については、質問の指示にしたがってください。
- ・「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが()の中に具体的にご記入ください。
- ・調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

【オンライン回答】

- ・右の二次元コードを読み取り、回答フォームから回答してください。



ぜひこちらからご回答を
お願いいたします!

回答期限：令和7年9月30日(火)

【お問合せ先】

〒626-0008 宮津市字万年 1100 (杉末会館)
宮津市市民環境部 市民環境課 人権啓発係 (0772-22-4622)

問1 日本における人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。該当するものをいくつでもあげてください。

1 女性	2 子ども
3 高齢者	4 障害者
5 部落差別（同和問題）	6 アイヌの人々
7 日本で暮らす外国人	8 エイズ患者・HIV感染者
9 ハンセン病患者・元患者（回復者）とその家族	10 刑を終えて出所した人
11 犯罪被害者とその家族	12 インターネット上の人権侵害
13 北朝鮮当局によって拉致された被害者	14 ホームレス
15 性的マイノリティ（LGBTQ+）	16 性的サービスや労働の強要などの人身取引
17 風評に基づく偏見や差別など災害に伴う人権問題	18 ゲノム情報（遺伝情報）に関する偏見や差別
19 関心がない	
20 その他（ ）	

問2 あなたは、次のような人権に関する法律や行政の取組、相談窓口を知っていますか。

ア～サのすべてについてお答えください。（それぞれ1つに○）

	知っている	聞いたことはあるが、内容までは知らない	知らない
ア 部落差別解消推進法（部落差別の解消の推進に関する法律）	1	2	3
イ 障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）	1	2	3
ウ ヘイトスピーチ解消法（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）	1	2	3
エ L G B T理解増進法（性的指向及び ジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律）	1	2	3
オ 女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）	1	2	3
カ こども基本法	1	2	3
キ 広報誌、ホームページ、SNS による情報発信	1	2	3
ク 本人通知制度	1	2	3
ケ 人権市民のつどい	1	2	3
コ 市民相談窓口	1	2	3
サ 人権擁護委員による人権相談	1	2	3

※本人通知制度…戸籍謄本や住民票を第三者に交付した時に事前に登録した本人にお知らせする制度

問3 人権や社会のあり方などに関して、次のような意見や考え方があります。それぞれについて、あなたはどのように思いますか。ア～コのすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア 人権には必ず義務がともなう	1	2	3	4	5
イ 思いやりや優しさをみんなが持てば、人権問題は解決する	1	2	3	4	5
ウ 差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある	1	2	3	4	5
エ 社会福祉に頼るより、個人がもっと努力する必要がある	1	2	3	4	5
オ 生活上の問題をかかえているのは、結局本人の努力が足りないからだ	1	2	3	4	5
カ 人間の社会には差別はつきもので、なくすことは無理である	1	2	3	4	5
キ 人権問題は差別する人と差別される人の問題であり、自分には関係がない	1	2	3	4	5
ク 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる	1	2	3	4	5
ケ 日本国憲法は、国民が従うべきルールである	1	2	3	4	5
コ これまで行われてきた少数者の人権を保障する政策は、少数者に特権を与えたという面がある	1	2	3	4	5

問4 人権侵害についてお尋ねします。

(1) あなたは、過去5年間に、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(1つに○)

1 思ったことはない	} 問5へ進む
2 よく覚えていない	
3 答えたくない	
4 思ったことがある	→ 問4(2)(3)へ進む

(2) 問4(1)で「4 思ったことがある」を選択された方にお尋ねします。

それはどのような場合ですか。(○はいくつでも)

1 あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	2 名誉・信用のき損、侮辱
3 プライバシーの侵害	4 暴力、脅迫、強要暴力
5 差別的取扱い	6 地域社会での嫌がらせ
7 学校でのいじめ	8 セクシュアル・ハラスメント
9 パワー・ハラスメント	10 カスタマー・ハラスメント
11 職場での嫌がらせ	12 ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)
13 児童虐待	14 その他()

(3) 問4(1)で「4 思ったことがある」を選択された方にお尋ねします。

そのとき、どのようにされましたか。(〇はいくつでも)

1 黙って我慢した	2 身近な人に相談した	3 市議会議員などに相談した
4 相手に抗議した	5 市民相談窓口で相談した	6 法務局や人権擁護委員に相談した
7 弁護士に相談した	8 警察に相談した	9 その他 ()

問5 次のような慣習や文化などに関する意見や考え方について、あなたはどのように思いますか。

ア～キそれぞれについてお答えください。(〇は1つ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア 結婚相手を決めるときは、家柄や血筋を重視するほうがよい	1	2	3	4	5
イ 家柄や家の格は、今の世の中においても大切にすべきである	1	2	3	4	5
ウ 長男には他の子どもと違う特別な役割がある	1	2	3	4	5
エ 結婚式は、「大安」の日を選ぶほうがよい	1	2	3	4	5
オ 葬式の際、「清め塩」は必要だ	1	2	3	4	5
カ 女性が相撲の土俵にあがれないのは、しきたりだから仕方がない	1	2	3	4	5
キ 「あの世」や「来世(らいせ)」があると信じるほうだ	1	2	3	4	5

問6 あなたは、過去5年間に、同和問題に対して、次のような発言を直接聞いたことがありますか。複数ある場合は、強く印象に残っているものを選んでください。(1つに〇)

1 同和地区の人(子ども)とは付き合っては(遊んでは)いけない 2 同和地区の人とは結婚してはいけない 3 同和地区の人は怖い 4 同和地区の人は無理難題を言う 5 同和地区は、治安が悪い 6 住宅を購入する際、同和地区の物件を避けたほうがいい 7 聞いたことはない →問7へ進む	} 問6(2)(3)へ進む
--	---------------

(2) 問6で「1」～「6」を選んだ方にお聞きします。

それは誰から聞きましたか。主なものを選んでください。(1つに〇)

1 家族	2 親戚	3 近所の人	4 友人	5 職場の人
6 知らない人	7 その他 ()			

(3) 問6で「1」～「6」を選んだ方にお聞きします。

それを聞いたとき、どう感じましたか。また、どうしましたか。(1つに○)

- 1 そのとおりと思った
- 2 反発・疑問を感じることなく、そういう意見もあるのかと思った
- 3 反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった
- 4 反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた
- 5 特に何も思わなかった

問7 結婚しようとする相手が同和地区出身者であるということを理由に、家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその親戚から相談を受けた場合、あなたはどのようにされますか。

(1つに○)

- 1 迷うことはない、自分の意志を貫いて結婚しなさいと言う
- 2 反対する家族を説得するなど、力になろうと言う
- 3 慎重に考えた方がよいと言う
- 4 あきらめるように言う
- 5 どう言えばよいか分からない
- 6 その他 ()

問7 (2) へ進む

(2) 問7で「3」または「4」と答えた方にお聞きします。「慎重に考えた方がよいと言う」「あきらめるように言う」と答えたのは、どうしてですか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 家族が反対しているなら、それに従うべきだから
- 2 将来、結婚した本人がいろいろとトラブルに巻き込まれるかもしれないから
- 3 将来、結婚した本人やその子どもが差別を受けるかもしれないから
- 4 同和地区の人と親戚になりたくないから
- 5 将来、自分や自分の家族がトラブルに巻き込まれるかもしれないから
- 6 将来、自分や自分の家族が差別を受けるかもしれないから
- 7 その他 (具体的に:)

問8 家族や性別役割などに関する次のような意見や考え方について、あなたはどのように思われますか。

ア～コのすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい	1	2	3	4	5
イ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるべきだ	1	2	3	4	5
ウ 子どもが3歳になるまでは、母親は育児に専念するべきだ	1	2	3	4	5
エ 家庭生活は、妻が家事・育児を受け持ち、夫は妻子を養うのが一番よい	1	2	3	4	5
オ 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をするべきだ	1	2	3	4	5
カ 夫が海外赴任する場合、妻は働いていても仕事を辞めて夫に同行すべきだ	1	2	3	4	5
キ 希望すれば夫婦別姓を選択できるようにすべきである	1	2	3	4	5
ク 女性は理数系科目が苦手なので、大学の理工系学部の女性比率が低いのは仕方がない	1	2	3	4	5
ケ 自分の家族や親戚が未婚のまま子どもを産むことには反対する	1	2	3	4	5
コ 自分の家族や親戚が外国人と結婚することには抵抗がある	1	2	3	4	5

問9 あなたは、子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思いますか。子どもの有無にかかわらず

男女それぞれについてお答えください。(女の子の場合、男の子の場合、それぞれ1つに○)

	中学校	高校	短期大学 専門学校	大学	大学院	その他
ア 女の子の場合	1	2	3	4	5	6
イ 男の子の場合	1	2	3	4	5	6

問 10 外国人住民の人権に関する次のような意見や考え方について、あなたはどのように思いますか。

ア～キのそれぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア 外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断るのは、 人権侵害である	1	2	3	4	5
イ 日本政府が難民の受け入れに消極的であることは問題だ	1	2	3	4	5
ウ 外国人労働者は仕事の内容や給与などに関して日本人と格差が あっても仕方がない	1	2	3	4	5
エ 災害などの緊急時に、日本語が伝わらない外国人住民への対応がお ろそかになることは、やむを得ない	1	2	3	4	5
オ 自分が住んでいる地域には外国人住民は住んでほしくない	1	2	3	4	5
カ 外国人であっても、自治体の住民であるので、地方参政権は 認められるべきである	1	2	3	4	5
キ 外国人労働者が増えると、治安や風紀が悪くなる	1	2	3	4	5

問 11 あなたは次に掲げた子どもの人権に関する意見や考え方について、どのように思われますか。

ア～クのすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア 教師が児童・生徒を指導するために、ときには体罰を加える ことも必要だ	1	2	3	4	5
イ 子どものしつけのために、ときには保護者の体罰も必要だ	1	2	3	4	5
ウ いじめは、いじめを受ける子どもにも問題がある	1	2	3	4	5
エ 不登校は、本人が努力すれば克服できる	1	2	3	4	5
オ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、 やむを得ないことだ	1	2	3	4	5
カ 児童養護施設で暮らした経験のある人の就職がむずかしいのは 仕方がない	1	2	3	4	5
キ 家族の世話のために、子どもが学校の部活動に参加しづらくなるこ とは問題だ	1	2	3	4	5
ク 子どもは成長途上なので、人権が制約されても仕方がない	1	2	3	4	5

問 12 性的マイノリティ（LGBTQ+）に関する次のような意見や考え方について、あなたはどのように思われますか。

ア～カのすべてについてお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア 自分の家族や親戚に同性愛者はいてほしくない	1	2	3	4	5
イ 女性同士、男性同士の結婚も認めるべきだ	1	2	3	4	5
ウ 知人から性的マイノリティだと打ち明けられたら、 どう接するべきか、わからない	1	2	3	4	5
エ 同僚に性的マイノリティがいる職場では働きたくない	1	2	3	4	5
オ 男性同性愛者には、女性的な人が多い	1	2	3	4	5
カ 日本では性的マイノリティは人口の1%未満である	1	2	3	4	5
キ パートナーシップ制度は必要である	1	2	3	4	5

※パートナーシップ制度…同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め、自治体が証明書を発行する制度

問 13 高齢者や障害者の人権に関する次のような意見や考え方について、あなたはどのように思いますか。

ア～クのそれぞれについてお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が悪くなることは、 仕方がない	1	2	3	4	5
イ 高齢者が一人暮らしを理由に賃貸住宅への入居を拒否されることは、 人権侵害だ	1	2	3	4	5
ウ 悪徳商法や詐欺などによる被害が多いのは、高齢者の注意が 足りないからだ	1	2	3	4	5
エ 介護や介助を受ける高齢者があまり自己主張するのはよくない	1	2	3	4	5
オ 企業には障害者の法定雇用率が定められているが、企業は利益が第 一なのだから、障害者の雇用が進まなくても仕方がない	1	2	3	4	5
カ 障害者が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対するのは、 人権侵害だ	1	2	3	4	5
キ 住宅を購入したり、借りたりするなど、住まいを選ぶ際に、近隣に 障害者の作業所やグループホームがあるという物件は避けたい	1	2	3	4	5
ク 出生前診断で胎児に障害があるとわかった場合、産まないという 選択をすることは、やむを得ない	1	2	3	4	5

問 14 次に掲げる意見や考え方について、あなたはどのように思われますか。

ア～セのすべてについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア エイズウイルス感染を理由に雇用しないのは、働く権利の侵害である	1	2	3	4	5
イ 糖尿病などの生活習慣病になるのは、本人の責任が大きい	1	2	3	4	5
ウ 民間の宿泊施設がハンセン病の元患者の宿泊を断るのは、やむを得ない	1	2	3	4	5
エ ホームレスの状態を続けているのは、本人の責任が大きい	1	2	3	4	5
オ 同和問題は、そっとしておけば自然となくなる問題だから、教育や啓発はしないほうがよい	1	2	3	4	5
カ 同和地区住民は、現在でも生活のさまざまな面で優遇されている	1	2	3	4	5
キ 結婚に際して相手が同和地区出身者かどうか調べるのは人権侵害にあたる	1	2	3	4	5
ク 同和問題は、他の人権問題と比べてわかりにくいと感じる	1	2	3	4	5
ケ 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族を聞くことは問題だ	1	2	3	4	5
コ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないのは、やむを得ないことだ	1	2	3	4	5
サ 凶悪事件の場合は、未成年であっても犯人の実名を公表すべきだ	1	2	3	4	5
シ 犯罪被害者が名前や顔写真などを報道されることは問題だ	1	2	3	4	5
ス 表現の自由に関わる問題なので、インターネット上の情報規制は行うべきではない	1	2	3	4	5
セ 新聞やテレビ等のマスメディアからの情報よりも SNS で得られる情報のほうが信頼できる	1	2	3	4	5

問 15 あなたが住宅を購入したり、借りたりするなど、住まいを選ぶ際に、価格や立地条件が希望に合っている物件が同和地区内にあったとしたら、あなたはどうしますか。(○は1つ)

1 避けると思う	— 問 15 (2) へ進む
2 どちらかといえば避けると思う	
3 どちらかといえば避けないと思う	— 問 16 へ進む
4 避けないと思う	

(2) 問 15 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。

あなたはなぜ同和地区内の物件を避けるのですか。(〇はいくつでも)

- 1 同和地区に住むことで、自分や家族が差別を受けるかもしれないから
- 2 同和地区の生活環境や慣習などが自分には合わないと思うから
- 3 同和地区は閉鎖的で、自分や家族が「よそ者」扱いされそうだから
- 4 同和地区は治安が悪いから
- 5 同和地区の物件は価格上昇が見込めないから (転売がむずかしいと思うから)
- 6 同和地区には住まないほうがいいと聞いたことがあるから
- 7 その他 (具体的に: _____)

問 16 あなたは、インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 他人を誹謗中傷する情報が掲載されること
- 2 他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること
- 3 LINE や X (旧 Twitter) などによる交流が犯罪を誘発する場になっていること
- 4 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること
- 5 ネットポルノが存在していること
- 6 プライバシーに関する情報が掲載されること
- 7 リベンジポルノ (元交際相手などの性的画像を無断でネット上に公開する行為) が行われていること

問 17 次の 1～6 について、憲法によって義務ではなく国民の権利として決められているものはどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 思っていることを世間に発表する
- 2 税金を納める
- 3 目上の人に従う
- 4 道路の右側を歩く
- 5 人間らしい暮らしをする
- 6 労働組合をつくる
- 7 わからない

問 18 あなたは、小学校から高校の間に差別や人権に関する教育を受けたことがありますか。また、その教育を受けて、内容はどうでしたか。(1つに〇)

- 1 受けたことがあります、内容は興味深かった
- 2 受けたことがあるが、内容はつまらなかった
- 3 受けたことがあるが、内容をよくおぼえていない
- 4 受けたことがない

宮津市人権に関する市民意識調査 報告書
2026年（令和8年）3月

発行 宮津市
〒626-8501 京都府宮津市字柳縄手 345-1
電話 0772-22-2121(代)
FAX 0772-25-1691
Email jinken@city.miyazu.kyoto.jp